

提出議題

議決事項

第一号議案	外部理事設置に伴う定款一部改正（案）	9
第二号議案	顧問設置に伴う定款一部改正（案）	11
第三号議案	令和6年度 決算報告（案）及び監査報告	別冊
第四号議案	令和7年度 改選役員及び推薦委員の選出	13
第五号議案	令和8年度 日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出	14

報告事項

報告事項1	令和6年度 事業報告	15
報告事項2	令和7年度 事業計画	73
報告事項3	令和7年度 収支予算書	別冊

第一号議案 外部理事設置に伴う定款一部改正（案）

公益法人制度改革の実施に伴い、自律的ガバナンスの充実や透明性の向上による更なる信頼確保を図ることを目的に外部理事の導入が義務付けられたため、次のとおり公益社団法人山口県看護協会定款の一部を改正します。

現 行	改正案	説 明
第6章 役員等 （役員の設置） 第26条 本会に、次の役員を置く。 (1)理事 3名以上23名以内 (2)監事 1名以上3名以内 2 理事のうち、1名を会長、3名を副会長、1名を専務理事、2名を常務理事とする。 3 前項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長、専務理事及び常務理事をもって法人法第91条第1項第2号に規定する業務執行理事とする。	第6章 役員等 （役員の設置） 第26条 本会に、次の役員を置く。 <u>(1)理事 3名以上24名以内</u> <u>(2)監事 1名以上3名以内</u> 2 同左 <u>3 各理事について、各監事と認定法第5条第12号に規定する特別利害関係を有しないものとする。</u> <u>4 外部理事は次の全てを満たすものとする。</u> <u>(1)本会の業務執行理事又は使用人ではなく、かつ、その就任前10年間に本会の業務執行理事又は使用人であったことがない者</u> <u>(2)本会の正会員でない者</u> <u>5 外部監事は次の全てを満たすものとする。</u> <u>(1)本会の理事又は使用人ではなく、かつ、その就任前10年間に本会の理事又は使用人であったことがない者</u> <u>(2)本会の正会員でない者</u>	外部理事を設置するため、理事の定員を変更します。 現行の定款に規定されている役員等の親族等割合の制限については、公益法人として税法上の優遇を受けるための制限であり、認定法上の役員構成の制限とは性格が異なるため、理事と監事間の特別利害関係の排除について規定するものです。

(役員の選任) 第27条 理事及び監事は、細則で定めるところにより、総会の決議によって正会員の中から選任する。ただし、監事のうち1名は会員外から選任することとし、理事会が推薦し（この監事を「外部監事」という）、総会において承認された者を充てる。 (役員の任期) 第32条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。ただし、選任後6年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時を超えて引き続き在任することができない。	(役員の選任) 第27条 理事及び監事は、細則で定めるところにより、総会の決議によって正会員の中から選任する。ただし、<u>理事のうち1名及び監事のうち1名は会員外から選任することとし、理事会が推薦し（この理事、監事をそれぞれ「外部理事」、「外部監事」という）、総会において承認された者を充てる。</u> (役員の任期) 第32条 理事の任期は、<u>外部理事にあっては選任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、内部理事（外部理事以外の理事をいう。以下同じ。）にあっては選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。ただし、外部理事にあっては選任後8年以内、内部理事にあっては選任後6年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時を超えて引き続き在任することができない。</u> 附 則 <u>1 この改正定款は、総会の承認を得たときから施行する。（令和7年6月28日）</u> <u>2 第26条、第27条及び第32条については、令和8年度改選役員の選出に係る事項についてから適用する。</u>	現行の定款で規程している外部監事に加え、新たに外部理事を選任することを規定しています。 外部理事の任期については、4年間とし、再任を妨げないとしています。ただし、8年間を超えて在任することはできません。
--	---	---

第二号議案 顧問設置に伴う定款一部改正（案）

本会に顧問の職を設置するにあたり、選任方法や法律上の権限、また、職務内容や報酬等の定めを設けるため、次のとおり公益社団法人山口県看護協会定款の一部を改正します。

現 行	改正案	説 明
第6章 役員等 第26条 ） （略） 第36条	第6章 役員等 同左 （顧問） 第37条 本会に、任意の機関として顧問を置くことができる。 2 顧問の選任及び解任は、理事会において決議する。 3 顧問は、役員を兼ねることができない。 4 顧問は、重要事項について、会長の諮問に応ずる。 5 顧問には、その職務を行うために要する費用を弁償することができる。また、理事会の決議により、別に定める報酬規程に基づいて報酬を支払うことができる。 以下条番号を順次繰り下げる	顧問の設置についての定めを新たに規定します。

第三号議案 令和6年度 決算報告（案）及び監査報告

（別 冊）

第四号議案 令和7年度 改選役員及び推薦委員の選出

役員・推薦委員の任期満了等に伴い、定款及び細則に基づき、役員・推薦委員の選出を求める。

○令和7年度 役員候補者

役 職	氏 名	任 期	所 属	職 種
会 長	原 田 美 佐	1	元山口大学医学部附属病院	看護師
第一副会長	安 永 彰 子	1	岩国市医療センター医師会病院	看護師
第二副会長	河上屋 里 美	2	萩市役所	保健師
専務理事	菊 池 実 代	2	山口県看護協会	保健師
常務理事	田 中 純 子	2	元宇部中央病院	看護師
常務理事	服 部 有 希	2	国立病院機構山口宇部医療センター	看護師
理 事	林 直 美	2	周南健康福祉センター	保健師
理 事	露 繁 巧 江	2	萩慈生病院	看護師
理 事	鈴 川 実 紀	2	安岡病院	准看護師
理 事	宮 本 慶 克	2	国立病院機構岩国医療センター	看護師
理 事	松 井 由美子	2	周防大島町立大島病院	看護師
理 事	福 田 真由美	2	長門市役所健康増進課	保健師
監 事	田 島 真由美	2	山口県立総合医療センター	看護師

○令和7年度 推薦委員候補者

委員名	氏 名	任 期	所 属	職 種
推薦委員	福 重 奈 月	1	周南児童相談所	保健師
	森 岡 有 子	1	田布施町役場健康保険課	保健師
	山 本 恵美子	1	岩国病院	助産師
	本 岡 亜希子	1	下関市立市民病院	助産師
	森 本 美 子	1	光市立光総合病院	看護師
	篠 原 慶 子	1	小郡第一総合病院	看護師
	永 尾 恵	1	長門総合病院	看護師

第五号議案 令和８年度 日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出

○令和８年度 日本看護協会代議員候補者

No.	氏 名	職 種	所 属
1	安 永 彰 子	看護師	岩国市医療センター医師会病院
2	河上屋 里 美	保健師	萩市役所
3	吉 岡 和 代	助産師	山口赤十字病院
4	菊 池 実 代	保健師	山口県看護協会
5	服 部 有 希	看護師	国立病院機構山口宇部医療センター
6	鈴 川 実 紀	准看護師	安岡病院
7	宮 本 慶 克	看護師	国立病院機構岩国医療センター
8	伊 藤 友里代	看護師	光市立大和総合病院
9	福 田 真由美	保健師	長門市役所健康増進課
10	田 島 真由美	看護師	山口県立総合医療センター

○令和８年度 日本看護協会予備代議員候補者

No.	氏 名	職 種	所 属
1	安 池 まさみ	保健師	個人会員
2	塩 道 敦 子	助産師	山口大学医学部附属病院
3	山 本 知 美	看護師	山口県立総合医療センター
4	小 迫 幸 恵	看護師	山口県立大学
5	宇多村 順 子	看護師	尾中病院
6	井 上 孝 子	看護師	美祢市立美東病院
7	松 谷 真由美	看護師	玉木病院
8	関 野 尚 子	看護師	済生会下関総合病院
9	松 井 由美子	看護師	周防大島町立大島病院
10	杉 谷 安紀恵	准看護師	セントヒル病院

報告事項 1 令和 6 年度 事業報告

○令和 6 年度重点方針 5 項目の概要

I 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携

子ども・子育て世代、障がい者、高齢者など全世代の住民を対象として、地域における看護力の強化と連携に取り組むこととしている。

とりわけ訪問看護は、在宅療養支援の要となるサービスであり、訪問看護師の人材確保、育成、訪問看護ステーションの機能強化が必須となる。

このため令和 6 年度新たに「訪問看護提供体制推進事業」に取り組み、行政や関係機関との連携のもと、訪問看護総合支援センターの開設に向けた検討委員会において協議を重ね、11月に当協会内に「山口県訪問看護総合支援センター」を設置し、運営を開始したところである。同センターでは訪問看護に関する地域の様々な課題を総合的に解決し、訪問看護提供体制の強化を図る拠点となるよう、①訪問看護ステーションのための運営・経営に関する相談、②訪問看護師の人材確保、③訪問看護師の育成、④訪問看護実態調査等 4 事業の実施を始めた。

II 看護職の確保と定着の促進

本県では、地域や就業場所による看護職の偏在が顕著であり、小規模病院・介護施設・訪問看護ステーションの看護職員確保が課題となっている。

また、少子超高齢化の進展が加速し、今後ますます現役世代が減少していく中、離職中や定年退職後、定年退職を控えた看護職が、これまで培ってきた知識と経験を活かし、新たなキャリア人生を充実させることにより、看護職確保を図ることは重要である。

このため令和 6 年度新規事業の「セカンドキャリア活躍推進事業」においては、医療機関や訪問看護ステーション、介護施設等の看護管理者とセカンドキャリア世代で働く看護職を対象に、実態調査を実施し現状を明らかにするとともに、セカンドキャリア人材バンクを設置し、「きらめきナース」として地域活動に貢献した。

III 看護の質の向上とキャリア形成の促進

重点事業として、看護の専門性を十分に発揮し、安定的で質を確保した看護の提供のため、「認定看護師等活躍推進事業」に取り組んだ。今年度は専門看護師・認定看護師研修会や特定行為研修修了者研修会を資格毎に開催し、有資格者の役割や課題の明確化が行えた。

また、管理者研修会では自施設の課題や有資格者の活用・育成の取り組みを共有し、今後活動の可視化が求められる中、まずは自施設での見える化を目指すことを共通認識するとともに、地域でのリソース活用について、人材育成やシステム構築、行政や施設との連携の必要性などが確認できた。本事業の目的である地域での活躍を目指して、自施設での活動の見える化、その上で登録・派遣システムの構築を目指す。

IV 組織力の強化

組織力強化の広報活動として、入会促進に向け、看護師等学校養成所や会員減少施設等への訪問を重点的に実施した。入会案内とともに、看護の日キャラクター「かんどちゃん」グッズを作成し、卒業記念品として贈呈した。また、定期的に入会促進活動についての協議の場を設け、職員一人一人が会員確保への意識を高めることができた。

研修管理システム「マナブル」を導入し、会員の研修受講の利便性を図った。また、SNS（LINE）を開始しタイムリーな情報発信に努めた。

V 地域における健康危機管理体制の強化

感染症法及び医療法の改正に伴い、災害・感染症発生時に県知事の求めに応じて派遣される医療チームの仕組みが法定化され、災害支援ナースは「災害・感染症医療業務従事者」として位置付けられた。災害支援ナースの資質の向上を図るため、平時における研修を実施するとともに、修了者のリスト管理をして災害支援体制の整備に努めた。

定款第4条の8つの事業に沿った事業

1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護教育に関する事項	
(1)一般教育研修の実施	①看護実践能力養成研修会 30コマ31日開催 受講者：2,282人
(2)認定看護管理者研修の実施	①認定看護管理者教育課程ファーストレベル 105時間 20日間 受講者：76人 修了者：75人 特別講義 6時間 1日間 ②認定看護管理者教育課程セカンドレベル 180時間 32日間 受講者：43人 修了者：42人 ③フォローアップ研修(ファーストレベル、セカンドレベル) 各3時間
(3)新人看護職員研修事業 (山口県委託)	①検討会 2回 第1回 R6.5.8 第2回 R6.12.11 ②研修責任者研修 4日間 受講者：23人 ③教育担当者研修 6日間 受講者：48人 ④実地指導者研修 5日間 受講者：82人
(4)助産実践能力向上事業 新人助産師研修 助産師研修 (山口県委託)	①新人助産師研修 新人18人、6日間(R6.8.3、9.14、11.9、12.14、R7.1.25、2.15)実施 公開講座として6講座実施 受講者 R6.8.3 9人(午前講座) 6人(午後講座)、9.14 10人 11.9 8人 12.14 9人 R7.1.25 8人 ②助産実践能力向上研修 2日間で4講座開催(R6.11.2、12.7) 4講座ともCLOCMiPレベルⅢ認証研修とする 1回目 R6.11.2 16人 2回目 R6.11.2 15人 3回目 R6.12.7 23人 4回目 R6.12.7 17人
(5)実習指導強化推進事業 (山口県委託)	①検討会 2回 ②実習指導者養成講習会 33日 受講者：24人 修了者：24人 ③実習指導者と看護教員の相互研修 2日 ④実習指導アドバイザー派遣 2回
(6)看護職員認知症対応力向上研修(山口県委託)	①検討会・打合せ会 3回 第1回 R6.5.31 第2回 R6.10.4 第3回 R7.1.24 ②看護職員認知症対応力向上研修 3日間 2回 前期：R6.7.20、7.26、8.2 受講者：53人 修了者：50人 後期：R6.11.16、11.22、11.29 受講者：44人 修了者：43人
(7)JNA収録DVD研修 (日本看護協会委託)	①認知症高齢者の看護実践に必要な知識 4回 1回目：R6.6.7、6.8 修了者：72人 2回目：R6.6.28、6.29 修了者：72人 3回目：R6.9.6、9.7 修了者：32人 4回目：R6.9.27、9.28 修了者：32人
(8)その他研修	①看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 2回

事業項目	主な事業内容
(9)委員会	1回目：R6.7.24 修了者：81人 2回目：R6.9.11 修了者：58人 ②外来における在宅療養支援能力向上のための研修 1回 R7.1.18 修了者：29人
(10)日本看護協会との連携	①教育委員会7回 ②認定看護管理者教育運営委員会4回 全国看護基礎教育担当者会議 R.6.8.8
2)医療安全推進事業	①医療安全管理者養成研修
(1)医療安全管理者の養成および実践能力向上のための研修	日本看護協会インターネット配信研修35時間 県看護協会 集合研修5時間 R6.11.12 修了者：33人 ②医療安全管理者スキルアップ研修（延期）
(2)医療安全推進事業	①医療看護安全啓発 医療安全情報「きらめき」掲載160号(10月)、161号(1月)掲載 医療事故調査制度等施設、管理者への情報提供 「看護職あなたのためのリスクマネジメント第5版」の・啓発・普及活用促進
(3)医療安全管理体制の構築・充実	①圏域の医療安全に関わる看護職のネットワーク活動の支援 圏域代表との意見、情報交換 R6.9.4 ②医療安全管理者情報交換会の開催 1回目 R6.6.27 参加者 21人 2回目 R6.12.18 参加者 23人
(4)看護職賠償責任保険の加入促進	看護職賠償責任保険制度のPR ・入会案内とともに送付 ・講習会・研修会時に周知を図る ・実習を伴う講習会受講者への加入促進
(5)委員会	医療安全推進委員会 6回 うち1回は圏域代表を招聘しての会議
(6)日本看護協会との連携	医療事故調査制度に関する情報交換会への参加 R6.9.18 3人
3)学会等学術振興に関する事業	第24回山口県看護研究学会R7.3.1開催
(1)山口県看護研究学会開催	テーマ 「共に生きる、地域・ひとをつなぐ看護の力」 口演発表 9題 示説発表 3題 一般参加者87人 学生参加者81人
(2)委員会	学会委員会 6回
(3)日本看護協会との連携	日本看護学会
4)図書室運営に関する事業	①蔵書管理
(1)図書の閲覧・貸出	雑誌・書籍等受入 定期購読雑誌・学会誌(16タイトル)：151冊

事業項目	主な事業内容
(2)日本看護協会との連携	書籍：89冊 冊子：44冊 ビデオ・DVD：0本 ②図書貸出 書籍・ビデオ・DVD貸出：209件 ③文献検索・複写サービス(最新看護索引Web機関版・医学中央雑誌) 山口県看護研究学会論文集・集録・抄録集の文献複写依頼：2件 医学中央雑誌へ文献複写依頼：0件 本協会図書室所蔵の文献複写依頼：0件 ④図書室利用者：180人 岩国：11人 柳井：8人 周南：60人 防府：19人 山口：15人 宇部：22人 小野田：6人 長門：1人 萩：2人 下関：20人 会員外(非会員・学生)：16人 ①譲渡図書の受入 雑誌：5冊 ②最新看護索引Web機関版の利用 ③都道府県看護協会図書室担当者研修会(Web開催) R6.9.12 出席者：1人

2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)

事業項目	主な事業内容																
1)ナースセンター事業 (1)ナースセンター運営協議会 （山口県委託） (2)無料職業紹介 （山口県委託）	ナースセンター運営協議会開催 1回 ①第7次NCCS(ナースセンター・コンピュータ・システム)の運用 ・求人・求職相談件数 <table><tr><td>求人</td><td>求職者</td><td>合計</td></tr><tr><td>897</td><td>3,472</td><td>4,369</td></tr></table> ・求人・求職・就職者数 R6.4～ R7.3 <table><tr><td>求人</td><td>求職者</td><td>就職者</td><td>就職率(%)</td><td>求人倍率</td></tr><tr><td>5,623</td><td>762</td><td>44</td><td>5.8</td><td>7.38</td></tr></table> ②第7次NCCS運用開始(10月～) ・無料職業紹介 ・求職者の登録 ・求人施設の登録 ・求人・求職情報の更新、情報提供 ・求職者に対する相談 ・求人情報の提供 ・看護補助者の求人・求職取扱(R7.3.1～運用開始) 問い合わせ：求職者 2、求人施設 1 e ナース登録：求職者 2、求人施設 11 ・看護補助者の就業に向けた研修(R7.3.1～開始) 0件 ③ナースセンター・ハローワーク連携事業 ・連携事業連絡調整会議 2回 第1回 R6.6.21 第2回 R7.2.21 ④その他 ・事業の広報	求人	求職者	合計	897	3,472	4,369	求人	求職者	就職者	就職率(%)	求人倍率	5,623	762	44	5.8	7.38
求人	求職者	合計															
897	3,472	4,369															
求人	求職者	就職者	就職率(%)	求人倍率													
5,623	762	44	5.8	7.38													

事業項目	主な事業内容																								
(3)再チャレンジ研修 (山口県委託)	ナースセンターだよりの発行、本協会ホームページ、LINE、やまぐちナースネット、市町、メディア等 ①再就業支援研修(地域施設研修) ・研修協力施設 23施設 ・募集期間 R6.5～随時開催 ・研修期間 3～5日間 ・地域別受講状況 岩国市2人、周南市1人、防府市2人、宇部市5人、山陽小野田市1人 ・資格別研修受講状況 保健師2人、看護師8人、准看護師1人 ②未就業看護職対応教育研修(集合研修) 3回 1回目 R6.6.19 参加者：5人 2回目 R6.8.21 参加者：0人 3回目 R6.9.4 参加者：8人 ③調整会議 1回 ④広報 チラシ4,000枚作成 ハローワーク、会員施設等に配布																								
(4)就業コーディネーターの配置 (山口県委託)	①ハローワークでの出張相談、就業支援 ・岩国、柳井、下松、徳山、防府、山口、宇部、長門、萩、下関のハローワークで実施 ・5月より各会場で月1回実施(長門、柳井、下松隔月1回) R6.5.1～R7.3.31 相談件数113件 実人数94人 地域別相談件数 <table><tr><td>地域</td><td>岩国</td><td>柳井</td><td>下松</td><td>徳山</td><td>防府</td><td>山口</td><td>宇部</td><td>長門</td><td>萩</td><td>下関</td><td>合計</td></tr><tr><td>相談</td><td>13</td><td>2</td><td>2</td><td>21</td><td>1</td><td>26</td><td>22</td><td>5</td><td>9</td><td>12</td><td>113</td></tr></table> ②再チャレンジ研修希望者に対する研修調整 ③施設・学校等訪問による相談支援 ・求人施設等への情報提供、就業者の勤務環境の相談等 ④広報 チラシを作成し、ハローワーク、行政機関、図書館、病院等に配布 ホームページへの掲載 ⑤調整会議 3回開催 (R6.4.18、R6.10.4、R7.3.14)	地域	岩国	柳井	下松	徳山	防府	山口	宇部	長門	萩	下関	合計	相談	13	2	2	21	1	26	22	5	9	12	113
地域	岩国	柳井	下松	徳山	防府	山口	宇部	長門	萩	下関	合計														
相談	13	2	2	21	1	26	22	5	9	12	113														
(5)ナースのお悩み相談室 (山口県委託)	①ナースセンターでの相談、就業支援 相談件数72件(うち38件は就業中の者) 来所：24件、電話：41件、メール：7件 <table><tr><td>相談内容(重複あり)</td><td>件数</td></tr><tr><td>求職</td><td>48</td></tr><tr><td>心の相談</td><td>25</td></tr><tr><td>職場環境</td><td>17</td></tr><tr><td>研究・研修</td><td>13</td></tr><tr><td>定着</td><td>4</td></tr><tr><td>進学</td><td>3</td></tr><tr><td>その他</td><td>11</td></tr></table> ②広報：チラシを5,000枚作成し、ハローワークや会員施設等に配布	相談内容(重複あり)	件数	求職	48	心の相談	25	職場環境	17	研究・研修	13	定着	4	進学	3	その他	11								
相談内容(重複あり)	件数																								
求職	48																								
心の相談	25																								
職場環境	17																								
研究・研修	13																								
定着	4																								
進学	3																								
その他	11																								
(6)看護師等就業協力員の育成 (山口県委託)	①看護師等就業協力員研修会の開催 R6.7.18 参加者：19人 ②就業協力員の活動として学校訪問																								

事業項目	主な事業内容																														
(7)演習器材の貸出 (山口県委託)	①器材の貸出 ・貸出対象 看護職員を配置する施設 ・貸出器材 8種 <table><tr><th>器材名</th><th>件数</th></tr><tr><td>万能型成人実習モデル</td><td>0</td></tr><tr><td>呼吸音聴取シミュレーター</td><td>6</td></tr><tr><td>吸引シミュレーター</td><td>2</td></tr><tr><td>採血・静脈シミュレーター</td><td>7</td></tr><tr><td>装着式採血静脈練習キット</td><td>5</td></tr><tr><td>上腕部筋肉・皮下注射シミュレーター</td><td>7</td></tr><tr><td>導尿・浣腸シミュレーター男性</td><td>6</td></tr><tr><td>導尿・浣腸シミュレーター女性</td><td>5</td></tr><tr><td>合計</td><td>38</td></tr></table> ②個人の技術演習 ・対象者 技術演習の希望者 ・演習日 4回/月 毎週金曜日 ・演習項目 採血・注射・吸引・心肺蘇生など ・演習内容別参加状況 R6.5～ R7.3 <table><tr><th>内容</th><th>採血・点滴</th><th>吸引</th><th>心肺蘇生</th><th>合計</th></tr><tr><td>件数</td><td>26</td><td>4</td><td>4</td><td>34</td></tr></table> ③広報 チラシ作成 1,135枚配布	器材名	件数	万能型成人実習モデル	0	呼吸音聴取シミュレーター	6	吸引シミュレーター	2	採血・静脈シミュレーター	7	装着式採血静脈練習キット	5	上腕部筋肉・皮下注射シミュレーター	7	導尿・浣腸シミュレーター男性	6	導尿・浣腸シミュレーター女性	5	合計	38	内容	採血・点滴	吸引	心肺蘇生	合計	件数	26	4	4	34
器材名	件数																														
万能型成人実習モデル	0																														
呼吸音聴取シミュレーター	6																														
吸引シミュレーター	2																														
採血・静脈シミュレーター	7																														
装着式採血静脈練習キット	5																														
上腕部筋肉・皮下注射シミュレーター	7																														
導尿・浣腸シミュレーター男性	6																														
導尿・浣腸シミュレーター女性	5																														
合計	38																														
内容	採血・点滴	吸引	心肺蘇生	合計																											
件数	26	4	4	34																											
(8)離職者・未就業者届出サポート (山口県委託)	①届出について病院との連携体制の整備・強化 ②届出制度の広報・広告 ・ナースセンターのご案内(2,000部)：会員施設、看護学生、研修生等に配布 ・はたさば(1,500部)：看護学校養成所等31機関へ送付 ・クリアファイル(2,000冊)作成：届出者、研修参加者へ配布 ・届出票(5,000枚)作成：会員施設、看護学生に配布 ③相談対応、登録サポート 届出実績：213件 ④届出者への情報提供 届出213人中102人に対し現状把握 県外異動者を除く149人へ、復職支援の案内等送付																														
(9)看護職員再就業支援相談会 (山口県委託)	①相談会の開催 県内6会場(岩国、周南、山口、宇部、下関、萩) ハローワークと合同開催 参加施設：中小規模の医療機関や訪問看護ステーション、介護施設等 ②相談会のあり方検討会 2回 第1回 R6.6.21 第2回 R7.2.21 ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議内で検討																														
(10)会議等への出席	①職業紹介責任者講習(全国民営職業紹介事業協会) 受講者2人 ②山口県看護職員確保対策協議会																														
(11)日本看護協会との連携	①都道府県ナースセンター事業担当者会議(中央ナースセンター オンライン開催) R6.5.12、5.17、6.12 ②都道府県ナースセンター相談員研修(中央ナースセンター オンライン開催) R6.7.24、9.12																														

事業項目	主 な 事業 内 容																		
2)プレナース発掘事業 (1)看護PRリーフレットの作成・配布 (山口県委託) (2)1日ナース体験 (山口県委託) (3)看護の魅力発見 (山口県委託) (4)看護職員の学校訪問 (山口県委託) (5)日本看護協会との連携 3)働き続けられる職場づくり推進事業 (1)働き続けられる職場づくりの啓発・支援 (2)日本看護協会との連携 (3)医療勤務環境改善に関するアドバイザー派遣業務(山口県委託)	③都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会中国・四国ブロック オンライン会議 R6.7.24、9.12、11.28、R7.1.22 ④都道府県ナースセンター地域に必要な看護職確保推進事業 ⑤看護補助者の確保・定着推進事業(中央ナースセンター オンライン開催) 看護業務の紹介や看護職員となるための方法などのリーフレットを作成し、県内中学校や高等学校、関係機関に配布 ①作成40,000枚 ②配布 <table><tr><th>配 布 先</th><th>配布枚数</th></tr><tr><td>県内中学校(151校)・高等学校(91校)</td><td>34,100</td></tr><tr><td>県内各病院、県医師会、郡市医師会、看護師等学校、県および市町等関係機関</td><td>5,900</td></tr></table> 内容：施設見学、模擬看護体験、看護職員との交流 協力病院：59施設 開催時期：夏休み期間 対象：中学生、高校生 参加者：中学生149人、高校生213人 ①看護の魅力発見開催状況 <table><tr><th></th><th>岩国地域</th><th>下関地域</th><th>宇部地域</th></tr><tr><td>協力病院</td><td>岩国市医療センター医師会病院</td><td>下関リハビリテーション病院</td><td>高嶺病院</td></tr><tr><td>開催日</td><td>R6.10.26</td><td>R6.10.26</td><td>R6.11.2</td></tr></table> 対象：小学生、中学生、高校生、保護者、看護に興味がある人 内容：ワークショップ、ミニナース体験、看護の進路相談 ②実行委員会の開催 2回 (第1回 R6.8.29、第2回 R6.12.26) ①看護師等就業協力員による学校訪問の実施 対象：中学生、高校生やその進路指導を行う教員等 内容：・看護の仕事や看護職となるための方法について普及啓発 ・次世代ナース確保の重要性に関する講話 ・職業講話 訪問依頼件数：1校 R6.7～R7.3 訪問件数22件 若年層への情報発信の強化 ①労働環境支援委員会4回 ②看護職員就労定着支援事業 研修会：R6.12.10 受講者：61人 都道府県看護協会看護労働担当者会議 R6.7.18 医療勤務環境改善支援センターからの依頼を受け、支援対象機関に働き方等に関するアドバイザーを派遣 派遣回数 1回 R6.4.19	配 布 先	配布枚数	県内中学校(151校)・高等学校(91校)	34,100	県内各病院、県医師会、郡市医師会、看護師等学校、県および市町等関係機関	5,900		岩国地域	下関地域	宇部地域	協力病院	岩国市医療センター医師会病院	下関リハビリテーション病院	高嶺病院	開催日	R6.10.26	R6.10.26	R6.11.2
	配 布 先	配布枚数																	
	県内中学校(151校)・高等学校(91校)	34,100																	
	県内各病院、県医師会、郡市医師会、看護師等学校、県および市町等関係機関	5,900																	
		岩国地域	下関地域	宇部地域															
	協力病院	岩国市医療センター医師会病院	下関リハビリテーション病院	高嶺病院															
	開催日	R6.10.26	R6.10.26	R6.11.2															

事業項目	主な事業内容
4) 新セカンドキャリア活躍推進事業	① 実態調査 期間：R6.9.2～ R6.9.27 対象：山口県内の医療・老人保健施設、訪問看護ST等 403施設 セカンドキャリア世代(55歳以上)の看護職 1,220人 方法：自記式質問紙 回収率：施設看護管理者 190施設(47.1%) セカンドキャリア世代 564人(46.2%) ② 「セカンドキャリア人材バンク」の設置、運用 きらめきナースの周知・広報 マッチング：4件(7人) ③ セカンドキャリア支援研修会・交流会等
5) 看護職員メンタルサポート事業	① メンタルヘルス相談(ストレスコーチング) 対面、電話、ZOOMによるリモート面接 相談実人数：7人 延べ人数：8人 ② 看護管理者メンタルヘルス研修 R6.12.14 受講者：31人 ③ 出張による個別相談及び施設内研修 R6.8～11月 山口県内8病院と1看護学校 研修参加者：看護職170人(看護管理者49人、スタッフ121人) 看護職以外72人(医師、看護補助者、理学療法士、臨床検査技師、事務職等) 個別相談者：看護職12人(看護管理者10人、スタッフ2人) ④ メンタルヘルス相談(ストレスコーチング)周知 チラシの作成・配布およびホームページ掲載・LINE発信

3 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1) 看護業務の質の向上に関する事業	
(1) 保健師職能委員会	① 保健師職能委員会 8回 ② 支部職能委員との合同会議 2回 ③ 全国職能委員長会 1回 ④ 地区別保健師職能委員長会 1回
ア 保健師の連携強化及びネットワークの構築	① 保健師職能集会の開催 R6.6.22 ② 保健師職能交流会の開催 R7.3.22 ③ 支部委員との連携強化としての合同会議を開催し情報交換 2回 ④ ひたむきな保健師取材、会報「きらめき」掲載 3回 ⑤ ホームページ、会報「きらめき」による情報発信
イ 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進	① 研修会・交流会の実施 ② 一般教育研修計画への参画
ウ 会員増加の推進	① 保健師職能集会や交流会の開催 ② リーフレット、会員勧誘チラシ改訂版の活用

事業項目	主な事業内容
(2)助産師職能委員会	③ホームページ、会報による情報発信 ①助産師職能委員会 6回 ②支部職能委員との合同会議 2回 ③全国職能委員長会 2回 ④地区別助産師職能委員長会 1回
ア 周産期医療の現状と課題の把握	①職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 ②中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 ③保健師職能・看護師職能との情報交換・共有と課題を抽出
イ 助産実践能力向上研修	①新人助産師研修の企画・運営・評価 ②助産実践能力向上研修(中堅助産師研修)の企画・運営・評価 ③CLoCMiPレベルⅢ認証研修の導入・活用推進
ウ 母子のための地域包括ケア病棟の推進と助産師出向システムの活用	ガイドラインを活用した母子のための地域包括ケア病棟の運営の推進
エ 災害時の対応	周産期医療や母子保健に関する災害時(感染症も含む)の情報についてタイムリーな情報提供・情報交換
オ 広報活動	①イベントでの助産師の普及活動 ・看護の日・国際助産師の日 ・いいお産の日 ②ホームページ等による情報発信
カ 3職能4委員会との連携強化	①母子のための地域包括ケアシステムの構築に向けての、ネットワークの構築 ②地域における看護力強化に向けた連携推進のための検討会への参加 ③女性の支援に必要な体制の検討に向けた現状と課題の把握
(3)看護師職能委員会Ⅰ	①看護師職能委員会Ⅰ 9回 ②支部看護師職能委員Ⅰとの合同会議 2回 ③看護師職能委員会Ⅱとの合同会議(随時) 4回 ④全国職能委員長会(看護師職能Ⅰ・Ⅱ) 2回 ⑤地区別看護師職能委員長会 1回
ア 看護実践能力の向上	①看護職の生涯学習ガイドラインの周知・徹底 看護職の生涯学習ガイドラインの普及、生涯学習支援の推進に向けての現状調査 調査期間：R6.10.31～11.14 回収率40.9%
イ 地域包括ケアシステムの推進に向け地域との連携と継続看護の推進	①在宅ケア推進委員会及び4職能委員会の連携強化 それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題抽出、課題解決に向けた取り組み 在宅ケア推進委員会及び4職能委員会の合同会議 R6.11.9 ②看護師職能委員会Ⅱとの連携強化 合同会議の開催による情報交換、情報共有

事業項目	主な事業内容
ウ 支部看護師職能Ⅰ委員との連携強化	①支部活動の理解と把握及び情報共有 支部職能委員との合同会議 ②地区別看護師職能Ⅰ委員長会の課題について意見集約
エ 広報活動・会員増加の推進	①看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 1回 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
オ 日本看護協会との連携	①全国看護師職能Ⅰ委員長会議 2回 ②地区別看護師職能Ⅰ委員長会議 1回
(4)看護師職能委員会Ⅱ	①看護師職能委員会Ⅱ 9回 ②支部看護師職能委員Ⅱとの合同会議 2回 ③看護師職能委員会Ⅰとの合同会議(随時) 4回 ④全国職能委員長会(看護師職能Ⅰ・Ⅱ) 2回 ⑤地区別看護師職能委員長会 1回
ア 介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進	介護福祉施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座) R6.9～11月 山口県内の介護施設17施設 受講者:390人(介護職224人、看護職83人、その他83人)
イ 介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約	①看護師職能Ⅱ交流会 R7.3.8 参加者:42人 ②全国職能委員長会議 2回 ③地区別看護師職能Ⅱ委員長会議 1回 ④看護師職能Ⅱ領域の看護職のマネジメントに関する現状調査と課題抽出 介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、有料老人ホームを対象にアンケート調査 調査期間:R6.7.18～8.8 回収率35.7%
ウ 3職能4委員会の連携推進及び地域を見据えた専門領域での連携強化	①3職能4委員会及び在宅ケア推進委員会との合同会議 ②看護師職能委員会Ⅰとの合同会議 ③支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議 2回
エ 広報活動・会員増加の推進	①看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 1回 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
(5)職能集会	①保健師職能集会 R6.6.22 参加者:42人 ②助産師職能集会 R6.6.22 参加者:17人 ③看護師職能集会 R6.6.22 参加者:45人
(6)看護制度委員会	①看護制度委員会 5回
ア 准看護師の資質向上とキャリア形成の推進	①准看護師のスキルアップに繋がるような研修会の企画・運営 ②看護師養成課程への進学や利用できる制度に関する情報提供 准看護師スキルアップ研修の開催 R6.8.10 受講者:37人
イ 看護基礎教育を考える会の開催	カリキュラム改正後の看護基礎教育について、現状理解を深めるための研修会の開催 看護師基礎教育を考える会 R6.10.26 受講者:24人

事業項目	主な事業内容
ウ 看護専門領域の資格者の地域貢献活動連携強化	認定看護師等活躍推進事業検討会と連携し、看護専門領域の資格取得者が活動する上での課題を共有する
エ 日本看護協会との連携	全国看護基礎教育担当役員会議 R.7.2.4
オ 広報活動	会報「きらめき」、HPによる情報発信、広報・活動報告
(7)助産師出向支援導入事業 (山口県委託)	①助産師出向支援の実施(2事例) ・目的：研修 期間：R6.11.18～12.17 ・目的：研修 期間：R7.2.3～3.3 ②助産師出向支援導入事業協議会の開催 第1回 R.6.7.11 第2回 R.7.3.13 ③助産師出向に関する調査の実施 期間：R.6.10.1～11.7 調査対象：県内分娩取扱26施設 回答：19施設(回答率73.1%) ④助産師出向支援導入事業研修会の開催 R.7.2.8 受講者：18人 内容：助産師出向支援導入事業の概要 R5年度の出向事業報告 講演「産後のメンタルヘルスケア」 ⑤第41回山口県母性衛生学会学術講演会で発表 R.6.6.30 演題「山口県助産師出向支援導入事業について」
(8)認定看護師等活躍推進事業 (山口県委託)	①研修会の開催にて情報共有、課題抽出 専門看護師・認定看護師研修会 R.6.10.19 参加者：37人 特定行為研修修了者研修会 R.6.11.30 参加者：29人 看護管理者研修会 R.6.12.20 参加者：24人 ②認定看護師等の登録・マッチングシステムについての検討

4 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)新訪問看護提供体制推進事業 (山口県委託)	
(1)施策推進体制の確立	①訪問看護推進協議会 2回 ②訪問看護総合支援センターの開設に向けた検討委員会を設置し、検討会議を開催 ・設置運営に関する検討会 4回 ・教育関係(研修会等)に関する検討会 4回
(2)専門職による相談対応	訪問看護ステーションのための運営・経営に関する相談 7件
(3)訪問看護師育成支援(人材の育成)	①訪問看護入門研修の企画・実施 講義R.7.1.21 訪問看護ステーション実習 R.7.2.4～2.28の間の1日 受講者：24人 ②訪問看護研修ステップ1(新カリキュラムによる訪問看護初任者研修)

事業項目	主な事業内容
	5月～12月の間 180時間 30日程度(見学実習3日程度を含む) 受講者：9人 ③中堅者及び管理者対象研修(訪問看護師スキルアップ研修)の企画・実施 ・R6.6.1 受講者：58人 ・R6.9.5(ステップ1公開講座) 受講者：15人 ・R6.10.3(ステップ1公開講座) 受講者：19人 ④訪問看護師育成のための教育体制等検討 ・教育関係(研修会等)に関する検討会にて検討
ア 看護職間の相互理解、連携強化の取り組み	①訪問看護研修ステップ1の公開講座及び訪問看護の情報提供 ②訪問看護実践研修への参画、提言
(4)人材の確保	ナースセンターと連携した人材確保の促進 ・潜在看護師、プラチナナース等の就業促進 ・若手看護師確保に向けた取組の実施 ・離職防止対策の検討
(5)山口県訪問看護実態調査	訪問看護に関するアンケート調査による、山口県訪問看護の実態把握と課題の抽出 ・調査期間 R6.8.27～ R6.9.25 ・調査対象 県内の訪問看護ステーション 177カ所 ・有効回収率 65.5%
2)地域連携における看護の機能強化事業	
(1)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (県委託事業 訪問看護師実践研修を含む)	支部圏域の在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進・連携の強化を図る上での課題を抽出し、課題解決のために必要な知識や技術の習得研修を企画することを目的に、病院・施設の看護管理者、地域連携担当者、訪問看護事業所管理者、地域包括支援センター保健師、行政保健師、居宅介護支援事業所等の相談関係機関担当者等による検討会を設置 ①検討会の開催 2回 ②研修会・交流会等の開催 1回
(2)在宅ケアの推進	在宅ケア推進委員会 5回 3職能4委員会との合同会議 1回
ア 在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み	情報提供書の書き方ガイドの作成に向けた検討 介護支援専門員へ意見聴取 1回
イ 在宅ケアにかかる看護の実践能力の向上および連携推進	①山口県訪問看護推進協議会委員 ②情報提供、意見交換を目的とした3職能4委員会委員長との会議の開催 1回
(3)日本看護協会及び関係団体との連携	①山口県訪問看護ステーション協議会との連携、協力 ②関係団体との連携協力 ③都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議 R6.11.14

事業項目	主な事業内容
3)在宅感染管理研修事業 (山口県委託)	①訪問看護師等在宅療養を支援する看護職等に向けた研修の実施 R6.9.14(防府市)参加者：54人 R6.10.12(美祢市)参加者：22人 R6.11.9(柳井)参加者：33人 R6.11.30(下関)参加者：27人 ②感染対策に関する普及啓発 ・R5年度に作成したパンフレットを増刷し研修会等で配布 ・啓発動画の作成
4)訪問看護の推進に関する事業 (1)訪問看護ステーションの運営	①経営目標に基づく安定した事業の実施 ・訪問看護ステーションについての周知活動 ・ケアマネージャーとの連携強化 ・行政・医療機関・福祉施設との連携 ・24時間対応体制と緊急時対応の充実 ほうふ：24件訪問 とくち：30件訪問 ひかり：30件訪問 ・訪問看護などに関する電話・来所相談への対応 ほうふ：0件 とくち：1件 ひかり：4件 ・介護保険事業の適正な運営 ・事業所の設備・機器・物品の管理 ・運営会議の開催 2回 ②質の高い訪問看護サービスの提供 ・訪問看護サミット2024への参加 ・訪問看護集中セミナーへの参加 ・日本看護学会在宅看護への参加 ・サービス向上を目的とした課題の検討 ・介護者・家族へのサポート充実・強化 ・在宅サービス提供者との連携強化によるケアの拡充 ・利用者満足度調査(評価によるケアの向上) ・サービスの質の自己評価 ・管理者会議の開催 10回 ・感染症予防(標準予防策の徹底) ③訪問看護に関わる関連団体との協力 ・看護学生などの実習受け入れ ほうふ・とくち：21人 ひかり：12人 ・関係団体との連絡調整・会議 ・地域住民の在宅医療・介護に対する啓発 ・訪問看護振興財団他団体との連携 ④広報活動 ・協会ホームページ ・地域行事参加 訪問看護PRチラシ配布
5)健康相談・啓発等の事業 (1)「まちの保健室」活動の実施	①各支部の「まちの保健室」担当会議の開催 R6.9.28 ②普及啓発グッズの配布 ③健康フェア、循環器病対策県民フォーラム等への出展 ④関係機関との連携推進
(2)「国際助産師の日」活動	①各支部助産師職能活動(リーフレット作成、物品整備)
(3)がん総合相談窓口の設置 (山口県委託)	①相談窓口の設置 ②看護職による相談支援 他職種との連携による心理・療養生活・介護等の支援

事業項目	主な事業内容
	相談件数：140件(がん：134件、その他：6件) ③がん相談支援スキルアップ研修会参加 ④相談窓口の積極的な利用促進に向けての広報活動 新聞広告掲載(読売、朝日、毎日) 合計6回 地方情報誌掲載(ほっぷ、SUNDAY) 合計4回
6)災害時の看護支援活動に関する事業 (1)災害支援活動体制の整備、充実 (2)災害支援ナースの養成および資質向上のための支援 (3)平常時の防災活動の推進 (4)日本看護協会、関係機関、他団体との連携および協働 (5)委員会	①災害支援ナースの体制の整備・充実 医療法・感染症法改正後の災害派遣要綱等の改定 ②災害支援活動に関する資機材の整備 ③災害支援ナース指導者の育成 ①災害支援ナース養成研修会開催 1回 e-ラーニング(オンデマンド研修)20時間+集合研修2日間 修了者51人 ②災害支援ナースステップアップ研修 R6.7.13 48人 ③災害支援ナースの登録・変更(県・日本看護協会) ④災害支援ナース所属施設および看護管理者への情報の提供と共有、相互理解の推進のための活動 ①山口県総合防災訓練への参加 R6.5.26 下関市 参加者：災害支援ナース等8人 ②災害支援活動に関する資機材の整備 ①都道府県看護協会健康危機管理担当学会議参加 R6.12.19 ②令和6年度山口県災害ボランティア活動支援ネットワーク会議 R7.1.23 ③行政、医師会等の関係機関、JMAT等他団体との連携 災害支援委員会 5回
7)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)看護の日・看護週間行事開催 (2)看護のPR	①2024年度「看護の日・看護週間」イベント開催 R6.5.12(日) パブリックビューイング開催 参加者：3人 ②日本看護協会「看護の日PRバス」の山口県内巡回 R6.5.14 ・山口県庁出発式→山口県立総合医療センター→山口県立大学 →山口市立鴻南中学校→おのだサンパーク ③会員施設において県民を対象に看護の日・看護週間行事開催 32施設 参加者：4,063人 ④「ふれあい看護体験」を学生等を対象として会員施設で開催 R6.5月～8月 7施設 参加者：292人 ⑤「看護の心」普及活動 ・リーフレット配布やポスターの掲示 ①やまぐち未来のしごとフェスタ出展 R6.12.3,12.4 30校 476人 ②みらいWalker★UBE出展 R6.10.2,10.3 14校 350人 ③2025県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち R7.2.14 118人 ④やまぐちJOBフェスタ R6.10.27

5 公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

(公益事業／法人事業)

事業項目	主な事業内容
1) 日本看護協会との連携強化事業 (1) 諸会議への出席	※法人事業 ① 通常総会 R6.6.6 ② 理事会 6回 ③ 法人会員会 4回 ④ 代議員研修会 R6.5.25 ⑤ 都道府県看護協会政策責任者会議 R6.9.19 ⑥ 会員情報管理情報交換会 R6.7.4 ⑦ 都道府県看護協会広報担当役員会議 R6.11.7 ※公益事業 ⑧ 全国職能別交流集会 R6.6.7 ⑨ 全国職能委員長会 R6.8.2、R7.3.7 ⑩ 地区別職能委員長会 R6.10.18 ⑪ 都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議 R6.11.14 ⑫ ナースセンター事業担当者会議 R6.5.21 ⑬ 全国看護基礎教育担当役員会議 R7.2.4 ⑭ 都道府県看護協会健康危機管理担当者会議 R6.12.19 ⑮ 都道府県看護協会看護労働担当者会議 R6.5.16 ⑯ 医療事故調査制度に関する情報交換会 R6.9.18 ⑰ 都道府県看護協会教育担当役員会議 R6.8.8 ⑱ 都道府県看護協会図書室担当者研修会 R6.9.12 (2) 日本看護協会が実施する事業への情報提供並びに協力
	協力の詳細については各事業報告を参照

6 施設の貸与に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1) 研修会館の貸与事業 (1) 公益目的使用への施設の貸与	① 本協会の目的に沿った事業を行う団体に対し会議室等を低廉な料金で貸与

7 会員の福祉及び相互扶助に関する事業

(収益等事業)

事業項目	主な事業内容
1) 会員への福利厚生等に関する事業 (1) 福利・厚生事業	① 名誉会員制の継続 ② 各種表彰の候補者推薦 叙勲、厚生労働大臣表彰、医療功労賞、日本看護協会名誉会員、日本看護協会会長表彰、山口県優良看護職員知事表彰等 ③ 山口県看護協会会長表彰及び特別会長表彰の実施

事業項目	主な事業内容
	④傷病見舞、罹災見舞、休業見舞、死亡弔慰金等の支給 ⑤会報「きらめき」を全会員へ配布 ⑥レジャー施設等優待、割引

8 その他本会の目的を達成するために必要な事業

(公益／収益等／法人)

事業項目	主な事業内容
1)看護職への支援事業 (1)相談支援センター活動推進	相談支援センターの運営 実績：19件 内容：就業関連：11件、看護業務：1件、その他：7件
2)支部活動事業 (1)支部活動の推進	①支部活動の運営(※公益/収益等/法人) ②支部運営会議による協議 3回
3)組織運営に関する事業 (1)適正な財産運営 (2)各種事業運営	①健全な財産管理、運用(※法人) 会館・事務局運営 ①通常総会(※法人) R6.6.15 ②理事会(※法人) 7回 常務理事会(※法人) 3回 監査会(※法人) 2回 ③その他事業(各種会議)(※法人) ・支部運営会議 3回 ・推薦委員会(※法人) 1回 ・各種会議(※法人)
(3)看護政策推進のための組織強化事業	①地域の政策力強化(※法人) ・認定看護管理者会への参加 ・看護職員就業施設訪問 ②看護協会入会促進 ・入会促進用パンフレットの配布等による周知活動 病院・看護学校・訪問看護ステーション・福祉介護施設等 ・施設訪問 会員減少施設・非会員施設、診療所、福祉介護施設等 ・看護学校訪問 入学式・戴帽式・卒業式等 ・看護学校卒業生への啓発活動
4)広報活動事業 (1)広報活動	①会報「きらめき」発布(※公益/収益等) ・年3回全会員及び県内市町、各団体、未入会施設等へ資料配布 ・委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ②ホームページの更新、活用(※公益/収益等) ・研修情報、委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ③SNS(LINE)による情報発信

事業項目	主な事業内容
(2)各種情報提供	①会員増加の推進(※収益等/法人) ・会員、非会員へ新着情報の随時広報 ・看護職賠償責任保険制度のPR、加入促進 ・「山口県看護協会入会のご案内」等を入会希望施設や未入会施設に配布 ②タイムリーな情報提供(※公益/収益等/法人) ・通送便 1回/月 ・印刷物等配布
5)他団体との連携	
(1)看護教育機関との連携	①入学式・戴帽式・卒業式等出席(祝辞・祝文等)(※法人) ②見学・実習の受け入れ(※公益) ③卒業時に協会のPR(パンフレット等配布)(※法人)
(2)看護関連政策の推進	①要望・事業提案(※法人) ・行政機関、公益社団法人日本看護協会等 ・山口県看護連盟との連携 合同研修会開催 R7.1.25 講演「これからの看護～看護政策について理解する～」
(3)他団体との共催行事	①医療関係団体新年互例会(※法人) ②研修会等の後援 ③研修会等のチラシ配布、ホームページ掲載

令和6年度 一般教育研修実績報告

【新人研修】

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
新人看護職員集合研修Ⅰ ～素敵なナースになるために～	5/22(水)	107	66	41
新人看護職員集合研修Ⅱ ～楽しくいきいきと働くための コミュニケーションスキル～	9/26(木)	55	41	14

【看護研究】

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
看護研究を身近に！ ～テーマ決定から研究計画書作成まで～	5/18(土)	58	53	5
量的研究の悩みを解決！ ～統計手法とデータ分析～	7/5(金) 7/6(土)	21	21	0

【看護管理】

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
管理職・リーダーに必要とされる能力とは	10/16(水)	75	70	5
【オンライン研修】 パワハラをしない・させないために 職場でできること	11/2(土)	40	37	3
楽しく仕事をするためのチーム作り ～心理的安全性を高めるために～	5/29(水)	83	77	6
自分らしく主任力を発揮するコーチング	11/9(土)	60	46	14

【自己教育】

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
教える技術を身につけよう	8/9(金)	97	91	6
アサーティブコミュニケーションで 気持ちを素直に伝えよう	10/11(金)	71	64	7
仕事がつらいと感じた時はどうしたらいいの？ ～心の健康を維持する方法を考える～	9/10(火)	70	69	1

看護実践能力【ニーズをとらえる力】

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
臨床推論の基礎	8/23(金)	54	47	7
臨床推論の実際	8/24(土)	30	28	2
ナースの為の心電図教室 心電図のしくみと基本的知識	10/31(木)	134	128	6
【オンライン研修】 知っておきたい 栄養管理の基礎知識	12/14(土)	36	34	2

看護実践能力【ケアする力】

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
感染管理・対策の基本	6 / 19(水)	93	79	14
急変の徴候を見逃さないための フィジカルアセスメントと対応	9 / 4 (水)	144	130	14
現場に活かせる褥瘡ケア	9 / 19(木)	170	147	23
外来看護師に求められる在宅療養支援	10/12(土)	48	46	2
小児在宅医療について学ぼう ～医療的ケア児のケアの実際～	12/17(火)	44	42	2
認知症を持つ人への対応技法を学ぼう	10/ 5 (土)	88	83	5
【オンライン研修】 漢方マスターになろう	11/27(水)	45	45	0

看護実践能力【協働する力】

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
患者さんとあなたを守るために 医療安全について考えよう ～医療事故の経験から伝えたいこと～	6 / 1 (土)	71	67	4
医療安全の新しいアプローチ Safety- II	8 / 21(水)	69	63	6
回復期リハビリテーションにおける 看護とチーム連携 ～サルコペニアの予防を視野に～	8 / 17(土)	30	29	1
事例で学ぶ 社会資源と制度の活用	7 / 25(木)	122	118	4
災害時における看護 ～豪雨災害の経験からの学び～	8 / 1 (木)	97	93	4

看護実践能力【意思決定を支える力】

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
【オンライン研修】 高齢者ケアにおける看護倫理とそのアプローチ	12/21(土)	54	51	3
ACPの基本的な考え方と看護職の役割	11/14(木)	127	120	7

リクエスト枠

研修会テーマ	開催日	受講者数	内訳	
			会員	一般
哲学を通して 心の健康を維持する方法を考えよう！	7 / 11(木)	89	87	2

令和6年度 支部事業報告

岩国支部事業報告

支部長 浜 佳恵

活動目標	全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携
評価と今後の課題	3支部合同看護マネジメント研究会、その他研修実施で、看護職間での連携にとどまらず、多職種間での連携も深めることができた。まちの保健室は予定通りには実施はできなかった。今後は、地域のイベント時の実施を検討し、地域における健康増進活動を推進していく。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 ①教育委員会研修 R6.7.13(土)14:00～15:30 「みんなで考えよう!転倒転落予防の取り組み」シンポジウム形式 急性期病院・回復期病院・施設・行政での取り組み 参加者:64人 ②職能委員会研修 R6.11.21(木)19:00～20:30 「ときどき入院。ほば在宅、最後はどうする…?日々の体験を語り合おう」 参加者:55人 2)学会等学術振興に関する事業 (1)3支部合同看護マネジメント研究会 担当:周南支部 日時:R7.2.1(土)13:00～17:00 発表:10演題 参加者:93人(岩国25人 柳井34人 周南34人)
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)県協会労働環境支援委員会研修参加への働きかけ (2)岩国圏域看護管理者ネットワーク会議への参加と情報共有
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護週間」PR事業 各施設で 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室開催 4回(地域行事への参加含む) ①中通り商店街:R6.5.19(日)来場者23人・R6.9.15(日)来場者:23人 ②岩国まつり開催日に岩国YMCA保健看護専門学校教室で実施: R6.10.20(日) 来場者延べ:185人 ③岩国市地域包括ケア推進大会R7.2.2(日)来場者:延べ236人 (2)国際助産師の日事業 未実施 (3)進路相談 各施設で実施 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 検討会3回:R6.6.12(水)7.4(水)9.4(水) 研修会1回:R6.11.21(木)職能研修会と共催実施
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1)看護職交流会:R6.9.7(土)14:00～15:30 看護職の心の健康維持への取り組み～初めての苔玉作り 参加者:18人 2)表彰候補の推薦とお祝い
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部活動の充実 (1)地域会議への出席(支部長他) ・岩国看護管理者ネットワーク会議 R6.7.31 R7.2.6 ・岩国市地域包括ケア推進協議会 医療部会 全体会議:R6.5.23 R7.2.20 圏域会議 第3:R6.8.2 第4:R6.8.6 ・岩国医療圏地域医療構想調整会議 R6.6.25 R7.2.6 (2)看護学校入学・卒業式祝電:2校 2)支部集会:R6.7.13(土)開催 出席者:54人 委任状:333人 3)支部役員会・職能委員会・教育委員会6回 4)広報活動(1)協会「きらめき」への投稿(2)協会ホームページへの投稿

柳井支部事業報告

支部長 田山千里

活動目標	1)地域における看護職の連携強化、看護の質の向上 2)支部活動を通して、親睦、情報交換の場とする。
評価と今後の課題	まちの保健室は行政機関と連携して地域の行事に参加し地域住民に健康への啓発を継続して行っていく。支部集会及び支部集会前の特別講演は、人数制限しつつも会員現地参集で開催できた。3支部合同看護マネジメント研究会は、10演題発表にて参加人数93名であった。在宅療養支援のための看護職の連携推進研修における柳井支部訪問看護ステーション等見学実習は、計5名の実習生が4施設で実施できた。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)学会等学術振興に関する事業 (1)3支部合同看護マネジメント研究会 R7.2.1柳井支部34名
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会労働環境支援委員会研修参加への働きかけやコロナ禍の看護職支援のメンタルヘルス相談の活用の働きかけ
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護週間」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事の開催 ①各施設で状況に応じて実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室 ①行政機関と連携し地域の祭りやイベントに4回参加して地域住民に健康への啓発活動を実施 (2)国際助産師の日事業 ①各施設で状況に応じて実施(周東病院はR7.3.15実施、大島病院はR7.5実施予定) (3)進路相談 ①各施設で実施 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (1)検討会1回目R6.9.18 2回目R7.2.5実施 (2)研修会：訪問看護ステーション等で見学実習、看護師5人4施設で実習
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1)表彰候補者の推薦 ①県協会への協力 2)その他の事業 ①支部集会前研修 R6.7.6 講演会「災害時の基礎知識と派遣活動の実際」 出席者：52人 講師：周東総合病院 看護師(山口県看護協会災害支援ナース)
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)支部活動の充実 (1)地域会議への出席 令和6年度柳井医療圏地域医療構想調整会議及び地域密着型サービス運営委員会などに参加 (2)看護学校3校 入学式・卒業式祝電 2)支部集会 R6.7.6 出席者77人 委任状404人 3)支部役員会 6回開催 4)支部委員会(1)職能委員会(2)教育委員会(3)推薦委員会(4)選挙管理委員会6回開催 5)広報活動①協会広報「きらめき」への投稿 ②協会ホームページへの投稿

周南支部事業報告

支部長 伊藤友里代

活動目標	1)地域における看護職の連携強化と看護力の向上 2)会員相互の親睦を図り、多職種との連携を深める
評価と今後の課題	研修会については会員の皆さんのニーズに沿った内容をテーマとして開催した。研修後アンケートでは全ての研修において満足・大変満足が殆どであり有意義であったと評価する。また、交流会やワークショップを取り入れることで、意見が言える場を設けることができたとともに多職種での顔の見える関係作りの一助となった。まちの保健室活動については、市のイベントに合わせて開催し多くの方が参加された。今後も行政機関との連携を図り、各職能の専門性を活かし地域の方の健康をサポートできる場を提供していきたい
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 ①教育研修会 参加者：82人 ②職能研修会 参加者：30人 2)学会等学術振興に関する事業 (1)3支部合同看護マネジメント研究会 担当：周南支部 日時：R7.2.1 参加者：34人 (3支部総計93人)
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり ①県協会労働環境支援委員会の研修参加への呼びかけ
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)各施設で日時を決定して実施、ポスター掲示及びグッズの配布 2)健康相談・啓蒙活動の事業 (1)まちの保健室 2回(R6.10.27 R6.11.24)参加者：453人 (2)国際助産師の日事業 ①イベント「いいお産の日」1回 参加者：196人 (3)進路相談 ①各施設で実施 (4)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 ①検討会 3回 ②研修会 参加者：40人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1)会員への福祉厚生等に関する事業 (1)表彰候補の推薦 (2)山口県優良看護職員知事表彰の推薦 2)その他事業 (1)看護管理者交流会R7.1.11 参加者：28人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)支部集会 1回 R6.7.6開催 出席者：48人・委任状：1607人 2)支部役員会 4回(R6.5.9 R6.8.8 R6.12.16 R7.3.13) 3)支部委員会 職能・教育委員会 各6回 推薦・選挙管理委員会 各1回 4)広報活動 (1)県協会報「きらめき」へ投稿 (2)県協会ホームページへ投稿 5)地域会議への出席 (1)地域医療構想調整会議 (2)あ・うんネット周南 会議3回 研修会3回

防府支部事業報告

支部長 山本知美

活動目標	・地域包括ケアにおける看護職の相互理解の推進・連携の強化 ・地域における健康増進活動の推進
評価と今後の課題	在宅療養支援のための看護職連携推進研修会は、演習中心の内容で、施設や職種を超えた交流ができた。それぞれが所属する施設の課題だけではなく、周辺地域の問題を共に考えることができた。 今後も引き続き、研修内容や形式を工夫して、地域や多職種の交流を深めていきたいと考えている。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)教育委員会・職能委員会 支部研修1回 教育研修会 R6.12.7「体験してみようBLS」
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会労働環境支援委員会の研修参加への働きかけ ②インスタグラムにて支部の活動PR
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)看護の日及び看護週間行事の開催1回 ①ラッピングバスの運行 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室 ①R6.9.14アスピラート防府 参加者：100人 ②R6.11.15～16アスピラート防府 参加者：70人 ③R7.1.18イオン防府：参加者：15人 (2)国際助産師の日事業 ①R6.11.10イオンタウン防府 (3)保健師交流 ①研修会1回 ②保健師情報交流会1回 (4)その他の事業 ①地域行事での救護協力 3)在宅療養支援のための看護職連携推進の強化事業 ①検討会 3回 ②研修会R7.2.15「在宅医療と医療DX」
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1)会員の福利厚生に関する事業 (1)表彰候補者の推薦 ①県協会へ協力 (2)その他の事業 ①親睦会 中止
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)支部役員会 4回 開催 2)支部委員会 (1)職能委員会 2回 (2)教育委員会 2回 (3)推薦委員会 1回 (4)選挙管理委員会 1回 3)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿 (2)協会ホームページへの投稿

山口支部事業報告

支部長 小迫幸恵

活動目標	1)在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進と連携を図る 2)看護職の確保と定着を図る
評価の今後の課題	「一般教育研修」「まちの保健室」は昨年に引き続き開催を計画している。まちの保健室は、さらなる開催に向けて企画を行っているところである。支部活動をコロナ禍前の活動に戻すべく、今後も皆で協力し支部活動に取り組んでいきたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 (1)教育委員会企画研修会 R6.12.21(土)9:30~11:00 場所:山口健康づくりセンター2階第1研修室 講師:パラマウントベッド広島支店 内容:看護職の腰痛予防対策研修会
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)看護職の人材確保・就業支援 ①看護学校との情報交換と地域の高校生等への就業支援 ・訪問看護の紹介・一般的な看護師の仕事の内容・認定看護師施設の動画を作成している。今後の活用について検討中。
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「まちの保健室」実施 (1)おごおり健康まつりR6.11.3(日)10:00~14:00参加者:158人 (2)アルク葵店での開催R7.1.19(日)参加者35人②R7.3.8(土)54人 血管年齢・血圧測定・がん検診・健康相談、国際助産師の日共催 2)在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会 (1)R6.12.20(金)18:30~19:30 (2)R7.3.21(金)18:30~19:30 場所:山口県立大学 内容:「看護情報提供書」について検討
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1)講演会(支部集会後)R6.7.20(土) 場所:山口県健康づくりセンター講師:訪問看護ステーション こころの樹管理者 内容:災害時に看護師が行える支援を考える～能登地震派遣の体感と実感から～
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部組織の強化に関する事業 (1)支部活動の充実 ①山口市生活習慣病予防研究会への支援・協力(職能委員):幹事会議6回、市民公開講座への支援、コメディカル講演会への支援 ②地域会議への出席:5回(支部長) ③看護学校関連事業(祝電):戴帽式3校・卒業式2校・入学式1校 2)支部運営に関する事業 (1)支部役員会5回(2)支部委員会①職能委員会5回②教育委員会5回③推薦委員会5回④地域連携推進委員会5回⑤選挙管理委員会2回 3)広報活動(1)県協会報「きらめき」への投稿

宇部支部事業報告

支部長 宇多村順子

活動目標	地域包括ケアにおける看護力の連携と強化
評価と今後の課題	R6.7.20(土)一般会員も参加する形で支部集会を開催した。支部集会後の三職能合同研修会では昨年度に比べて参加者が増加した。いずれも感染対策を徹底し問題なく終えることができた。引き続き感染対策を行い、会員のニーズに沿いながら看護力の強化につながる研修を検討していく。 健康相談・啓発等の事業について、R5年度は商業施設の健康ブースでパンフレット等の配布を行ったが、R6年度は対面での健康啓発事業を検討していく。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部教育研修会 R6.6.22「災害時地域や自施設で看護職として備えておくこと」受講者：80人 講師：山口大学地域レジリエンス研究センター防災減災グループ学術研究員
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	働き続けられる環境づくり支援 県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護の日及び看護の心PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事を実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)R6年度は対面式での「まちの保健室」開催準備 R7年1月より楠こもれびの郷で毎月1回開催(今年度3回開催) 3)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化(小野田支部と合同) 医療圏別訪問看護実践研修検討会 第1回目検討会 R6.6.21 出席者：9人 第2回目検討会 R7.2.28 出席者：5人 協議事項：在宅を知る・実際を見る・新たな学びをテーマに 訪問看護ステーションの活動から、在宅療養の実際と資源の限界等実習を通じて知る。⇒実習先等を検討中
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)三職能合同研修会 出席者：34人 R6.7.20(土)：「よい睡眠のための環境調整とセルフケア」 講師：独立行政法人国立病院機構 関門医療センター 理学療法士
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)支部役員会 6回開催 2)支部委員会 教育委員会 5回 職能委員会 5回 推薦委員会 1回 3)支部集会R6.7.20(土) 出席者：77人 委任状：1916人 4)その他 (1)看護学校入学式、卒業式出席、看護学校戴帽式祝辞 (2)地域医療構想調整会議 R7.2.3 出席

小野田支部事業報告

支部長 井上孝子

活動目標	地域における看護職の連携強化と看護力の向上
評価と今後の課題	看護師の就業促進や地域への貢献のため、今年度よりまちの保健室を再開した。来客数は多くないが、対面形式で実施したことで地域の方との交流や健康意識の高さを感じられた。継続し今後へ繋げたい。教育研修会については、オンラインが好評であった。また、天候に左右されにくい点も参加数の増加に繋がった。研修内容に関する希望も多くあり、来年度も実施していきたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部教育研修会 R7.2.5(水) テーマ:「高齢者のスキンケアについて」オンライン研修 講師:山口労災病院 皮膚排泄ケア認定看護師
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)県協会主催事業への協力 (2)看護職の就業促進 R6.11.17(日)「SOS健康フェスタ」で展示ブース設置 血圧測定、AGEs、血管年齢測定、肌年齢測定、健康相談を実施 199人
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」行事開催 各施設で「花の種」等の配布と各種測定、健康相談 2)「国際助産師の日」/「いいお産の日」行事開催 (中止) 3)「まちの保健室」開催R6.9.28(土)おのだサンパーク 骨密度、肌年齢、血圧測定、体脂肪測定、健康相談を実施:36人 4)山陽小野田市主催「SOS健康フェスタ」 展示ブース、がん予防啓発・健診参加パンフレットの配布 5)看護体験実施:実施可能な施設で実施 6)在宅療養支援のための看護職連携推進研修(宇部支部と合同) (1)検討会開催 6/21、2/28に実施 (2)「訪問看護ステーション」での実習を検討中 (3)R6.7.11 第1回在宅医療・介護連携推進研修会 講義1:「災害時に必要な備えや知識」 講義2:「災害時の対応、避難について」 意見交換「明日から私たちが取り組む災害時の支援」
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1)表彰候補者の推薦 2)支部交流会は中止
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部集会 R6.7.20(土)集会後研修 「訪問看護の現状と連携について」 講師:美祢市訪問看護ステーション 参加施設13施設、41人 2)支部役員会 4回(5/14、8/28、12/11、2/26) 3)支部委員会 職能委員会4回、教育委員会4回、推薦委員会1回、選挙管理委員会1回 4)支部活動の充実 (1)地域会議への出席 (Web会議・書面会議含む) 5)広報活動 (1)県協会会報「きらめき」への投稿2回

長門支部事業報告

支部長 花島まり

活動目標	地域包括ケア推進のための看護職の連携を強化する 地域住民の健康増進活動を推進する
評価と今後の課題	地域の活動に積極的に参加し、健康増進活動を行った。看護職の減少が続いているため会員確保が課題である。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護教育に関する事業 (1)一般教育研修 「摂食嚥下の看護」R7.3.19 参加者：58人 (2)WEB研修 2回 ①R6.10.24：193人 ②R7.2.14：187人 2)学会等学術振興に関する事業 (1)支部看護研究指導 ①R6.6.27 ②R6.10.17 7グループ (2)看護研究発表会 R7.2.27 7題 参加者：69人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 R6.12.10県協会研修会に参加を促進 2)看護管理者会議 長門市内の病院・施設等の看護管理者会議 R7.2.19 参加者：17人
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」、看護の日・看護週間で施設毎に実施 2)まちの保健室 R6.9.28、10.5、10.20 3)国際助産師の日事業：「助産師まつり」 R6.10.5 参加者：100人 4)進路相談：一日看護体験、職場体験時に実施 R6.8.8 参加者：16人 5)在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 検討会①R6.9.4、②R7.2.19 研修会R6.9.13「災害時における自助力を高める取り組み」 参加者：35人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1)表彰候補者の推薦 2)地域の看護職員交流会 実施なし
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)支部活動の充実 (1)地域会議への出席 10回 (2)看護学校入学式・戴帽式・卒業式臨席 2回 2)支部集会R6.7.18 会場：長門市地域医療連携支援センター 2階研修室 出席者：38人 委任状：153人 計191人 3)支部役員会：2回開催 4)支部委員会 (1)職能委員会 (2)教育委員会 (3)推薦委員会 (4)選挙管理委員会 5)広報活動 (1)県協会「きらめき」の投稿 (2)支部広報誌「ふれあい」の作成 年1回発行

萩支部事業報告

支部長 松谷真由美

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護職の連携強化 2)地域活動を通して地域住民に対し看護協会の普及啓発を図り、あわせて健康向上に貢献する
評価と今後の課題	昨年同様、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、看護協会活動も感染対策を講じながらではあるが、遂行できている。また、まちの保健室は通常開催とふるさと祭りで実施することができた。研修会、交流会も対面で実施できた。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 (1)教育委員・職能委員の合同研修会 1回 日 時：R7.1.18(土)13：30～15：00 参加者：39人 テーマ：災害時対応の体系的アプローチ「CSCATTT」 ～看護の視点で学ぶ基礎と対応～ 講 師：山口大学大学院医学系研究所 救急医学講座 山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター 会 場：萩市地域医療連携支援センター1階 大会議室
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事の開催 2)まちの保健室の開催：萩図書館 R6.5.11(土)より、原則第2・第4土曜日に萩図書館及び萩ふるさと祭りで実施：10回 3)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化事業 (1)検討会1回 (2)研修会1回 4)進路相談 (1)まちの保健室での実施 5)その他の事業 (1)地域行事での救護協力 →萩・花火大会 R6.8.1：2人 萩城下町マラソン R6.12.8：8人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	支部交流会 日 時：R7.3.2(日)10：00～11：30 参加者：34人 内 容：ヨガリラクゼーション 講 師：フィットネスラボタイム フリーインストラクター 会 場：萩市総合福祉センター
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	(1)支部集会開催 R6.7.30(火) (2)支部役員会 5回開催 (3)支部委員会：各委員会で開催

下関支部事業報告

支部長 関野尚子

活動目標	地域包括ケアに求められる看護力の強化と連携 1)地域教育ネットワーク(認定マップ)を活用する 2)臨床現場の看護実践能力の底上げを行う
評価と今後の課題	研修会については、各委員会で計画通りに実施した。まちの保健室の開催場所を検討した結果、1施設開催場所の拡大を図った。地域の方の健康増進に役立つ活動となるよう引き続き取り組んでいきたい。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修(教育委員会主催) R6.11.29「災害看護の歩みと今後の展望」受講者：34人 R7.2.21「そこんどこ知りたかった 脱水って何？」受講者：50人
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 県協会主催事業への協力 2)看護職の人材確保・就業支援 (1)各施設の職場体験等で、進路相談を実施し就業促進を行う (2)市内への就業促進目的として、看護学校との情報交換を行う
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」「国際助産師の日」PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事の開催 (2)R6.5.19「看護の日」イベント、「国際助産師の日」事業、合同開催 2)健康相談・啓発等の事業 (1)まちの保健室開催 8回 (2)地域行事での救護協力 R6.11.3海峡マラソン 参加者：29人 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 検討会3回 研修会R6.10.29「病院から在宅療養支援へ向けた看護連携」受講者：68人
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業)	1)会員への福利厚生 (1)研修会開催(職能委員会主催) R7.1.10「退院支援に向けた多職種連携 ～いつもの排泄ケアを振り返ってみよう～」受講者：42人 (2)研修会・会員交流会開催(職能委員会主催) R7.3.21「身体拘束解除に向けた取り組み～各施設での取り組みを共有し患者に適切な看護ケアを実施しよう～」受講者：30人
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)支部活動の充実 (1)支部集会 R6.7.19 出席者：88人 委任状：1331人 (2)支部役員会 7回 (3)支部委員会 まちの保健室委員2回、教育委員会4回、 職能委員会4回、推薦委員会1回 2)支部組織強化 (1)地域会議への出席 (2)広報活動 県協会報「きらめき」への投稿(10月)

令和6年度 職能委員会活動報告

1 保健師職能委員会

委員長 安池まさみ

1 活動目標	1)保健師の連携強化及びネットワーク推進 2)保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 3)会員増加の推進
2 委員会開催	委員会 8回 支部保健師職能委員との合同会議 2回
3 活動内容	1)保健師の連携強化及びネットワーク推進 ①保健師職能集会の開催(R6.6.22) ②保健師職能交流会の開催(R7.3.22) ③保健師職能委員会の開催(4/20、6/22、9/7、10/12、12/14、1/11、2/15、3/22) ④支部連携としての合同会議の開催(10/12、3/22) R6.10.12 県職能委員7人 支部職能委員9人出席 R7.3.22 県職能委員7人 支部職能委員10人出席 ⑤会報やホームページによる情報発信 ひたむきな保健師掲載 6月、10月、新年号 ホームページによる情報発信(6月) 2)保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 ①研修会の実施：R6.6.22(土) 助産師との合同研修会 講演 「周産期のメンタルヘルス～精神症状のある妊婦さんへの支援のために～」 講師 山口大学教育・学生支援機構 健康科学センター 助教 樋口直子氏 グループワーク「精神症状を呈する妊産婦さんへの支援について～連携促進～」 ②在宅ケア推進委員会及び4職能委員会との連携強化 ・在宅ケア推進委員会議(11/9)への参加 ・専門領域の役割や活動の理解と連携強化のための取組み ③全国保健師職能委員長会(8/2)及び中四国ブロック保健師職能委員長会議(10/18)による情報把握及び情報共有 ④交流研修会の実施：R7.3.22(土) 講演 「2040年を見据えた行政保健師のあり方・受け入れる・変える・見分ける-」 講師 山口大学大学院医学系研究科地域看護学分野 教授 牛尾裕子氏 グループワーク 「2040年問題を見据えた、今後の保健師活動等についてみんなで考えよう！」 3)会員増加の推進 ①保健師職能集会や職能研修会・交流会の開催 ②リーフレット・会員勧誘チラシの有効活用 ③会員勧誘リーフレット作成 ④会報やホームページによる情報発信 ・会報で、ひたむきな保健師を年3回掲載 ・ホームページで職能集会や研修会等の情報発信 ⑤2025 県内進学・仕事魅力発信フェア I Nやまぐち(2/14)への協力
4 評価と今後の課題	保健師職能集会については、昨年度に引き続き看護職連携の一環として助産師との合同で研修を実施し、保健師40人、助産師14人の参加のもと、昨年度のアンケート内容で精神疾患を呈する妊産婦への支援について学びたいという声を反映した研修に取り組んだ。講義・グループワークは大変好評であり、それぞれの立場で意見交換を行うことで、

	互いの役割を理解し連携の必要性を認識することができた。参加者からも「助産師さんと意見交換、ならびに他市町の事業展開状況について知ることのできる素晴らしい機会でした。」等の意見もいただくことができた。 3月22日開催の保健師職能研修・交流会では、会員同士の意見交換の場をもつことができ、2040年を見据え、保健師として今後どのような視点で活動をしていけばよいかを考える良い機会となった。しかし昨年度に比べ参加者が少なく、交流を図るには残念な結果となった。参加しやすい時期を考慮して企画をする必要があった。 各研修会や交流会により、保健師活動の目的、今後の在り方を再考すること、保健師間の連携だけでなく、看護職連携の促進を図ることの重要性を共有することができた。また、今回職能委員会や支部職能委員との合同会議により、保健師職能としてできることは何か、何をねらって活動するかを再検討することができ、保健師職能の意義は、保健師同士のつながりをもち、誇りを持ってキャリアを重ねていけること、看護師職能・助産師職能との交流・連携を通して、他の職能を知り、地域全体の健康づくりを目指して活動することであると再確認することができた。現在新たな勧誘リーフレットの作成に取り掛かっており、来年度にその強みを全保健師へ発信していく方向づけができた。 今後も、保健師としての地域活動を再考する機会を作り保健師間での更なる連携を図るとともに、助産師、看護職能との連携を図り、全世代への地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組みを協働で図っていきたい。
--	--

令和6年度保健師職能委員会支部活動報告

会員数は令和7年3月末現在

支部	会員数 (保健師)	職能委員会の保健師数	令和6年度支部活動報告		支部活動における課題	協会入会促進活動
			研修・交流会等	まちの保健室	問題点・(今後の取組み) 県職能への要望など	支部で工夫していること、 今後取り組みたいこと
岩国	62	1	【教育研修】 日時：R6.7.13 内容：「みんなで考えよう！転倒転落予防の取り組み」 【交流会】 日時：R6.9.7 内容：「初めての苔玉づくり」 【岩国市医師会コ・メディカル研修会】 日時：R6.11.21 内容：多職種研修会Ⅱ「ときどき入院・ほぼ在宅。最期はどうするの…？日々の体験を語り合おう！」 【3支部合同看護マネジメント研究会】 日時：R7.2.1	【健康年齢維持運動】 日時：R6.9.15、R6.10.20 内容：岩国駅前中通り商店街、岩国まつりで、血管年齢測定や肌年齢測定など実施。 【岩国市地域包括ケア推進大会】 日時：R7.2.2 内容：血管年齢測定、骨密度測定、肌年齢測定、物忘れ相談タッチパネルと保健師による健康相談	・まちの保健室について、昨年度よりも実施回数増加。	・未入会の職員や新規採用職員等に、入会の案内について声かけをする。 ・岩国地域保健師職能交流会を3月に実施予定。今年度は非会員でも参加可能と呼びかけ。
柳井	35	1	【講演会】 柳井支部特別講演会 ・日時：R6.7.6(土) 13：00～14：00 ・場所：周東総合病院 ・内容：災害看護の実際と災害時における基礎知識 講師 周東総合病院 木村 直也 氏 【3支部合同看護マネジメント研究会】 ・日時：R7.2.1(土) 13：00～17：00 ・場所：スターピア下松	①平生健康づくりの集い ・日時：R6.9.7 ②2024年度世界腎臓デーイベント ・日時：R7.2.13 ③周東総合病院「来てみんない感謝祭」 ・日時：R7.2.15 ＊内容は以下を参照 ・血圧測定、物忘れチェック、肌年齢測定、骨年齢測定 等	【問題点】 ・支部活動として、保健師職能に特化した活動等はないため、会員(保健師)のニーズ等を把握しにくい状況がある。(自治体によっては、支部活動以前に入会率の低さ自体が課題となっている。) 【県職能への要望】 ・保健師職能に対する研修や交流会を支部独自で開催することは、役員の配置状況等から難しいため、引き続き、県職能での開催をお願いしたい。	・新規採用職員への案内 ・協会からの案内等を非会員にも回覧等することで協会活動について知る機会を増やしている。 ・今後は、入会促進に向けたパンフレットが作成された際には、非会員に対して案内をしていく。

支部	会員数(保健師)	職能委員会 の保健師数	令和6年度支部活動報告		支部活動における課題	協会入会促進活動
			研修・交流会等	まちの保健室	問題点・(今後の取組み) 県職能への要望など	支部で工夫していること、 今後取り組みたいこと
周南	48	1	【研修会】 職能研修会 日時：R6.11.30(土) 10:00～11:30 参加者：30人 場所：スターピアくだまつ 会議室1・2 講師：堀家幸美氏 内容：「アロマテラピーを取り入れて心と身体をリフレッシュ!!」～アロマトリートメントを体験してみよう～	①周南市 ※台風により中止 日時：R6.8.31(土) 13:00～14:20 場所：周南市文化会館(市の「認知症講演会」にあわせて実施) 内容：血圧測定、健康相談(がん検診) リーフレット・グッズ配布 体脂肪測定 ②下松市 日時：R6.10.27(日) 9:30～14:30 場所：キラル(「下松市福祉健康まつり」にあわせて実施)市健康増進課のブースに市健康増進課・明治安田生命・看護協会3共催 内容：肌年齢、血管年齢、ベジチェック、体脂肪測定、血圧、健康相談(3つの団体で役割を分担) 利用者：延281人 ③光市 日時：R6.11.24(日) 10:00～12:00 場所：あいぱーく光(市の「ふれあい健康フェスティバル」にあわせて実施) 内容：血圧測定、健康相談(がん検診) リーフレット・グッズ配布 体脂肪測定 利用者：延べ172人	・集約のしやすさや、広報活動等を考慮し、各市イベント・祭り等に抱き合わせでまちの保健室活動を実施している。看護職間のネットワークもさらにひろがり、地域への貢献もできてよい試みだと感じている。 ・参加者のニーズが反映された研修会の開催を目指す。	・各施設で新規採用職員や未加入の職員に対し積極的に入会のメリットを伝え、入会案内の声掛けをしている。 ・今後、新規会員獲得のため、入会キャンペーンやイベントを支部で開催し、協会の活動を広く知ってもらう機会を増やすことを検討。
防府	39	1	・教育研修会 R6.12.7(土) 「体験してみよう BLS」 ・在宅療養支援のための看護職連携推進研修 テーマ「在宅医療と医療DX～BCPを踏まえて、在宅医療への応用や医療現場の災害対策について～」 R7.2.15日(土) 波乗りクリニック院長 小早川節氏	・防府市幸せますケンシンまつり R6.9.14 参加者：約100人 ・愛情防府フリーマーケット R6.10.12 ・市民文化祭 R6.11.16～11.17) ・看護の日(イオン防府店)	研修会の集客 今年度は土日に設定した。各施設での周知、チラシの工夫など検討が必要。	引き続き、インスタグラムを活用した周知や報告。
山口	92	1	・R6.10.27(日)山口生活習慣病予防のための市民公開講座に参加。医師や栄養士の講義の他、山口支部としては血圧測定、血管年齢測定等を実施。 ・研修会(教育委員会主催) R6.12.21(土)腰痛対策について 講師：パラマウントベッド 恒川氏	・R6.11.3(日)おごおり健康まつり(地域のまつり) 内容：血圧測定、肌年齢測定等 ・R7.1.19(日)アルク葵店 内容：血圧測定、体脂肪測定、血管年齢測定等 ・R7.3.8(土)アルク葵店で実施(国際助産の日事業と共催) 内容：乳幼児身体測定、妊婦体験等	特になし	・職場での声かけ、研修会等周知 ・新規採用職員へ入会の勧め。

支部	会員数(保健師)	職能委員会の保健師数	令和6年度支部活動報告		支部活動における課題	協会入会促進活動
			研修・交流会等	まちの保健室	問題点・(今後の取組み) 県職能への要望など	支部で工夫していること、 今後取り組みたいこと
宇部	46	1	【研修会】 令和6年度宇部支部研修会 日時：R6.7.20(土) 内容：「良い睡眠に向けた生活習慣」 講師：NHO関門医療センター石光雄太氏	・場所：楠こもれびの郷 ・日時：R7.1.13(月)、2.10(月) (毎月第二月曜日に開催予定) ・内容：血圧・血管年齢・体脂肪測定・骨密度測定等、健康相談	・特になし。	・職場における声掛け。 ・非会員にも活動を知ってもらうために研修会は非会員も対象とした。
小野田	34	1	研修会・交流会の開催はなし	①場所：おのだサンパーク 日時：R6.9.28(土) 10:00～14:30 内容：肌年齢測定、骨密度測定 ②R6年度 SOS健康フェスタ 日時：R6.11.17(日) 場所：山陽小野田市厚狭地区複合施設 内容：測定(血圧・AGEs・血管年齢・肌年齢)、健康相談等	職能としての活動は、支部交流会等コロナ禍で実施していないものは、今年度も実施は見合わせている状態。 イベントでの感染対策については、その都度感染状況等確認しながら、その都度役員会で検討している。	・交流会を見合わせている状況であるため、二市での保健師職能の交流はない状況。保健師の会員数は看護師、助産師に比べて少なく、保健師職能単独での活動は難しい状況である。地域包括ケアシステムの構築の中で、他職種との顔の見える関係をより一層構築できるように、来年度以降の支部活動を検討していく必要がある。
長門	15	1	在宅療養のための看護職連携推進研修会 R6.9.13「災害時における要配慮者への自助力を高める取り組み」 講師：下関地方気象台 R6.11.2 講演会「高齢者の医療へのかかり方」ACPについて 講師：阿知須同仁病院 顧問 江里健輔氏 一般教育研修 R6.10.24「アドバンス・ケア・プランニングとは？人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドラインを踏まえて」WEB研修 講師：茨城大学教授 木澤義之氏 R7.3.19 摂食・嚥下障害看護 R7.2.27看護研究発表会(ZOOM開催) 保健師職能としては、協会員に限らず市及び県の保健師が参加し毎月定例調整会議を開催し事例検討、災害時保健活動等の共通するテーマで研修を行っている	R6.10.20(日)三隅ふるさと祭り R6.11.10(日)日置ふるさと祭り	保健師職能で研修をする際の予算について教えていただきたい	・支部研修会に協会員以外の職員も参加勧奨 ・職場での声掛け、看護協会の役割について伝えていく

支部	会員数(保健師)	職能委員会の保健師数	令和6年度支部活動報告		支部活動における課題	協会入会促進活動
			研修・交流会等	まちの保健室	問題点・(今後の取組み) 県職能への要望など	支部で工夫していること、 今後取り組みたいこと
萩	27	1	【三職能合同研修会】 (萩支部研修会と合同開催) 日時：R7.1.18(土)、 13:30～15:00 内容：災害時の対応 講師：山口大学大学院医学系 研究科 救急医学講座 山口大学医学部附属病院 先進救急医療センター 准教授 藤田基氏	【定例】 萩市立図書館内で実施 【随時】 R6.11.9(土)、11.10(日) 萩ふるさとまつりのイベント 会場で実施	コロナ以降、保健師職能交流会は中断しており、職能全体での情報共有が難しくなっている。今後、行事に併せて交流会を設定するなど、参加しやすい交流の場を検討していく。	支部研修会や交流会などについて、非会員も参加できるように広く周知し、協会活動の理解促進や入会促進を図る。
下関	43	1	【三職能合同研修会】 日時：R7.1.10(金) 講師：安岡病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 山中なみ子氏 テーマ：退院支援に向けた多職種連携～いつもの排泄を振り返ってみよう。排泄にまつわる皮膚トラブルの早期発見と対処のために～ 日時：R7.3.21(金) 講師：よしみず病院 認知症看護認定看護師 綿谷立子氏 テーマ：身体拘束解除に向けた取り組み～各施設での取り組みを共有し、患者に適切な看護ケアを実施しよう～	まちの保健室(年10回) シーモール：R6.5.19、9.7、11.2、R7.2.1 ゆめシティ：R6.6.1、10.5、12.7、R7.3.1 豊浦地区：R6.7.6、R7.1.11 ※保健師職能は、R6年度出務無し。R7.5.11の看護の日イベントで出務予定。	・市役所の新任期加入率が低く、今後の新規採用職員の加入への影響が考えられる。 入会促進チラシの作成により、加入促進につながる取り組みを検討したい。 ・三職能合同研修会には、保健師の参加がなく、ニーズ等の現状把握が難しい。	職場メールを介して新規・再加入の勧奨を実施。

2 助産師職能委員会

委員長 塩道敦子

1 活動目標	1) 周産期医療の現状と課題の把握 2) 助産実践能力の向上 3) 母子のための地域包括ケア病棟の推進と助産師出向システムの活用 4) 災害時の対応 5) 広報活動 6) 3職能、4委員会との連携強化
2 委員会開催	1) 職能委員会 6回(R6.5.23、7.4、8.29オンライン、10.11、11.29、R7.2.7) 2) 支部職能委員との合同会議 2回(R6.10.11、R7.2.7)
3 活動内容	1) 周産期医療の現状と課題の把握 職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 保健師職能・看護師職能との情報交換・共有と課題を抽出(R6.6.22)開催 2) 助産実践能力の向上 (1) 新人助産師研修の企画・運営・評価(6回) R6.8.3、9.14、11.9、12.14、R7.1.25、2.15 (2) 中堅助産師研修の企画・運営・評価(4回) R6.11.2(第1・2回)、12.7(第3・4回) (3) CLoCMiP®の導入・活用の推進 3) 母子のための地域包括ケア病棟の推進と助産師出向システムの活用 ガイドラインを活用した母子のための地域包括ケア病棟の運営の推進 出向システム会議参加、出向支援研修参加 4) 災害時の対応 周産期医療や母子保健に関する災害時(感染症も含む)の情報についてのタイムリーな 情報提供、情報交換(支部職能委員との合同会議で実施) 5) 広報活動 (1) イベント等での助産師の普及活動 ① 看護の日・国際助産師の日 ② いいお産の日 (2) ホームページ等へ記事投稿(10月きらめき投稿) 6) 3職能、4委員会との連携強化 (1) 母子のための地域包括ケアシステムの構築に向けての、ネットワークの構築(6月助 産師・保健師職能合同研修企画・実施) (2) 地域における看護力強化にむけた連携推進のための検討会への参加 (3) 女性の支援に必要な体制の検討に向けた現状と課題の把握
4 評価と今後の課題	職能委員会と助産師研修会は予定通り開催した。母子のための地域包括ケア病棟の推進・ 助産師の能力発揮についての活動を中心に、支部職能委員とともに協働し、現状と課題 の共有をしている。さらに、災害時の対応として、分娩取扱施設における災害発生時の 対応マニュアル作成ガイドの周知を行った。助産師普及活動としては、一般市民向け(小 学生から)の広報活動につながる内容に取り組む。母子も含めた全世代対応の地域包括 ケアシステムの推進のために、3職能、4委員会と引き続き連携を図る。

令和6年度 助産師職能委員会活動報告

委員長 塩道敦子

母子のための安心・安全な地域包括ケアシステム構築のために下記の6つの活動を行った。

【令和6年度助産師職能委員会活動目標】

- 1) 周産期医療の現状と課題の把握
- 2) 助産実践能力の向上
- 3) 母子のための地域包括ケア病棟の推進と助産師出向システムの活用
- 4) 災害時の対応
- 5) 広報活動
- 6) 3職能、4委員会との連携強化

1 周産期医療の現状と課題の把握

職能委員会（開催：6回）・支部職能委員長合同会議（開催：2回）を活用し情報収集、課題の抽出を行った。さらに、中四国ブロックの職能委員長会議、保健師職能・看護師職能との情報交換を活用し情報収集と共有を行い、委員会活動目標の達成に向け実行した。

2 令和6年度助産師職能集会報告

令和6年6月22日（土）助産師職能集会を開催した。令和5年度山口県職能委員会事業報告、助産師実践能力向上研修報告と、令和6年度日本看護協会通常総会、山口県看護協会助産師職能委員会事業計画について報告をし、情報共有を行った。研修会は、令和5年度に続いて助産師・保健師職能合同研修会として、山口大学教育・学生支援機構 健康科学センター 助教 樋口尚子氏から「周産期のメンタルヘルスー精神症状のある妊産婦さんへの支援のためにー」をテーマに開催した。助産師17人、保健師43人の参加があった。交流会では、「精神症状を呈する妊産婦さんへの支援について～連携促進～」 「講演内容を受けての思いを語ろう」「より連携を図るために助産師・保健師でできることを話し合おう」のテーマで情報交換を行った。

3 助産実践能力の向上

1) 新人助産師研修（CLoCMiP® 研修対象の公開講座を実施）

①目的：助産学教育からの継続教育により、新人助産師の臨床助産実践能力の向上および助産師の人材育成を図る。

②開講式（令和6年8月3日）

新人助産師18人を迎えて開講式を開催した。



③研修会内容と参加状況

	開催月日	科目	講師	新人 助産師数	公開講座受講者数				受講者数
					助産師	看護師	その他	合計	
第1回	令和6年 8月3日	「公開講座」 CLOCMiPⅢ認証研修 新生児のフィジカルアセスメント	山口大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター 木村 献氏	18	7	2	0	9	27
	8月3日	「公開講座」 新生児の看護	山口大学医学部附属病院 新生児集中ケア認定看護師 三木砂織氏	18	6	0	0	6	24
第2回	9月14日	「公開講座」 CLOCMiPⅢ認証研修 CTGモニタリング判読	山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター センター長 佐世正勝氏	18	10	0	0	10	28
	9月14日	「新人助産師対象」 分娩時のCTG(演習)	山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター センター長 佐世正勝氏	18	—	—	—	—	18
第3回	11月9日	「公開講座」 母乳哺育支援	山口県助産師会 会長 藤田房子氏	17	8	0	0	8	25
第4回	12月14日	「公開講座」 CLOCMiPⅢ認証研修 緊急時の対応	奈良県立医科大学附属病院 講師 前川 亮氏	16	9	0	0	9	25
	12月14日	「新人助産師対象」 緊急時対応の実際	奈良県立医科大学附属病院 講師 前川 亮氏	16	—	—	—	—	16
第5回	令和7年 1月25日	「新人助産師対象」 臨床病態生理の基本	山口大学医学部附属病院 産婦人科医師 品川征大氏	16	—	—	—	—	16
	令和7年 1月25日	「公開講座」 CLOCMiPⅢ認証研修 妊娠と糖尿病	山口大学医学部附属病院 産婦人科医師 品川征大氏	16	8	0	0	8	24
第6回	令和7年 2月15日	事例発表会 「心に残った場面」	講評：山口大学大学院 医学系研究科保健学専攻 准教授 亀崎明子氏	16	—	—	—	—	16
延べ人数				169	48	2	0	50	219

新人助産師研修の内容は、新卒助産師研修ガイド、CLOCMiP®を参考に企画した。全て対面学習で実施し、講師との相互コミュニケーションやシミュレーション・実技の機会を設けた。第6回の事例発表会は、受講生が「心に残った場面」を1症例挙げ、症例検討形式でまとめたものを発表した。4題ずつ発表した後に、各発表内容に対して意見交換の時間を設け、リフレクション形式で実施した。講師より1人1人の発表に対し、丁寧な講評を頂き、自分自身の看護観・助産観について振り返る大変良い機会になった。ひとつの事例に対し皆が真剣に向き合い、16症例を体験できた貴重な研修会であり、1年のまとめとなる有意義な機会となった。アンケート結果から、全員が全ての科目で講義内容が理解でき、得た知識やスキルを今後に応用できると答えている。研修内容については、「基礎的なところから、家族との関りまで幅広く学ぶことができた」「実際の症状をシミュレーション演習したことでイメージできた」「明日から活用できることばかりだった」等の意見があった。さらに、「実践（演習）の場に参加し都度振り返りを行うことが大切」「日々のシミュレーションが必要」等、自己の課題も見いだしている。

新人助産師研修のうち、「新生児のフィジカルアセスメント」「新生児の看護」「CTG モニタリング判読」「母乳哺育支援」「緊急時の対応」「妊娠と糖尿病」の6講座を公開講座として開催した。うち、4講座をCLOCMiP®レベルⅢ認証研修として実施した。新人助産師に加えて、新人以外の助産師や産科領域の看護師を含め延べ50人の参加があった。受講者は経験年数5年までと20年以上が4割、6年から20年までが6割であり、今後も中堅層にも目を向けた研修を企画検討する。アンケート結果では、「より学びを深める事が出来た」「日頃経験できない内容のご講演を聴く事ができ多くの事を学ぶことができた」等の意見があった。

④閉講式

新人助産師16人が閉講式に出席した。今後、助産師職能委員による体験談を取り入れることで、新人助産師のメンタル面でのフォローとなるような研修の組み立てを考えていく。



2) 中堅助産師研修

①目的：山口県助産実践能力向上研修、およびアドバンス助産師育成のため CLoCMiP® 研修対象を中心
に実施した。

②研修会内容と参加状況

	開催月日	時間	科目	講師	公開講座受講者数			
					助産師	看護師	その他	合計
第1回	令和6年 11月2日	10：00～12：00	CLoCMiPⅢ認証研修 助産師と倫理 (グリーンケアも含む)	山口大学大学院医学系研究科 講師 河本恵理氏	16	0	0	16
第2回	11月2日	13：00～15：00	CLoCMiPⅢ認証研修 意思決定支援	山口大学大学院医学系研究科 准教授 末廣寛氏	14	1	0	15
第3回	12月7日	10：00～12：00	CLoCMiPⅢ認証研修 不妊・不育の悩みをもつ 女性の支援	山口県立総合医療センター 婦人科診療部長 田村博史氏	18	5	0	23
第4回	12月7日	13：00～15：00	CLoCMiPⅢ認証研修 臨床薬理(妊娠と薬)	山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター センター長 佐世正勝氏	16	1	0	17
延べ人数					64	7	0	71

CLoCMiP® 研修と各支部助産師職能委員の意見を参考に、企画した。実務経験年数の内訳は、1～5年が31.5%、6～10年11.1%、11～20年23.8%、20年以上33.3%であった。どの経験年数においても複数の受講者があった。研修参加動機をみると、①知識を得る、②スキルアップ、③ CLoCMiP レベルⅢ認証申請の順位が多かった。令和6年度も4回すべて CLoCMiP レベルⅢ認証対象研修とした。アンケート結果から、未回答の1名を除きすべての受講生が内容に満足、理解できた、今後活用できると答えている。「最新の情報を得ることができた」「曖昧な知識の再確認ができた」「実践に繋がる方法を学習できた」「実際にどんな風に患者さんに対応したら良いか、ロールプレイがあり学習できた」等の意見があった。今後も、受講者のニーズとラダーに合わせた研修を企画する。



4 母子のための地域包括ケア病棟の推進と助産師出向システムの活用

1) 助産師出向システムの活用

令和7年2月の出向支援研修会に参画、3月の助産師出向システム会議参加した。研修会では、メンタルヘルスについて学び、早期発見と対応だけに限らず、予防について知ることができた。

2) 支部助産師職能との情報交換

2回の支部助産師合同職能会議を開催し、ガイドラインを活用した母子のための地域包括ケア病棟の運営の推進について話し合った。会議の内容を中四国ブロック、全国職能委員長会で提示した。

5 災害時の対応

支部助産師合同職能会議において、分娩取扱施設における災害発生時の対応マニュアル作成ガイドの周知を行った。さらに、周産期医療や母子保健に関する災害時（感染症も含む）の情報についてのタイムリーな情報提供、情報交換を行った。

6 広報活動

ホームページに、研修会の様子を投稿した。10月のきらめきに職能活動報告を投稿した。助産師普及活動としては、一般市民向け（小学生から）の広報につながるリーフレット作成に着手している。

7 3職能、4委員会との連携強化

母子のための地域包括ケアシステムの構築に向けての、ネットワークの構築として、助産師・保健師職能合同研修企画・実施した。また、在宅ケア推進委員会に現状について提示した。

3 看護師職能委員会 I

委員長 中村麻衣

1 活動目標	1) 看護実践能力の向上 2) 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携強化と継続看護の推進 3) 支部看護師職能 I 委員との連携強化 4) 広報活動・会員増加の推進 5) 日本看護協会との連携
2 委員会開催	1) 職能委員会9回開催 2) 支部看護師職能 I 委員との合同会議2回開催 3) 看護師職能委員会 I・II 合同会議4回開催
3 活動内容	1) 看護実践能力の向上 (1) 看護職の生涯学習ガイドラインの普及、生涯学習支援の推進に向けた活動 県内137施設の看護管理者に対して調査票を用いて現状調査実施 期間：R6.10.31～11.14 回収率：40.9% 2) 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携強化と継続看護の推進 (1) 看護師職能委員会 II との連携強化 合同会議4回開催 R6年5月、7月、10月、R7年3月 (2) 在宅ケア推進委員会及び4職能委員会の連携強化 合同会議1回開催 R6.11.9(土) 3) 支部看護師職能 I 委員との連携強化 支部職能委員との合同会議2回開催 R6.10.23(水)13:00～15:00 R7.3.21(金)13:00～15:00 4) 広報活動・会員増加の推進 (1) 看護師職能集会 (I・II 合同) 1回開催 日時：R6.6.22(土)10:00～12:00 テーマ：「患者さんが安心できるスムーズな退院に向けて～訪問看護をどう活用するか～」 講師：原田訪問看護センター代表 コミュニティプレイス生いきき施設長 訪問看護認定看護師 原田典子氏 参加者：45人 (2) 会報「きらめき」、ホームページによる情報発信 5) 日本看護協会との連携 (1) 全国看護師職能 I 委員長会議2回/年 R6.8.2(金) 委員代理出席 R7.3.7(金) 出席 (2) 地区別看護師職能 I 委員長会議1回 R6.10.18(金) 出席
4 評価と今後の課題	今年度は看護職の生涯学習ガイドラインの普及と生涯学習支援の推進を目標に、各施設の現状調査を実施した。結果より日本看護協会から「看護職の生涯学習ガイドライン」「看護師のまなびサポートブック」「生涯学習支援ガイドブック」が公表されたことを知らなかった施設が35.7%、看護師全員に周知している施設は14.3%に留まり普及しているとは言えない現状がわかった。またガイドラインを活用している施設は23.2%であった。今後は、生涯学習支援の基本や各施設での取り組みを情報交換できるよう研修を企画開催し、看護職の生涯学習ガイドラインの普及と生涯学習支援の推進ができるよう取り組んでいきたい。 また今年度は在宅ケア推進委員会との合同会議を開催することができ、お互いの現状を情報共有することができた。今後も合同会議を継続し、お互いの活動を共有し課題解決に向けて協働していきたい。

令和6年度 看護師職能委員会 I（病院領域）活動報告

委員長 中村麻衣

令和6年度、看護師職能委員会 I では、看護実践力の向上と地域連携の強化を目指し、以下の活動目標を掲げ活動を行った。

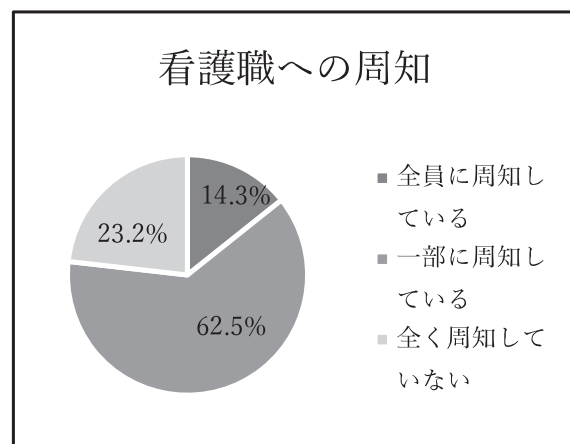
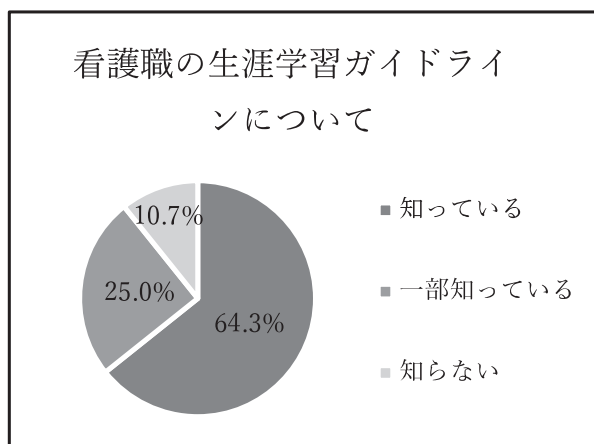
令和6年度 活動目標

- 1 看護実践能力の向上
- 2 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域における看護力の強化と連携
- 3 支部看護師職能委員との連携強化
- 4 広報活動・会員増加の推進
- 5 日本看護協会との連携

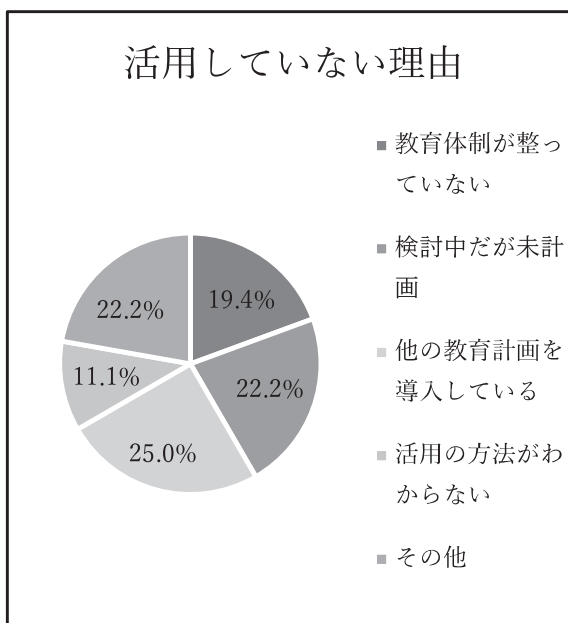
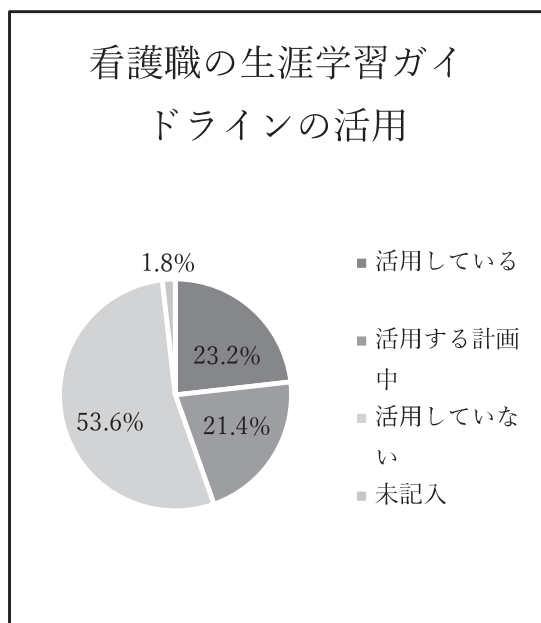
1 看護実践能力の向上

令和5年6月に日本看護協会より「看護職の生涯学習ガイドライン」が公表されたことより、今年度は看護実践能力の向上を目標の中心とし、看護職の生涯学習ガイドラインの普及と生涯学習支援の推進に向けて現状調査を実施した。

- 1) 調査期間 令和6年10月31日～令和6年11月14日
- 2) 調査対象 県内137施設の看護管理者
- 3) 調査結果 回収率40.9



看護職の生涯学習ガイドラインの一部を知っていると回答があったうち、92.9%が「看護師の学びサポートブック」「生涯学習支援ガイドブック」を知らないと回答した。また、看護職への周知が出来ていない理由として「人材不足による業務多忙」や「管理者側が理解できておらず、周知方法や活用方法を検討している」「役職者から段階的に周知し今後活用について計画する予定」といった回答が多くみられた。



看護職の生涯学習ガイドラインを活用していない理由の記述回答も上記と同様に、「管理者がガイドラインについて理解していない」「活用方法がわからない」といった意見が挙がっていた。また「これを機会に看護職の生涯学習ガイドラインと看護師のまなびサポートブックを職員に周知していきたいと思う」という記述もあった。

4) 今後の課題

今回の現状調査より、「看護職の生涯学習ガイドライン」が看護職へ普及できているとは言い難く、この現状調査があったことで看護職の学習ガイドラインについて理解し周知する必要があると認識した看護管理者もいた。今後は生涯学習支援の基本や各施設での取り組みを情報交換できるよう研修を企画開催し、看護職の生涯学習ガイドラインの普及と生涯学習支援の推進ができるよう取り組んでいきたい。

2 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域における看護力の強化と連携

看護師職能Ⅱ委員との合同会議を4回開催し、病院領域では知ることができない情報を収集することができた。特に訪問看護や後方支援病院、介護施設での活動について学ぶ機会となった。また、今年度は在宅ケア推進委員会との合同会議も開催し、お互いの現状の情報共有ができ、課題の抽出を行った。今後も合同会議を継続し、お互いの活動を共有し課題解決に向けて協働していきたい。

3 支部看護師職能委員との連携強化

支部職能委員との合同会議を2回（10月・3月）開催した。会議の中では、日本看護協会の事業計画や山口県看護協会看護師職能Ⅰ・Ⅱの活動方針・活動報告、各支部の職能委員会の活動報告が行われた。各支部との連携に関する情報交換の中から、病院から在宅に移行する際に看護情報提供書をケアマネージャーに渡されるケースが多く、訪問看護においては、検査データや薬剤情報など医療情報が不足している現状があるため、今後更なる看看連携を深めていく必要があると考える。

4 広報活動・会員増加の推進

看護師職能集会（看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同）

開催日時：令和6年6月22日（土）10：00～12：00

テーマ「患者さんが安心できるスムーズな退院に向けて～訪問看護をどう活用するか～」

講師：原田訪問看護センター 代表 原田典子氏

参加者：45人

職能Ⅰ・Ⅱの合同研修にふさわしいテーマで、開催日が休日であったため昨年より多くの参加者があった。参加者からは「職能集会という名称のため、参加してもいいのかわからなかった」という意見もあったため、来年度はもっと参加者を募れるよう広報と企画を検討していく。

4 看護師職能委員会Ⅱ

委員長 露繁巧江

1 活動目標	1)介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 2)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 3)3職能4委員会の連携推進及び地域を見据えた専門領域での連携強化 4)広報活動・会員増加の推進
2 委員会開催	1)職能委員会9回 2)支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議(2回：10月・3月) 3)看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同会議(随時)
3 活動内容	1)介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)開催 実施期間：R6.9～11月 実施施設数：17施設(老健・特養・有料老人ホーム) 2)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 (1)看護師職能Ⅱ交流会開催：R7.3.8(土) 参加者42人 テーマ：「介護・福祉関係施設や在宅等で生活されている方に対する口腔ケアについて」 講師：公益社団法人山口県歯科医師会地域保健委員 田中一成氏 内容：講義・グループワーク (2)全国職能委員長会議出席2回(R6.8.2・R7.3.7) (3)地区別看護師職能Ⅱ委員長会議出席1回(R6.10.18) (4)看護師職能Ⅱ領域の看護職のマネジメントに関する現状調査と課題抽出 介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、有料老人ホームを対象にアンケート調査をR6.7.13～8.8に実施。アンケート回収数は79、回収率35.7% 3)3職能4委員会の連携推進及び地域を見据えた専門領域での連携強化 (1)3職能4委員会および在宅ケア推進委員会との合同会議(R6.11.9実施) (2)看護師職能委員会Ⅰとの合同会議(5・7・10・3月) (3)支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議(R6.10.23・R7.3.21実施) 4)広報活動・会員増加の推進 (1)看護師職能集会：R6.6.22(土)参加者：45人 テーマ「患者さんが安心できるスムーズな退院に向けて～訪問看護をどう活用するか～」 講師：原田訪問看護センターコミュニティプレイス生いきき施設長 原田典子氏 (2)会報「きらめき」による情報発信：2025年159号 活動紹介
4 評価と今後の課題等	(1)認定看護師出前講座を令和7年度も16施設へ実施する。 (2)上述2)-(4)の調査結果から課題を発見し解決への取り組みについて検討する。

令和6年度 看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）活動報告

委員長 露繁巧江

介護職員等の医療的知識習得（認定看護師出前講座）関係研修の取り組み

1 本事業の目的

高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療を必要とする要介護者に対し、医療介護連携による適切なサービスを提供するため、医療的知識の習得に向けた認定看護師出前講座による研修を企画・立案・実施し、介護施設で働く看護職員等の資質向上を推進する。

2 対象者

介護施設の看護職員、介護職員、およびその他の職員

3 研修内容

医療を必要とする要介護者に対し、医療介護連携による適切なサービスが提供できるよう、看取りケア、褥瘡ケア、摂食嚥下等の看護技術・知識の習得に資する内容とする。

4 研修実施日

R6.9.18～R6.11.28までの17日

5 実施内容

5-1. 講座開催に向けての準備

1) 実施施設の選定

(1) 講座開催に向けて意向調査を実施

① 調査施設：老人保健施設63・老人福祉施設139・介護付き有料老人ホーム20（計222施設）

② 調査期間：R6.5.30～R6.6.17

③ 調査結果：56施設（老人保健施設18・老人福祉施設33・介護付き有料老人ホーム5）が開催を希望した。

(2) 選定基準を設け17施設を決定

選定基準は以下の3点である

① これまでに実施していない施設を優先した。

② 施設が希望する開催時間、開催曜日を考慮した。

③ 施設が希望する講座の内容について考慮した。

2) 認定看護師の選定

(1) 選定時期

開催施設決定後に、具体的な講座内容について施設と協議し、施設側が求めている専門分野の認定看護師17人を選定した。

(2) 選定方法

認定看護師17人の選定は、講座開催施設の地区支部から選出し、講座終了後も施設と関わりがもてるように配慮した。ただし、施設が希望した分野の認定看護師が地区支部にいない場合は、隣接の地区支部から選出した。

(3) 開催日の調整

認定看護師、実施施設、看護師職能Ⅱ委員、看護協会事務局4者の日程を調整し開催日を決定した。

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

開催施設の感染防止対策を講じた上で開催した。



5-2. 講座開催実績

1) 開催実績の概要

17施設で予定どおり実施できた。講座方法は全て対面で行った。実績の一覧は以下（表1）である。

表1 令和6年度認定看護師出前講座開催一覧

地域	施設名	講座内容	開催日	時間	参加人数
下関	老人保健施設アイユウ	摂食・嚥下	9月18日(水)	17:00～18:15	24人
下関	特別養護老人ホームはまゆう苑	看取り	9月26日(木)	17:00～18:00	32人
長門	介護老人保健施設サンライズ21	急変対応	9月27日(金)	17:15～18:15	35人
山口	老人保健施設ニューライフあじす	感染症	10月2日(水)	14:00～15:00	28人
岩国	特別養護老人ホーム美和苑	摂食・嚥下	10月9日(水)	15:00～16:00	16人
宇部	介護老人保健施設寿光園	褥瘡	10月10日(木)	17:30～18:30	23人
岩国	有料老人ホームせんぞく苑	感染症	10月11日(金)	14:00～15:00	8人
周南	介護老人保健施設あおぞら	感染症	10月17日(木)	17:00～18:00	44人
柳井	介護老人保健施設ケアセンターゆうわ	急変対応	10月22日(火)	14:00～16:00	41人
美祢	特別養護老人ホーム幸嶺園	感染症	10月23日(水)	15:00～16:00	23人
周南	老人保健施設 春の里	認知症	10月24日(木)	16:00～17:00	21人
山口	介護付き有料老人ホーム Gracefulともの園	急変対応	11月6日(水)	15:00～16:00	13人
宇部	介護付き有料老人ホーム グランドホームオアシスことしば	看取り	11月7日(木)	14:00～15:00	29人
下関	介護老人保健施設葵の園・下関	感染症	11月15日(金)	15:00～16:00	12人
防府	特別養護老人ホーム防府あかり園	看取り	11月20日(水)	15:00～16:30	22人
山口	介護老人保健施設アーユス	皮膚トラブル スキンケア	11月27日(水)	15:00～16:00	10人
小野田	特別養護老人ホーム長寿園	看取り	11月28日(木)	14:00～15:00	9人

2) 受講者について（表2・図1参照） 表2 参加17施設の受講者数と職種内訳

(1) 受講者人数 合計390人

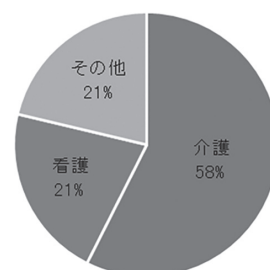
(2) 受講者職種内訳と割合

介護職 224人（58%）

看護職 83人（21%）

その他（介護支援専門員・生活相談員・リハビリ職・栄養士等）（21%）

受講者数 合計	職種内訳(人)		
	介護	看護	その他
390	224	83	83



3) 講座内容（講座項目・施設数）

感染症（5）、看取り（4）、急変時の対応（3）、摂食・嚥下（2）、認知症（1）、褥瘡（1）、皮膚トラブル・スキンケア（1）

図1 令和6年度認定看護師出前講座受講者の職種別内訳

6 講座のアンケート調査結果

出前講座受講生、出前講座実施施設、講師（認定看護師）、看護師職能委員を対象にアンケート調査を実施した。

6-1. 受講者アンケート結果（小数点第2は切り捨て）

1) 内容の満足度：「満足」「やや満足」の回答が99.7%であった。

2) 内容の理解度：「理解できた」「やや理解できた」の回答が100%であった。

3)実践へ活用：「できそう」「ややできそう」の回答が96.7%であった。

4)開催時間：「適切である」「やや適切である」の回答が98.3%であった。

5)受講者の感想（抜粋）

- ・感染防止対策として改めて手指消毒、正しいマスクの付けかたについて再度確認できた。
- ・看取りとは何か、これからどうすればいいのか考えさせられました。
- ・利用者様の急変に冷静に対応できるように日頃から利用者をよく観察し、介護職だが少しでも利用者様はもちろん看護職の方の力にもなれればと思いました。
- ・まず水分をして一口ずつの量を考えながら介助しようと思いました。
- ・認知症について知っているつもりでも理解出来ていなかった事もあり、今回の研修でとても勉強になりました。
- ・深い褥瘡をみたことがなかった。発赤を早期発見することが大事と思った。
- ・こまめに除圧すること、面積を広げて除圧することなど、今後いかしていきたい。

6-2. 実施施設アンケート結果

1)実施施設の感想：好意的な感想が多かった。感想内容の一部抜粋を以下に記す。

- ・わかりやすく実践しやすい内容でした。
- ・当園で行っている看取りの知識、考え方で間違っていないことがわかった。
- ・分かりやすい説明と引き込まれる話法で、出席して良かったとスタッフから好評でした。

2)実施施設からの要望：

- ・人員の関係で研修参加がままなりません。その中で今回の研修は有難かったです。
- ・今回講師の先生とのつながりをいただき、ありがとうございました。
- ・少し内容が難しいところがありました。
- ・講義と自施設でのスキントラブルの症例を検討できる時間があると良いと感じました。

6-3. 講師（認定看護師）のアンケート結果

1)日程・講義時間・資料準備について：概ね問題ないとの回答であった。

2)今後の協力について：全員協力できるとの回答であった。

3)意見：課題と考えられた意見を抜粋し記載する。

- ・時間は講義により1時間から90分必要な時も。
- ・講義のみでなく、グループごとに急変時対応（BLS）時のリーダーシップについてグループワークを行い、急変対応を深める場を設けても良かったと感じました。
- ・受講者の教育状況について事前に知ることができるとよかったです。
- ・事前に講義内容についての要望をお聞きしていましたが、実際に施設の状況やニーズに合っていたのか不安があります。
- ・講義後に施設側から施設内のラウンドの依頼がありました。講義と合わせて同日にラウンドが来ると、より現場の疑問解決につながると感じます。来年度の開催時にご検討いただけると幸いです。

6-4. 看護師職能委員のアンケート結果（気づき）

1)日程・開催時間・準備等の運営について：概ね問題なく遂行できたとの回答であった。

2)意見：

- ・今回から有料老人ホームの対象となった。有料老人ホームの特徴やそこでの看護師の役割などを聞くことができた。
- ・施設側が認定看護師とコンタクトできる方法などを明記して施設側に渡すなど、もう1歩踏み込んだアクションをすると、次へつながると感じた。

7 活動の評価と今年度の実施から見えた課題

7-1. 活動の評価

委員の振り返りを集約すると、受講者・施設・認定看護師のアンケート結果からも本活動の意義や目的は果たせ、事業も円滑に遂行できた。また、今年度の実施から見えた課題は、以下4点にまとめることができた。

1) 開催施設の選定について

出前講座の実施可能な施設数は15～17であり限りがある。開催施設の選定は、過去に実施していない施設を優先させている。今年度の希望施設は56施設であり、過去に実施していない施設が22施設であった。施設側の意見で「また開いて欲しい」「また機会があれば」「今後もお願いします」といった声が複数あり、年次続けてのリピート開催の希望がある。今後、開催希望の施設が一巡すれば、リピート開催が可能かもしれないが、現段階では、未開催の施設を優先させていく。

2) 本事業の医学的知識の習得という目的以外の効果について

本事業は、医学的知識の習得という目的以外にも、知識や技術を確認できる場としての役割もあり、「学びの場づくりの機能」にも着目できるのではないだろうか。アンケートに、「職員が外部研修を受ける機会が少ない」という意見があるように、介護保険施設は学習しづらいという環境下にある。本事業の出前講座をひとつのきっかけとして、学習機会の確保の在り方や学びのサポートへつなげていく視点をもち受講施設と関わっていくことも大切ではないだろうか。認定看護師の意見も好意的であることから、受講施設と認定看護師の関係が途切れることがないように、例えば、名刺交換やコンタクトを取る方法などを明示するなどして、つながりの支援を行っていく。

3) 本事業の評価方法（アンケート）について

アンケートの評価が4段階であり良い評価を得ているが、5段階にしてもう少しを細かく意見を捉えてみてはどうか、と意見があった。評価を細かくみることも良いが中間回答を設けると、そこに回答が集中した場合、かえって本事業の成果が見えづらくなる。評価した理由を記載できる欄を設け意見を聞くこともできるが、回答者の負担も増えるため、アンケート調査票は現行で行う。評価は、出前講座出務時の状況を含めて行っていく。

4) 講座内容のマッチングについて

講義内容のマッチングについて昨年度の同様の意見があった。今年度の課題である次の2点を次年も踏襲していく。(1) 講義時間は60分を原則するが、施設と認定看護師の協議の上であれば延長することは差し支えないようにし、講義内容が有益なものとなるよう柔軟に対応していく。(2) 施設と認定看護師（受ける側と提供する側）の受講内容のマッチングが円滑にいくよう、看護協会（事務局や職能委員）が双方の間に入り、調整していく。

7-2. 今後の課題：上記を踏まえ令和7年度の取り組むべき課題は以下7点抽出された。

- 1) 開催時期・時間は令和6年度を踏襲し、本事業が無理なく実施できる継続可能な体制で行う。
- 2) 本事業の対象施設は老健・特養・有料老人ホームとする。
- 3) 出前講座の実施予定数は15～17とし、開催施設の選定は、過去に実施していない施設を優先させる。開催希望の施設が一巡すれば、リピートでの開催とする。
- 4) 学習機会の確保の在り方や学びのサポートへつなげていく視点をもち受講施設と関わっていく。
具体的には、名刺交換やコンタクトを取る方法などを明示し、つながりの支援を行っていく。
- 5) 事業評価のアンケート調査票は現行の4段階で行い、出前講座出務時の状況を含め評価していく。
- 6) 講座時間は60分を原則するが、施設と認定看護師の協議の上であれば延長することは差し支えないとし、講義内容が有益なものとなるよう柔軟に対応していく。

7)施設と認定看護師（受ける側と提供する側）の受講内容のマッチングが円滑にいくよう、看護協会（事務局や職能委員）が双方の間に入り、調整していく。

出前講座認定看護師 派遣協力施設

国立病院機構岩国医療センター、徳山中央病院、山口県立総合医療センター、済生会山口総合病院、小郡第一総合病院、山口大学医学部附属病院、宇部西リハビリテーション病院、美祢市立美東病院、山陽小野田市民病院、長門総合病院、下関市立市民病院、安岡病院 計12施設にご協力をいただいた。

令和6年度 常任委員会活動報告

1 労働環境支援委員会

委員長 石井恵子

1 活動目標	1) 働き続けられる職場づくりを推進する 2) 看護職の確保・定着等について検討する
2 委員会開催	4回
3 活動内容	1) 働き続けられる職場づくり研修会の開催 開催日：R6.12.10(火)10:00～16:00 対象：チームリーダー、実習指導等の役割を担う看護職(スタッフ) ※管理者と一緒に自部署の振り返りやチームの課題に取り組むリーダー的スタッフ 講師：株式会社メディフロー代表取締役 病院経営アドバイザー 保健師・看護師、心理相談員 上村久子氏 研修テーマ：「楽しく！働き続けられるチームづくりを考えよう！」 2) セカンドキャリア活躍推進事業への提言 (1) セカンドキャリア世代の現状調査 目的：施設看護管理者とセカンドキャリア世代の看護職の労働実態、および働き方に関する意識調査を行うことで実施し、セカンドキャリア世代の看護職が健康で安全に働き続けられる活躍推進につなげることができる。 対象：山口県内の医療機関・老人保健施設、訪問看護ST等の施設管理者 409施設 セカンドキャリア世代で就業中の看護職 1,235人 調査期間：R6.9.2(月)～9.27(金) 方法：自記式質問紙(郵送で配布し、郵送で回収) 回収率：施設看護管理者 190施設(47.1%) セカンドキャリア世代 564人(46.2%)
4 評価と今後の課題	1) ‘ハラスメントのない職場を目指して’リーダー的な立場にあるスタッフを対象とし、参加してみたいと思えるようなポジティブな研修会となるようを計画し61人が参加した。[相手の状況・立場を慮ること]や[相手の視点・立場を意識しながらコミュニケーションをとることが大切]という学びがあり、心理的安全性が分かりやすく伝わった。講師と研修テーマが一致した研修であった。今年度だけで終わらず、次年度もこの研修を継続したい。 2) セカンドキャリア世代の看護職の労働実態を把握するための意識調査を実施し今年度は意見を吸い上げる目標は達成できた。その結果明らかになった課題をもとに、今後のセカンドキャリア活躍推進事業への事業を検討していく。

2 看護制度委員会

委員長 木倉悠子

1 活動目標	1) 准看護師が継続した学習を積み重ねキャリア形成に繋げていけるよう支援する。 2) 看護基礎教育についての現状理解を深める。 3) 看護専門領域の資格取得者の地域貢献活動について連携強化を図る。
2 委員会開催	5回(5/16、7/19、10/8、12/10、3/18)
3 活動内容	1) 准看護師スキルアップ研修・情報提供・交流会の開催 准看護師がスキルアップに繋げていけるような研修会等を企画運営する。 2) 看護基礎教育を考える会の開催 カリキュラム改正後の看護基礎教育について、現状理解を深めるための研修会等を開催する 3) 看護専門領域の資格取得者の地域貢献活動連携強化 県の委託事業である「認定看護師等活躍推進事業検討会」と連携し、看護専門領域の資格取得者が活動する上での課題を共有する。
4 評価と今後の課題	1) について 令和5年度に実施した准看護師スキルアップ研修会のアンケート結果をもとに、8月10日に「准看護師スキルアップ研修会」を開催した。内容として、「認知症ケア～関わり方のポイント～」と題した研修会、「山口県の看護をとりまく現状」に関する情報提供と交流会を実施した。研修会のアンケート結果をもとに来年度の企画内容を検討する予定である。 2) について 10月26日に、「看護基礎教育はどう変わったのか～第5次カリキュラム改正の概要～」と題した講演会を開催した。講演会のアンケート結果をもとに来年度の企画内容を検討する予定である。 3) について 県の委託事業である「認定看護師等活躍推進事業検討会」と連携し、看護専門領域の資格取得者が地域活動を行っていく上での課題を共有した。

3 教育委員会

委員長 三浦京子

1 活動目標	1) 令和6年度に実施する教育研修会により多くの会員が関心を持てるよう広報し、参加者にとって良い学びができるよう運営に参画する。 2) 会員のニーズおよび令和6年度研修会の評価をふまえ、看護職の更なる実践能力の向上につながる令和7年度教育研修を企画・立案する。 3) 教育研修立案に際して、常任委員会および職能委員会、各支部と連携し、各委員・支部からの要望を反映した研修計画を立案する。
--------	---

2 委員会開催	7回(うち2回オンライン開催)
3 活動内容	1)教育研修会の広報と実施 (1)看護実践能力養成研修会 実施研修数 30コマ31日 受講者総数 2,282人／30研修 ①新人研修 2回 ⑥看護実践力(JNAラダー) ②看護研究 2回 ア ニーズをとらえる力 4回 ③看護管理 4回 イ ケアする力 7回 ④自己教育関連 3回 ウ 協働する力 5回 ⑤リクエスト枠 1回 エ 意思決定を支える力 2回 2)研修の評価と次年度研修計画立案 (1)令和6年度の教育研修の運営・評価 (2)令和7年度の教育研修計画の企画・立案 (3)研修がより有意義に、受講者がより参加しやすい形で受講できる研修方法を模索、検討する。 3)関係する委員会との連携 常任委員会及び職能委員会、支部へ次年度の研修内容に関する要望を、書面にて問い合わせ、結果を考慮し立案する。
4 評価と今後の課題	1)昨年度と比較し、受講者総数が減少した。(1研修減)オンライン研修は1研修増で計画し、受講者も増加した。心電図の研修は、講師が変更となったが134人と受講者が多かった。急変対応、心電図、褥瘡等、ケアにつながる研修の受講者が多くニーズが高い。研修受講システム「マナブル」を導入したが、受講者が極端に減少することはなかった。今後も受講者の関心を持てるよう広報を行っていく。 2)研修後のアンケート回収率は、ほぼ80%以上であった。アンケート結果からも満足度の高い結果が得られている。更に今年度は、30研修のうち1研修について、研修後4か月後にアンケートを実施し、実践への活用等を基に、研修目的の達成度や今後の研修企画や運営の改善点などに役立てていく。 「看護職の生涯学習支援」の看護実践能力に基づく学習項目を参考に研修を企画し、また地域の関連施設と連携した研修の企画を立案した。今後も受講者ニーズやトピックス等を考慮し、受講者にとって魅力的な研修を企画していく。 3)各支部、常任委員会に提示し、4支部1委員会からの研修希望を教育計画に反映させ、受講者にとって有意義な研修となるよう計画立案に取り組めた。今後も各支部、委員会からの意見や要望を聞き、幅広くニーズに沿えるよう努めていく。

4 学会委員会

委員長 松村直子

1 活動目標	実践に根ざした看護研究活動の振興とそれに連動した看護の質向上を図る。
2 委員会開催	6回(4/27、7/18、10/30、11/30、1/7、2/18)
3 活動内容	1)第24回山口県看護研究学会の企画 テーマ「ともに生きる、地域・ひとをつなぐ看護の力」 (1)開催日時：R7.3.1(土)9:45～15:00 内容：(午前)口演発表9題、示説発表3題 (午後)テーマ「ともに生きる、地域・ひとをつなぐ看護の力」 シンポジウムテーマ：もっと地域・ひとをつなごう！“やまぐち”の看護の力を高めるために内容：教育・学術分野/行政/地域・在宅/病院という幅広い領域で活動されている看護職のこれまでの実践や今後の展望について共有し、地域医療と看護の現状と課題を考え、参加者とともにこれからの“やまぐち”の看護の力を高めるための方策について議論し、今後の示唆を得ることをめざす。

	計4人のシンポジストに登壇頂いた。 参加者 一般参加：87人、学生：81人 2) 投稿募集、応募原稿査読、選考を行い第24回山口県看護研究学会抄録集を発行した。 3) 山口県看護研究学会の今後のあり方の継続検討 ・学会開催後に参加者に対してアンケート調査を実施。結果を共有し次年度の開催内容について4月の会議で検討予定
4 評価と今後の課題	第24回山口県看護研究学会は、参加人数に制限をせず、対面形式で開催し、新型コロナウイルス流行以降初の午前午後開催となった。一般演題も前年度よりも増え、口演発表9演題、示説発表3演題となった。今年度はシンポジウム形式で、山口県内で実践を展開している幅広い領域にわたる看護職をシンポジストとしてお招きし、現場の現状と課題を共有した上で、参加者と共に「やまぐちの看護」のつながりの強化や質向上のためにできることをディスカッションした。予定通り進行し問題なく学会を終えることができた。 学会を終えてみて、当学会が果たす役割が特に看護研究経験の少ない県内の看護職の方々にとっての貴重な発表の場であることを再認識した。よってこうした機会を今後も活用し、実践に根差した研究発表の支援および看護の質向上に寄与していきたいと考える。次年度は更なる参加者増を目指して、参加登録方法や採択演題の公表時期の検討、魅力ある講演テーマの検討が必要と考えられる。また、査読基準や発表要項の見直しも適宜行い、演題登録をよりスムーズにできるよう検討が必要である。

5 認定看護管理者教育運営委員会

委員長 大林由美子

1 活動目標	1) カリキュラム基準に沿った認定看護管理者教育課程の円滑な運営と教育評価 2) 認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上のための体制整備と委員会活動の推進
2 委員会開催	4回
3 活動内容	1) 令和6年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修運営と修了審査、教育評価 2) 令和6年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修受講者選考と決定 3) 令和6年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修運営と修了審査、教育評価 4) 令和5年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価 5) 令和6年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価 6) ファーストレベル、セカンドレベル、サードレベル各研修課程の教育運営内容の確認
4 評価と今後の課題	1) 評価 計画通り、カリキュラム基準に沿った円滑な運営と教育評価を行うことができた。 委員会はwebによる開催形式をとっているため、天候状況ならびに各種感染症蔓延による開催への影響は無く審議ができた。 ファーストレベル受講者選考も、検討基準にもとづき実施することができた。 2) 今後の課題 認定看護管理者教育課程研修修了後の、修了生の看護管理実践状況の確認と、傾向に合わせた支援が必要。 令和10年度より開始予定の「新たな認定看護管理者教育課程」の開講に向けた準備、内容を検討する。

6 広報委員会

委員長 小川真由美

1 活動目標	1) 会報「きらめき」を発刊し、県内各支部や委員会、施設などの取り組みを情報発信し、魅力を伝えていく。また、会員が必要とする内容を検討し紙面の充実を図る。 2) 看護協会の認知度を高めるためホームページの充実と、協会員の増員につながる広報活動を推進する。 3) 日本看護協会や、各施設の新たな取り組み等に対し、時宜を得た広報活動を行う。
2 委員会開催	6回
3 活動内容	1) 山口県看護協会会報誌「きらめき」年に3回発行 (1) 発行時期：6月、10月、1月(会報号159号、160号、161号) (2) 実施内容等 ①掲載内容・紙面形式の検討 ②原稿依頼 ③原稿の編集・校正 ④紙面構成の検討 ⑤看護協会会員特典等の情報収集 2) ホームページの充実 ブログの更新 3) 県内各地施設の新たな取り組み等の情報収集 4) SNS(LINE)の発信
4 評価と今後の課題	各病院・施設等がアピールできるような表紙、今年の顔の紹介、ペット自慢など会員が積極的に参加できる誌面づくりができた。また、誌面にQRコードを掲載し、関連するサイトにアクセスできるように工夫した誌面づくりができた。 SNS(LINE)の内容を検討し、看護協会のホームページやマナブルへのアクセスだけでなく、山口県ナースセンター、山口県訪問看護総合支援センターなど会員が関連するホームページへのアクセスができるようになり、SNSを活用しやすくなった。 今後もSNSを通して積極的に発信することで、会員に最新の情報が届くようにしていきたい。そして、認定看護師・専門看護師・特定行為終了者・プラチナナースの活動紹介やかんごちゃんの特別委員としての活動記などの掲載を通して誌面の充実を図り、会員に看護のヒントになる情報や旬な情報を、多くの方に見ていただけるような広報誌を刊行していきたい。

7 推薦委員会

委員長 藤重久美子

1 活動目標	1) 役員の任期満了の退任に伴う次期候補者の推薦 2) 職能委員会委員・常任委員会委員の任期満了の退任に伴う次期候補者の推薦 3) 日本看護協会代議員及び予備代議員の推薦
2 委員会開催	1回
3 活動内容	1) 第1回推薦委員会 書面開催 (1) 推薦者の確認 2) 県及び支部推薦委員へ説明資料の送付 (1) 県推薦委員の任務 ・ R7推薦委員改選に係る候補者の推薦 ・ R7職能委員会委員及び常任委員会委員改選に係る候補者の推薦 (2) 支部推薦委員の任務 ・ R8地区理事候補者の推薦 ・ R7支部役員及び推薦委員の推薦 ・ R8通常総会代議員及び予備代議員候補者の推薦 ・ R7支部委員会委員の推薦

	(3)県及び支部推薦委員(共通) ・R7山口県看護協会役員選挙等の日程 ・R6県職能委員会・常任委員会、支部役員・委員会の委員数一覧 ・役員等の立候補、選挙及び兼務について 3)県推薦委員会(看護師職)の開催 2回 4)県推薦委員会(助産師職)の開催 1回 5)県推薦委員から候補者選出の連絡 6)選出困難委員会に係る候補者の選定対応
4 今後の課題等	県推薦委員と支部推薦委員に係る合同会議の開催(参集又はオンライン)については、質疑応答を含め短時間(約30分)で終了、また、県と支部で任務の異なる説明内容に耳を傾ける時間があった。 この改善と参加委員の負担軽減を図るため、口頭説明していた内容を盛り込んだ資料を送付、不明な点についてお問い合わせいただいて対応する方法への変更を行った。 特定の病院への依頼が集中しないよう配慮するため、「選出or選出困難」に係る情報の共有に務めた。 依頼先病院の体制(人員減)により「選出困難」となるケースが多かった。

8 医療安全推進委員会

委員長 三澤朋博

1 活動目標	1)医療安全管理者の資質向上の推進 2)医療安全に関わる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援 3)医療・看護の安全性についての広報・啓発による医療事故防止対策の推進
2 委員会開催	6回(うち1回は圏域代表を招集して開催)
3 活動内容	1)医療安全管理者スキルアップ研修の企画・運営・評価 「医療安全管理者に求められるメディエーションスキル」をテーマにR7.2.8に開催予定であったが当日が降雪のため延期となったため日程変更しR7.4.5に開催予定である。 2)医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援 (1)山口県内の医療安全管理者交流会の企画・運営・評価 ①圏域代表者活動報告など地域、圏域活動を中心とした企画 圏域代表会議をR6.9.4に実施し、圏域代表者と活動報告、意見交換、情報交換した。 ②現任の医療安全管理者を対象としたネットワーク構築を目的とした企画(2回) 医療安全管理者情報交換会 1回目：R6.6.27に開催。参加者：21人 2回目：R6.12.18に開催。参加者：23人 3)県協会広報誌「きらめき」による医療安全情報の発信(3回) 「きらめき」160号(10月号)、161号(1月号) に医療安全情報を掲載した。 4)「看護職あなたのためのリスクマネジメント」の普及活動 R5年度末にWeb およびホームページに掲載している。「きらめき」161号にも掲載しており、研修時には受講者に配布する予定である。
4 評価と今後の課題	医療安全管理者情報交換会では、2回とも7割程度が大変満足できたとの結果であった。次年度は医療安全対策加算の届出を問わずに対象者の幅を広げ、さらなるネットワーク構築の活動を行っていく。 スキルアップ研修は悪天候のため今年度の開催には至らず延期となったことも含め、今後は降雪時期以外で計画していく。次年度はスキルアップ研修を2回開催する予定である。

9 災害支援委員会

委員長 木村直也

1 活動目標	1)災害支援活動体制の整備・充実 2)山口県災害支援ナースの育成及び質向上のための支援 3)一般市民への平時の防災意識の向上を目的とした広報等、地域の防災力向上
2 委員会開催	5回(5/17、7/13、9/21、11/9、2/15)
3 活動内容	1)委員会活動内容 (1)災害支援ナース養成研修の内容の検討、企画、実施 日本看護協会からの指示内容を確認し、昨年度実施した内容をもとに研修実施内容の改訂を行った。研修内容については全国で統一された時間、内容で実施。委員は研修会のファシリテーター及び講師の役割を担った。 (2)災害支援ナースステップアップ研修の内容の検討、実施 ここ数年感染症対応に偏重した内容が多かった事もあり、災害対応としてHUGを企画、実施。委員はファシリテーターの役割を担った。 (3)山口県総合防災訓練における展示参加の検討・準備 2)研修開催内容 (1)災害支援ナース養成研修 e-ラーニング修了者に集合研修を実施 R7.12.24、12.25 修了者：51人 (2)災害支援ナースステップアップ研修 R6.7.13 令和6年能登半島地震災害支援における活動報告 避難所運営ゲーム(HUG) 参加者：48人 3)その他 (1)2024年山口県総合防災訓練参加 R6.5.26(山口県総合防災訓練(岬之町埠頭)委員他8人参加。 災害時・避難時に役立つ知識や技術体験(手指衛生・救急救命法の体験型展示) (2)関係機関、団体との協働、協力
4 評価と今後の課題	1)評価 昨年より新制度となった災害支援ナース育成研修について、昨年度は初回であることから受講者数が想定しづらい事、新災害支援ナースの人数確保等の観点から2回実施としたが、本年は1回での実施とした。研修内容について、主に「感染編」と位置付けられている2日目については日本看護協会主導での改訂点も多く、次年度以降も修正を重ねて実施していく。ステップアップ研修については近年のステップアップ研修では感染症に偏重した内容での開催が多かった事もあり、COVID-19流行前に開催していたHUG(避難所運営ゲーム)を中心とした内容での開催とした。受講生自身もパンデミックを経験した事で、以前とはまた違った視点でのディスカッションが聞けるシーンも多く見られ、災害支援ナース既登録者の知識の向上とモチベーションの維持・向上に繋がった。 県の総合防災訓練に於いては、看護協会の災害時の活動PRと、手指衛生・救急救命法の体験型展示を行った。展示スペースが屋外であったが、強風のためパネルや手指衛生の展示が困難となる等のトラブルがあった。展示ブースの移動も困難であったため、来年度以降の展示については可能な限り屋内での展示を希望する。 2)課題 今年度、3人が災害支援ナース養成研修の企画・指導者研修を受講し、制度変更後の養成研修の修正点、日本看護協会の考える方向性の確認もできたため今年度の養成研修に反映させる事ができた。今後も日本看護協会から発信される情報を積極的に収集していく。 ステップアップ研修については、災害支援ナースの質の維持・向上のための企画・運営を行っていく。

10 在宅ケア推進委員会

委員長 村上由香里

1 活動目標	1)在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み 2)在宅ケアに係る看護の実践能力の向上及び連携推進
2 委員会開催	5回
3 活動内容	1)在宅ケアにおける看護の機能強化に繋げるための取り組み (1)情報提供の在り方に関する研究 ・「情報提供書の書き方ガイド」作成に向け、具体的な活動計画を立案し着手した。 ・日本看護協会の「在宅・介護領域における「多職種情報共有シート」」を参考に、病院と在宅双方間で連携が必要な項目をカテゴリー別に整理した。 ・委員会で検討した「病院と在宅双方間で連携が必要な情報」等をもとに山口県介護支援専門員協会からの代表2人へ、介護支援専門員として必要と考えている情報とその必要性、情報提供のタイミング等意見聴取を行った。 ・3職能4委員会意見交換会を開催し、在宅ケア推進に向けた現状や課題について意見交換を行った。 (2)広報きらめき2025年1月号に活動紹介
4 評価と今後の課題	今年度の委員会では、病院と在宅双方間で連携が必要な情報と、なぜその情報が必要なのか、どのタイミングが最適かについて、介護支援専門員への聞き取りを通して明らかにし「情報提供書の書き方ガイド(案)」の作成に取り組んだ。 今後は、「情報提供書の書き方ガイド」完成に向けた活動の継続と、活用推進に向けての取り組みや活用後の評価を検討することで「情報提供書の書き方ガイド」の活用促進を図りたい。また、3職能4委員会や介護支援専門員との意見交換において、「それぞれの場所で働く職種の仕事内容や役割を知らないこと」や「介護保険等の地域の資源についての知識が不足していること」などが、在宅ケアを推進していく際の課題として明らかになった。委員会活動の中で、これらの課題も含め、さらに検討を重ねていきたい。

令和7年度重点方針

地域包括ケアシステムの深化、病院完結型から地域完結型医療へ、治す医療から治し支える医療への移行、多職種協働によるチーム医療の進展については、一層の理解と浸透が図られつつある。さらに2040年頃を見据え、医療・介護 DX のさらなる推進により、医療・介護の提供体制の転換も進められ、看護においても今後より一層看護 DX を推進し、看護業務の効率化とともに、多職種との連携や協働が求められる。

また、次なる感染症危機、地震や気候変動による気象災害等、様々な健康危機が予測され、それらへの対応に万全を期すため、危機時の管理体制の強化をはじめ、これまでに以上に地域に応じた柔軟な対策・対応も求められている。

このため、医療と生活の双方の視点を持った看護職の人材育成は重要であり、あわせて感染拡大等健康危機が生じて、一般医療や救急医療等を含む保健医療システムを機能させながら社会活動を維持させるべく、平時からの危機的な状況下でのマネジメントや感染管理、人員配置などの医療供給体制等の整備、それを支える人材の育成・確保が急がれる。

本協会は看護職能団体として、かねてより、疾病予防・健康づくり、重症化予防に専門性を発揮したところであるが、看護職が社会の期待に応え、その重責を果たすためには、協会の組織力を強化し、社会ニーズを適宜、適切に踏まえた事業展開による看護職の育成・確保・活躍にむけた研修体系の充実、処遇改善など活躍しやすい社会環境づくりに取り組まなければならない。

本協会では、各職能の専門性を活かしながら、看護職が必要とされるあらゆる場で、住民のニーズ、社会からの期待に一層応えるため、これらを踏まえ、令和7年度は以下の5点を重点方針として事業を行う。

- I 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携
- II 看護職の確保と定着の促進
- III 看護の質の向上と生涯学習支援
- IV 組織力の強化
- V 地域における健康危機管理体制の強化

令和7年度 重点方針・重点事業の説明

重点方針Ⅰ 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携

【事業概要】

地域包括ケアシステムの深化・推進を図るため「全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携」を重点方針とし、子ども・子育て世代、障害者、高齢者など、全ての住民を対象とした取り組みを進めている。とりわけ訪問看護は、在宅療養支援の要となるサービスであり、訪問看護師の人材確保、育成、訪問看護ステーションの機能強化が必須となっている。そこで令和6年度に訪問看護に係る様々な課題を一体的・一元的に解決し地域における訪問看護提供体制の安定化・推進支援を図るため、「訪問看護総合支援センター」を設置し運営を開始してきたところである。

さらに、支部事業として、在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進と連携の強化を図る目的で、地域における課題の抽出と課題解決のための取り組みを展開している。今後も、地域の特性を活かしながら看護職のみならず多職種との協働・連携へと発展させていく。

また、保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱの各職能委員会及び在宅ケア推進委員会において、地域を見据えた専門領域での看護職間および多職種間の連携について検討し、抽出した課題解決に向けた取り組みを継続するとともに、母子のための地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組みについても継続する。

【重点事業】

I-1 訪問看護総合体制推進事業（県委託）

- ・訪問看護総合支援センターの運営

【ポイント】 ・「経営支援」「人材確保」「訪問看護の質の向上」を目的とする

- ・「事業所運営基盤整備支援（相談・支援）」「潜在看護師・プラチナナース等の就業及び転職促進等による人材確保」「訪問看護に関する情報分析」「教育・研修の実施」等を行う
- ・ナースセンター、関係団体、行政と連携して取り組む

I-2 地域連携における看護の機能強化事業

- ・在宅療養支援のための看護職連携推進研修 県委託を含む

【ポイント】 支部事業として、保健医療圏域ごとの課題に沿った活動を実施

- ・在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み

【ポイント】 在宅ケア推進委員会において多職種間の連携の現状を踏まえ、効果的な取り組みを検討

I-3 看護業務の質の向上に関する事業

- ・保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ各職能委員会の活動

【ポイント】 ・4職能委員会及び在宅ケア推進委員会において専門領域での地域における連携について検討

- ・職能間での専門領域における連携上の課題解決に向けての取り組み（常任委員会と連携した活動）

- ・母子のための地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組み

【ポイント】 助産師職能委員会を中心に、他の職能委員会等と連携して進める

重点方針Ⅱ 看護職の確保と定着の促進

【事業概要】

山口県内の看護職員就業者は25,059人（令和4年12月末）で、2年前と比較すると226人の微減となっている。看護師数は248人の増加（衛生行政報告例）。

本県では、地域や就業場所による偏在が顕著であり、県北部の看護職員不足や小規模病院・介護施設・訪問看護ステーションの看護師確保が課題となっている。また、大規模災害や新興感染症等が拡大した場合の健康危機管理体制強化のためにも看護職確保が必要となる。

今後も潜在看護職の活用による看護職の確保を図るため、再チャレンジ研修の充実をはじめ、きめ細やかな復職支援を行うとともに、退職時の届出制度の一層の周知を図り、求職者や求人施設のe-ナースセンターへの登録を推進していくことで、危機時にも役立つシステムとして定着させる必要がある。

また、少子超高齢化の進展が加速し、2040年には現役世代（担い手）が急減する見込みである中、看護職員の確保定着の取り組みが喫緊の課題になっている。離職中、定年退職後や定年退職を控えた看護職がこれまで培ってきた知識と経験を活かし、新たなキャリア人生を充実させ、働き続ける意識を醸成することで看護職の確保を図るため、セカンドキャリア活躍推進事業を進めていく。

【重点事業】

Ⅱ-1 ナースセンター事業 県委託

- ・無料職業紹介（看護職員・看護補助者）
- ・離職者・未就業者届出サポート
- ・再チャレンジ研修
- ・就業コーディネーターの配置
- ・ナースのお悩み相談室
- ・看護師等就業協力員の育成

- ポイント** ・看護管理者や看護職に対して退職時の届出制度「とどけるん」の周知活動、病院等との連携強化
- ・潜在看護職へのきめ細かい復職支援

Ⅱ-2 （新規）地域の実情に応じた看護職確保推進事業（日本看護協会委託）

- ・セカンドキャリア世代の就業や地域活動を促進

- ポイント** ・人材活用バンクきらめきナースの充実（キャリア相談、求人施設の開拓）
- ・セカンドキャリアセミナー、セカンドキャリアによる交流会、職場体験会等

【他事業】

- ・働き続けられる職場づくり推進事業
- ・プレナース発掘事業 県委託
- ・看護職員再就業支援相談会 県委託

重点方針Ⅲ 看護の質の向上と生涯学習支援

【事業概要】

医療・看護を取り巻く状況は大きく変化しており、看護職にはあらゆる場での専門職としての役割発揮が期待されている。今後も看護職が多様な場であらゆる世代の人々の健康を支えていくためには、ニーズに応えられる体制を強化し、より効率的な看護提供を行うことが求められる。

看護の専門性を十分に発揮し、安定的で質を確保した看護の提供のため、認定看護師等の質の向上を図るとともに、専門性を活かして地域で活躍できる場を広げ、地域のニーズとのマッチングなど、地域住民の健康づくりに貢献するためのシステムをつくり上げ、地域全体の健康レベルの向上に資する事業を展開していく。

また、看護職の活躍する領域や場の多様化が進む中、看護職は変化する社会のニーズに合わせて、新たな知識や技術を学び直し継続的な学習に主体的に取り組み、能力の向上に努める必要がある。看護職自身のたゆまぬ努力とともに、生涯にわたって継続的に自己研鑽できるよう、職能団体として行政や関係者と協力して環境の整備に努め、継続した学習を積み重ねキャリア形成に繋げていけるように企画・運営を行う。

【重点事業】

Ⅲ-1 看護業務の質の向上に関する事業

・認定看護師等活躍推進事業 県委託

- ポイント** ・専門看護師・認定看護師等の全体交流の中で地域活動を行う上での課題を抽出し、解決に向けて何ができるかを検討していく。
- ・専門看護師・認定看護師の全体交流研修会と分野別での交流会を開催
 - ・地域別の看護管理者等と専門看護師・認定看護師等の交流研修会の開催
 - ・専門看護師・認定看護師の登録制度システムづくり
 - ・専門看護師・認定看護師登録制度システムを稼働させ、専門看護師・認定看護師と地域の要望をマッチングする。

Ⅲ-2 県立総合医療センターと連携した教育研修体制の構築

- ・看護人材の確保とその育成に関する連携協定に基づき、教育研修体制の構築を図る

【他事業】

- ・保健師・助産師・看護師Ⅰ・Ⅱ職能委員会活動
- ・看護制度委員会活動
- ・一般教育研修
- ・認定看護管理者教育（ファーストレベル・セカンドレベル）
- ・新人看護職員研修事業 県委託
- ・助産実践能力向上事業 県委託
- ・実習指導強化推進事業 県委託
- ・助産師出向支援導入事業 県委託
- ・看護職員認知症対応力向上研修 県委託
- ・看護補助者の活用推進のための看護管理者研修
- ・医療安全推進事業
- ・第25回山口県看護研究学会の開催

重点方針Ⅳ 組織力の強化

【事業概要】

組織力の強化を図る上では、会員の確保、看護が担うべき役割を支援する事業の一層の推進や迅速な情報発信等を行う上での職員の育成や体制整備等が必要である。

本協会の会員数の状況は、令和元年度をピークに漸減しており、入会率は就業者数の約4割にとどまっている。会員数の減少に歯止めをかけ増加に転じていくため、新卒者の入会促進、再入会への呼びかけ、未入会施設等への働きかけ等、会員数増への取り組みを一層強化していく。

また、若い世代に看護の魅力を伝え、看護職に看護協会の存在意義、役割等を周知していくためには、広報力の強化に向けた取り組みや効果的な情報発信が必要となる。昨年度実施したPRバス企画のDVDを活用した看護の日・看護週間事業やSNSによる情報発信等を進める。

【重点事業】

IV-1 組織運営に関する事業

・入会促進に向けた活動

ポイント ・看護師等学校養成所への訪問による入会案内及び記念品贈呈

・未入会施設及び会員減少施設への訪問による入会案内や再入会の呼びかけ等の入会促進強化

IV-2 広報活動事業

・看護の日・看護週間事業

ポイント ・キャラクター「山口県かんごちゃん」を活用し、各地区支部における広報活動を促進

・SNSによる情報発信の強化と山口県看護協会ホームページの充実

ポイント LINEによるスピーディーな情報発信と友だち登録の増加

【他事業】

- ・支部活動の充実
- ・財務の健全運営の取り組み
- ・会員の福祉及び相互扶助に関する事業
- ・他団体との連携

重点方針V 地域における健康危機管理体制の強化

【事業概要】

看護職は、コロナ禍の最前線でリスクと対峙しながらも、専門性を発揮しその役割を果たしてきた。今後も、新たな新興感染症や大規模災害等の発生が予測される中、更なる健康危機管理体制の整備と強化が望まれる。

令和5年度の感染症法及び医療法の改正に伴い、災害・感染症発生時に都道府県知事の求めに応じて派遣される仕組みが法定化され、災害支援ナースは「災害・感染症医療業務従事者」として位置付けられた。この新たな仕組みによる応援派遣体制を構築するため、令和5年度から自然災害と新興感染症に対応できる看護職の養成を開始し、令和6年度には必要な研修課程を修了した看護職員が速やかに出動し、看護支援活動を行うことで、人々の生命や健康を守れるよう、県と委託契約を締結した。令和7年度においても、新たな災害支援ナース養成研修をさらに充実させ、県と協働して、応援派遣調整の体制整備を進めるとともに、有事における旧災害支援ナースの有効活用について検討する。

【重点事業】

V-1 （新規）災害支援ナース活動支援体制整備事業

- ・新災害支援ナース養成研修の開催及び修了者のリスト管理
- ・「災害・感染症医療業務従事者」による応援派遣調整体制の確立
- ・日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練、山口県総合防災訓練等への参加

ポイント 県行政等関係機関との健康危機管理体制強化のための協働

重点方針とは別に取り組む事業

1 人々の健康及び福祉の増進に関する事業

【事業概要】

看護師国家試験の合格者は約5.6万人／年であり、これを維持していくためには、2030年には、18歳人口の18人に1人に看護の仕事を選択してもらう必要がある。小・中・高校生や教員、保護者を対象に、進路選択で看護大学等への進学を選択してもらうために、県内の学校の情報提供やふれあい看護体験、出前講座などにより看護職にふれあう機会を提供する。まちの保健室等住民を対象とした活動については、活動範囲を広げ、実施場所や方法の工夫により充実させる。

【他事業】

- ・「看護の日」及び「看護の心」PR 事業
- ・健康相談・啓発等の事業
- ・まちの保健室活動
- ・「国際助産師の日」活動
- ・がん総合相談窓口の運営 県委託
- ・訪問看護ステーションの運営

定款第4条の8つの事業に沿った事業計画

1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護教育に関する事項	
(1)一般教育研修の実施	看護実践能力養成研修会 30コマ31日程度
(2)認定看護管理者研修の実施	①認定看護管理者教育課程ファーストレベル 105時間 20日間 ②認定看護管理者教育課程セカンドレベル 180時間 32日間 ③フォローアップ研修(ファーストレベル・セカンドレベル)
(3)新人看護職員研修事業 (山口県委託)	①検討会 2回程度 ②研修責任者研修 4日程度 ③教育担当者研修 6日程度 ④実地指導者研修 5日程度
(4)助産実践能力向上事業 (山口県委託)	①新人助産師研修 6日 ②中堅助産師研修 5日程度
(5)実習指導強化推進事業 (山口県委託)	①検討会 2回 ②実習指導者養成講習会 33日程度 ③実習指導者と看護教員の相互研修 2日間 ④実習指導アドバイザー派遣 3回程度
(6)看護職員認知症対応力向上 研修(山口県委託)	①検討会・打合せ会 5回程度 ②看護職員認知症対応能力向上研修 3日間 2回
(7)その他研修	①看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 2回 ②外来における在宅療養支援能力向上のための研修 1回 ③認知症高齢者の看護実践に必要な知識 3回
(8)委員会	①教育委員会 10回程度 ②認定看護管理者教育運営委員会 4回程度
(9)日本看護協会との連携	全国看護基礎教育担当者会議
2)医療安全推進事業	
(1)医療安全管理者の養成および 実践能力向上のための研修	①医療安全管理者養成研修 日本看護協会インターネット配信研修35時間 集合研修5時間 ②医療安全管理者スキルアップ研修 1回
(2)医療安全推進事業	医療安全啓発 ・医療安全情報 協会報「きらめき」掲載 ・医療事故調査制度等を施設管理者へ情報提供 ・「看護職あなたのためのリスクマネジメント第5版」の・啓発・普及活用促進

事業項目	主な事業内容
(3)医療安全管理体制の構築・充実	①圏域の医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援圏域代表との意見、情報交換 1回 ②医療安全管理者交流会の開催 2回
(4)看護職賠償責任保険の加入促進	看護職賠償責任保険制度のPR ・入会案内とともに送付 ・講習会・研修会時に周知を図る ・実習を伴う講習会受講者への加入促進
(5)委員会	医療安全推進委員会 6回 内、1回は圏域代表を招聘しての会議
(6)日本看護協会との連携	医療事故調査制度に関する情報交換会への参加 1回
3)学会等学術振興に関する事業	
(1)山口県看護研究学会開催	第25回山口県看護研究学会 3月
(2)委員会	学会委員会 6回
(3)日本看護協会との連携	
4)図書室運営に関する事業	
(1)図書の閲覧・貸出	①蔵書管理 ②図書貸出 ③文献検索・複写サービス(最新看護索引Web機関版・医学中央雑誌)
(2)日本看護協会との連携	①譲渡図書の受入 ②最新看護索引Web機関版の利用 ③都道府県看護協会図書室担当者研修会

2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)ナースセンター事業	
(1)ナースセンター運営協議会 (山口県委託)	協議会開催 1回
(2)無料職業紹介 (山口県委託)	①第7次NCCS(ナースセンター・コンピューター・システム)の運用 ・看護職員、看護補助者の無料職業紹介 ・求人施設・求職者の登録 ・求人・求職情報の更新、情報提供 ・求職者に対する相談 ・NuPS(看護職のためのポータルサイト)の運用、周知(年度後半) ②ナースセンター・ハローワーク連携事業 ・連携事業連絡調整会議 2回 ③その他 ・事業の広報

事業項目	主な事業内容
(3)再チャレンジ研修 (山口県委託)	ナースセンターだよりの発行、協会ホームページ、県ホームページ、市町広報、メディア等 ①再就業支援研修(地域施設研修) ・研修協力施設 23施設 ・募集期間 R7.5～R8.3上旬 ・研修 随時実施 ・研修期間 3～5日程度 ②集合研修 3回 ③調整会議 1回 ④広報
(4)就業コーディネーターの配置 (山口県委託)	①ハローワークでの出張相談、就業支援 ・岩国、柳井、下松、徳山、山口、防府、宇部、長門、萩、下関のハローワークで実施 ・5月より各会場で月1回実施(柳井、下松、長門 隔月1回) ②再就業にあたり看護技術等の再習得を希望する者に対する研修調整 ③求人施設等への訪問 ④調整会議 3回
(5)ナースのお悩み相談室 (山口県委託)	①ナースセンターでの相談、就業支援 9:00～16:00(開館日) ②広報
(6)看護師等就業協力員の育成 (山口県委託)	①看護師等就業協力員研修会の開催 1回 ②就業協力員の活動として学校訪問への支援
(7)演習器材の貸出 (山口県委託)	①器材の貸出 ・対象：看護職員を配置する施設 ・貸出器材8種 ②個人の技術演習 ・対象：技術演習の希望者 ・演習日：4回/月(毎週金曜日) ・演習項目：採血・注射・吸引・心肺蘇生など ③広報
(8)離職者・未就業者届出サポート (山口県委託)	①届出について病院との連携体制の整備・強化 ②届出制度の広報 ③相談対応、登録サポート ④届出者への情報提供
(9)看護職員再就業支援相談会 (山口県委託)	①相談会の開催 県内6会場 (ハローワークと合同開催) ・対象：再就業を希望する者 ・参加施設：中小規模の医療機関や訪問看護ステーション、施設等 ②相談会のあり方検討会 2回 ③看護補助者の説明会・研修会等 ④ハローワークとの連携強化
(10)会議等への出席	①職業紹介責任者講習(全国国民職業紹介事業協会)

事業項目	主な事業内容
(1)日本看護協会との連携 2)プレナース発掘事業 (1)看護PRリーフレットの作成・配布(山口県委託) (2)1日ナース体験(山口県委託) (3)看護の魅力発見(山口県委託) (4)看護職員の学校訪問(山口県委託) (5)日本看護協会との連携 3)働き続けられる職場づくり推進事業 (1)働き続けられる職場づくりの啓発・支援 (2)日本看護協会との連携 (3)医療勤務環境改善に関するアドバイザー派遣業務(山口県委託) 4)新地域の実情に応じた看護職確保推進事業(日本看護協会委託) (1)セカンドキャリア活躍推進事業	②山口県看護職員確保対策協議会 ①都道府県ナースセンター事業担当者会議(中央ナースセンター) ②都道府県ナースセンター相談員研修(中央ナースセンター) ③都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会中国・四国ブロック ④都道府県ナースセンター地域に必要な看護職確保推進事業説明会 看護業務の紹介や看護職員となるための方法などのリーフレットを作成し、県内中学校や高等学校、関係機関に配布 対象：中学生、高校生 期間：夏休み期間 施設：参加協力施設 ①看護の魅力発見の開催 対象：小学生、中学生、高校生、保護者、看護に興味がある人 施設：3か所程度 内容：ワークショップ、ミニナース体験、看護の進路相談、看護のお仕事相談 ②事業検討委員会 2回 ①学校訪問の実施 学校と調整し訪問 対象：中学生、高校生やその進路指導を行う教員等 内容：・看護の仕事や看護職となるための方法について普及啓発 ・次世代ナース確保の重要性に関する講話 ・職業講話 若年層への情報発信の強化 ①労働環境支援委員会 4回 ②看護職員就労定着支援事業研修会 1回 対象：5年目以上の看護職 看護労働担当者会議 医療勤務環境改善支援センターからの依頼を受け、支援対象機関に働き方等に関するアドバイザーを派遣 ①「セカンドキャリア人材バンク」の充実(キャリア相談等) 「きらめきナース」活躍推進 ②求人施設の開拓 施設訪問

事業項目	主な事業内容
(2)看護補助者の確保定着に向けた取り組み	③セカンドキャリア支援研修会・交流会等 ①広報 ②研修会・説明会の開催
(3)看護学生・潜在看護職を対象としたNuPSの周知	①広報 ②学校訪問(看護大学・養成所等)
5)看護職員メンタルサポート事業	就業看護職員の精神的な疲労による離職を未然に防ぐための対策 ①看護職員に対するメンタルサポーター（公認心理師等）による相談の実施 ②看護管理者メンタルヘルス研修の実施 ③出張による個別相談および院内研修

3 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)看護業務の質の向上に関する事業	
(1)保健師職能委員会	①保健師職能委員会 8回 ②支部職能委員との合同会議 2回 ③全国職能委員長会 2回 ④地区別保健師職能委員長会 1回
ア 保健師の連携強化及びネットワークの構築	①保健師職能集会の開催 ②保健師職能交流会の開催 ③支部委員との連携強化としての合同会議を開催し情報交換 ④ひたむきな保健師取材、会報「きらめき」掲載 3回 ⑤ホームページ、会報「きらめき」による情報発信
イ 保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進	①研修会・交流会の実施 ②一般教育研修計画への参画
ウ 会員増加の推進	①保健師職能集会や交流会の開催 ②リーフレット、会員勧誘チラシ改訂版の活用 ③ホームページ、会報による情報発信
(2)助産師職能委員会	①助産師職能委員会 7回 ②支部職能委員との合同会議 2回 ③全国職能委員長会 2回 ④地区別助産師職能委員長会 1回
ア 周産期医療の現状と課題の把握	①職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 ②中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 ③保健師職能・看護師職能との情報交換・共有と課題を抽出
イ 助産実践能力向上事業(山口県委託)	①新人助産師研修の企画・運営・評価 ②助産実践能力向上中堅助産師研修の企画・運営・評価 ③CLoCMiPレベルⅢ認証研修の導入・活用推進

事業項目	主な事業内容
ウ 母子のための地域包括病棟の推進	ガイドラインを活用した母子のための地域包括ケア病棟の運営の推進
エ 災害時の対応	周産期医療や母子保健に関する災害時(感染症も含む)の情報についてタイムリーな情報提供・情報交換
オ 広報活動	①イベント等での助産師の普及活動 ・看護の日・国際助産師の日 ・いいお産の日 ・ホームページ等へ記事投稿 ②PRリーフレットの活用
カ 3職能4委員会との連携強化	①母子のための地域包括ケアシステムの深化に向けての、ネットワークの構築 ②地域における看護力強化に向けた連携推進のための検討会への参加 ③女性の支援に必要な体制の検討に向けた現状と課題の把握
(3)看護師職能委員会 I	①看護師職能委員会 I 9回 ②支部看護師職能委員 I との合同会議(10月・3月) 2回 ③看護師職能委員会 II との合同会議(随時) ④全国職能委員長会(看護師職能 I・II) 2回 ⑤地区別看護師職能委員長会 1回
ア 看護実践能力の向上	看護職の生涯学習支援の推進に向けた活動 ・看護職の生涯学習支援に関する研修会の開催
イ 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携と継続看護の推進	①在宅ケア推進委員会及び4職能委員会の連携強化 それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題抽出、課題解決に向けた取り組み ②看護師職能委員会 II との連携強化 合同会議の開催による情報交換、情報共有
ウ 支部看護師職能 I 委員との連携強化	①支部活動の理解と把握及び情報共有 ②地区別看護師職能 I 委員長会の課題について意見集約
エ 広報活動・会員増加の推進	①看護師職能集会(I・II合同) 1回 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
オ 日本看護協会との連携	①全国看護師職能 I 委員長会議 1回 ②地区別看護師職能 I 委員長会議 1回
(4)看護師職能委員会 II	①看護師職能委員会 II 9回 ②支部看護師職能委員 II との合同会議(10月・3月) 2回 ③看護師職能委員会 I との合同会議(随時) ④全国職能委員長会(看護師職能 I・II) 2回 ⑤地区別看護師職能委員長会 1回
ア 介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進	介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)の開催 県内16施設(8~11月)

事業項目	主な事業内容
イ 介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約	①看護師職能Ⅱ交流会開催 1回 ②全国職能委員長会議 2回 ③地区別看護師職能Ⅱ委員長会議 1回 ④看護師職能Ⅱ領域の看護職のマネジメントに関する現状調査と課題抽出 令和6年度に実施した介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム対象のアンケート調査より抽出された課題に対する取り組みについて検討
ウ 3職能4委員会の連携推進及び地域を見据えた専門領域での連携強化	①3職能4委員会及び在宅ケア推進委員会との合同会議 ②看護師職能委員会Ⅰとの合同会議 ③支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議 2回
エ 広報活動・会員増加の推進	①看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 1回 ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
(5)職能集会	①保健師職能集会 1回 ②助産師職能集会 1回 ③看護師職能集会 1回
(6)看護制度委員会	看護制度委員会 6回
ア 准看護師の資質向上とキャリア形成の推進	①准看護師のスキルアップに繋げていけるような研修会の企画運営 ②看護師養成課程への進学や利用できる制度に関する情報提供
イ 看護基礎教育を考える会の開催	看護基礎教育の現状や課題について、理解を深めるための研修会を開催
ウ 看護専門領域の資格者の地域貢献活動連携強化	認定看護師等活躍推進事業検討会と連携し、看護専門領域の資格取得者が活動する上での課題を共有する
エ 日本看護協会との連携	全国看護基礎教育担当役員会議 1回
オ 広報活動	会報「きらめき」、協会ホームページへの活用、広報・活動報告
(7)助産師出向支援導入事業(山口県委託)	①助産師出向支援の実施 ②助産師出向支援導入事業協議会の開催 2回 ③助産師出向に関する調査の実施 ④助産師出向支援導入事業研修会の開催 ⑤助産師出向支援導入事業報告会の開催
(8)認定看護師等活躍推進事業(山口県委託)	①研修会の開催 ②認定看護師等の登録・派遣についてのシステム構築

4 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)訪問看護提供体制推進事業 (山口県委託) (1)施策推進体制の確立 (2)専門職による相談対応 (3)訪問看護師育成支援 ア 訪問看護師の看護実践能力の向上 イ 看護職間の相互理解、連携強化の取り組み (4)人材の確保 (5)山口県訪問看護実態調査	①山口県訪問看護推進協議会 1回 ②訪問看護提供体制推進検討会を設置し、センターの運営に関すること、教育に関することを検討 ・訪問看護総合支援センター運営に関する検討会 3回 ・訪問看護総合支援センター教育関係(研修会等)に関する検討会 5回 訪問看護事業所開設者や管理者等を対象とした相談窓口を設置 ・事業所の開設、運営等に係る相談対応 ・人材確保、人材育成に係る相談対応 ①訪問看護入門研修の企画・実施 ②訪問看護研修ステップ1(訪問看護初任者研修) 5～12月 訪問看護eラーニングに集合研修8日間、実習3日間を組みあわせて実施 ③中堅者、管理者対象研修(訪問看護師スキルアップ研修)の企画・実施 ①訪問看護研修ステップ1の公開講座 ②訪問看護実践研修への参画、提言 ①ナースセンターと連携した人材確保の促進 ・潜在看護師、プラチナナース等の就業促進 ・若手看護師確保に向けた取り組みの実施 ・離職防止対策の検討 訪問看護に関するアンケート調査により、県内の訪問看護の実態把握と課題の抽出
2)地域連携における看護の機能強化事業 (1)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (山口県委託事業 訪問看護師実践研修を含む) (2)在宅ケアの推進 ア 在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み	支部圏域の在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進・連携の強化を図る上での課題を抽出し、課題解決のために必要な知識や技術の習得研修を企画することを目的に、病院・施設の看護管理者、地域連携担当者、訪問看護事業所管理者、地域包括支援センター保健師、行政保健師、居宅介護支援事業所等の相談関係機関担当者等による検討会を設置 ①検討会の開催 2回 ②研修会・交流会等の開催 1回 ①在宅ケア推進委員会 5回 ②3職能4委員会意見交換会 1回 ①情報提供書の書き方ガイドの作成 ②職能委員会、常任委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業との情報提供、意見交換を目的とした会議の開催 3回程度

事業項目	主な事業内容
イ 在宅ケアに係る看護の実践能力の向上および連携推進 (3)日本看護協会及び関係団体との連携 3)訪問看護の推進に関する事業 (1)訪問看護ステーションの運営	①山口県訪問看護推進協議会の委員として出席 ②情報提供、意見交換を目的とした3職能4委員会との会議の開催 ①山口県訪問看護ステーション協議会との連携、協力 ②関係団体との連携協力 ③訪問看護連絡協議会全国会議への参加 2回 ①経営目標に基づく安定した事業の実施 ・訪問看護ステーションについての周知活動 ・ケアマネージャーとの連携強化 ・行政・医療機関・福祉施設との連携 ・24時間対応体制と緊急時対応の充実 ・訪問看護などに関する電話・来所相談への対応 ・介護保険事業の適正な運営 ・事業所の設備・機器・物品の管理 ・運営会議の開催 2回 ②質の高い訪問看護サービスの提供 ・BCP訓練・研修 年1回(感染・災害) ・ハラスメント委員会・研修 年1回 ・高齢者虐待防止委員会・研修 年1回 ・感染症予防(標準予防策の徹底) ・訪問看護サミット2025への参加 ・日本看護学会在宅看護への参加 ・サービス向上を目的とした課題の検討 ・介護者・家族へのサポート充実・強化 ・在宅サービス提供者との連携強化によるケアの拡充 ・利用者満足度調査(評価によるケアの向上) ・サービスの質の自己評価 ・管理者会議の開催 10回 ③訪問看護に関わる関連団体との協力 ・訪問看護総合支援センターとの連携 ・看護学生などの実習受け入れ ・関係団体との連絡調整・会議 ・市町・社会福祉協議会・難病ネットワーク・地域ケア会議などへの参加 ・地域住民の在宅医療・介護に対する啓発 ・訪問看護振興財団他団体との連携 ④広報活動 ・協会ホームページ ・地域行事参加 訪問看護PRチラシ配布 4)健康相談・啓発等の事業 (1)「まちの保健室」活動の実施 ①各支部の「まちの保健室」担当者会議の開催 1回 ②普及啓発グッズの配布 ③健康フェア等への出展 ④関係機関との連携推進 (2)「国際助産師の日」活動支援 各支部助産師職能活動支援(リーフレット作成、物品整備)

事業項目	主な事業内容
(3)がん総合相談窓口の設置 (山口県委託)	①相談窓口の設置 月～金曜日 ②看護職による相談支援 他職種との連携による心理・療養生活・介護等の支援 ③がん相談支援スキルアップ研修会参加 ④相談窓口の積極的な利用促進に向けての広報活動
5)災害支援ナース活動支援体制整備事業 (1)災害支援ナースの養成および資質向上のための支援 (山口県委託)	①災害支援ナース養成研修会開催 1回 e-ラーニング(オンデマンド研修)20時間 + 集合研修2日間 ②災害支援ステップアップ研修 1回 ③災害支援ナースの登録・変更(県・日本看護協会) ④災害支援ナース所属施設および看護管理者への情報の提供と共有、相互理解の推進のための活動
(2)災害支援活動体制の整備、充実	①災害支援ナースの活動体制の整備・充実 医療法・感染症法改正後の災害支援派遣要綱等の改定 ②災害支援活動に関する資機材の整備 ③災害支援ナース指導者の育成
(3)平常時の防災活動の推進	①山口県総合防災訓練等への参加 ②災害支援物品の整備
(4)日本看護協会、関係機関、他団体との連携および協働	①都道府県看護協会健康危機管理担当学会議参加 ②行政、医師会等の関係機関、JMAT等他団体との連携
(5)委員会	災害支援委員会 8回
6)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1)看護の日・看護週間行事開催	①2025年度「看護の日・看護週間」イベント開催 ②会員施設において県民を対象に看護の日・看護週間行事の開催 ③「ふれあい看護体験」の行事を学生等を対象として会員施設で開催 ④「看護の心」普及活動 ・リーフレット配布やポスターの掲示
(2)看護のPR	①やまぐち未来のしごとフェスタ出展 ②みらいWalker★UBE出展 ③県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち出展 ④やまぐちJOBフェスタ出展

5 公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

(公益事業／法人事業)

事業項目	主な事業内容
1)日本看護協会との連携強化事業 (1)諸会議への出席	※法人事業 ①通常総会 R7.6.11 ②理事会 6回程度

事業項目	主な事業内容
(2)日本看護協会が実施する事業への情報提供並びに協力	③法人会員会 5回程度 ④代議員研修会 R7.5.24 ⑤都道府県看護協会政策責任者会議 R7.9.18 ⑥会員情報管理情報交換会 R7.7.30 ⑦都道府県看護協会広報担当役員会議 R7.11.17 ※公益事業 ⑧全国職能別交流集会 R7.6.12 ⑨全国職能委員長会 R7.8.1、R8.3.6 ⑩地区別職能委員長会 R7.10.30 ⑪訪問看護連絡協議会合同会議 R7.11月中旬 ⑫ナースセンター事業担当者会議 R7.4.16 ⑬全国看護基礎教育担当役員会議 R8.2月中旬 ⑭都道府県看護協会健康危機管理担当者会議 R7.12月 ⑮都道府県看護協会看護労働担当者会議 R7.7.17 ⑯医療事故調査に制度に関する情報交換会 R7. ⑰都道府県看護協会教育担当役員会議 R7.9.10 ⑱都道府県看護協会図書室担当者研修会 R7.9月 詳細については各事業計画を参照

6 施設の貸与に関する事業

(公益事業)

事業項目	主な事業内容
1)研修会館の貸与事業 (1)公益目的使用への施設の貸与	本協会の目的に沿った事業を行う団体に対し、会議室等を低廉な料金で賃貸

7 会員の福祉及び相互扶助に関する事業

(収益等事業)

事業項目	主な事業内容
1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)福利・厚生事業	①名誉会員制の継続 ②各種表彰の候補者推薦 叙勲、厚生労働大臣表彰、医療功労賞、日本看護協会名誉会員、日本看護協会会長表彰、山口県優良看護職員知事表彰等 ③山口県看護協会会長表彰及び特別会長表彰の実施 ④傷病見舞、罹災見舞、休業見舞、死亡弔慰金等の支給 ⑤会報「きらめき」を全会員へ配布 ⑥レジャー施設入場支援 ⑦レジャー施設等優待、割引

8 その他本会の目的を達成するために必要な事業

(公益／収益等／法人)

事業項目	主な事業内容
1)看護職への支援事業 (1)相談支援センター活動推進	相談支援センターの運営
2)支部活動事業 (1)支部活動の推進	①支部活動の運営(※公益/収益等/法人) ②支部運営会議による協議
3)組織運営に関する事業 (1)適正な財産運営 (2)各種事業運営	①健全な財産管理、運用(※法人) 会館・事務局運営 ①通常総会(※法人) R7.6.28 ②理事会(※法人) 7回程度 常務理事会(※法人) 5回程度 監査会(※法人) 2回程度 ③その他事業(各種会議)(※法人) ・支部運営会議 3回程度 ・推薦委員会(※法人) 5回程度 ・県・支部推薦委員合同会議(※法人) 1回程度 ・選挙管理委員会 1回程度 ・他、各種会議(※法人)
(3)看護政策推進のための組織強化事業	①地域の政策力強化(※法人) ・認定看護管理者会への参加 ・看護職員就業施設訪問 ・看護管理者会議によるネットワーク強化 ②看護協会入会促進 ・入会促進用パンフレットの配布等による周知活動 看護学校・訪問看護ステーション・福祉介護施設等 ・看護学校訪問 入学式・戴帽式・卒業式等 ・看護学校卒業生への啓発活動
4)広報活動事業 (1)広報活動	①会報「きらめき」発布(※公益/収益等) ・年3回全会員及び県内市町、各団体、未入会施設等へ資料配布 ・委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ②ホームページの更新、活用(※公益/収益等) ・研修情報、委員会活動、支部活動、ナースセンター、訪問看護総合支援センター情報等を掲載 ③SNS(LINE)による情報発信
(2)各種情報提供	①会員増加の推進(※収益等/法人) ・会員、非会員へ新着情報の随時広報 ・看護職賠償責任保険制度のPR、加入促進 ・「山口県看護協会入会のご案内」「日本看護協会入会のご案内」「日本看護協会事業案内」を入会希望施設、未入会施設に配布 ②タイムリーな情報提供(※公益/収益等/法人)

事業項目	主な事業内容
5)他団体との連携 (1)看護教育機関との連携 (2)看護関連政策の推進 (3)他団体との共催行事	・通送便 1回/月 ・印刷物等配布 ①入学式・戴帽式・卒業式等出席(祝辞・祝文等)(※法人) ②見学・実習の受け入れ(※公益) ③卒業時に協会のPR(パンフレット等配布)(※法人) ①要望・事業提案(※法人) ・行政機関、公益社団法人日本看護協会等 ・山口県看護連盟との連携 ①医療関係団体新年互例会(※法人) ②研修会等の後援 ③研修会等のチラシ配布、ホームページ掲載

令和7年度 支部事業計画

岩国支部事業計画

活動目標	1) 地域包括ケアシステムの深化・推進を図るための地域における看護力の強化と連携 2) 地域における健康増進活動の推進
支部集会	日 時：R7.7.12 13:00～ 会 場：岩国市医療センター医師会病院
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 看護教育に関する事業 (1) 一般教育研修 ① 教育委員会研修 1回 ② 職能委員会研修 1回 2) 学会等学術振興に関する事業 (1) 3支部合同看護マネジメント研究会 開催担当 柳井支部 日時：R8.2.7 (予定)
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場づくり支援 ① 県協会労働環境支援委員会研修参加への働きかけ
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護週間」PR事業 (1) 看護の日及び看護週間行事の開催 (2) 各施設で日時を設定し実施 2) 健康相談・啓発等の事業 (1) まちの保健室開催 3回(地域行事への参加含む) (2) 国際助産師の日事業 1回 (3) 進路相談 各施設で実施 3) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 検討会 3回 研修会 1回(職能研修と共同開催)
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業)	1) 看護職交流会 1回 2) 表彰候補者の推薦と表彰者のお祝い
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部活動の充実 (1) 地域会議への出席(支部長他) (2) 看護学校入学・卒業式祝電 2) 支部集会 1回 3) 支部役員会 6回 ※支部委員会同時開催 4) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」への投稿 (2) 県協会ホームページへの投稿

柳井支部事業計画

活動目標	1) 地域における看護職の連携強化、看護の質の向上 2) 支部活動を通して、親睦、情報交換の場とする
支部集会	日 時：R7.7.5(土)14:00～ 会 場：周東総合病院
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 看護教育に関する事業 (1) 一般教育研修 R7.7.5(土)開催 2) 学会等学術振興に関する事業 (1) 3支部合同看護マネジメント研究会 R8.2.7(土)13:00～17:00 柳井支部主催運営
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場づくり支援 ① 県協会労働環境支援委員会研修参加への働きかけ
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護週間」PR事業 (1) 看護の日及び看護週間行事の開催 ① 各施設で日程設定し実施 2) 健康相談・啓発等の事業 (1) まちの保健室 ① 地域のまつりやイベントに行政と連携して2回実施 (2) 国際助産師の日事業 ① イベント1回 (3) 進路相談 ① 各施設で実施 3) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (1) 検討会 2回 (2) 研修会は訪問看護ステーション等実習実施
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業)	1) 表彰候補者の推薦 ① 県協会への協力 2) その他の事業 ① 支部集会前研修：R7.7.5(土)
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部活動の充実 (1) 地域会議への出席5回(支部長) (2) 看護学校3校入学式・卒業式祝電 2) 支部役員会 6回 3) 支部委員会 (1) 職能委員会 6回 (2) 教育委員会 6回 (3) 推薦委員会 6回 (4) 選挙管理委員会 6回 4) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」への投稿 (2) 県協会ホームページへの投稿

周南支部事業計画

活動目標	1) 地域における看護職の連携強化と看護力の向上 2) 看護の質の向上と組織力の強化
支部集会	日時：R7.7.5(土) 会場：スターピアくだまつ会議室
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 看護教育に関する事業 (1) 一般教育研修 ① 教育委員会研修 1回 ② 職能委員会研修 1回 2) 学会等学術振興に関する事業 (1) 3支部合同看護マネジメント研究会 開催担当：柳井支部 日時：R8.2.7(土)
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場づくり ① 県協会労働環境支援委員会の研修参加への呼びかけ
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1) 各施設で日時を決定して実施、ポスター掲示及びグッズの配布 2) 健康相談・啓蒙活動の事業 (1) まちの保健室 3回予定 (2) 国際助産師の日事業 ① イベント「いいお産の日」 1回 (3) 進路相談 ① 各施設で実施 (4) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修 ① 検討会 3回 ② 研修会 1回
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業)	1) 会員への福祉厚生等に関する事業 (1) 表彰候補の推薦 (2) 山口県優良看護職員知事表彰の推薦 2) その他事業 (1) 管理者交流会1回
5 その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部集会 1回 2) 支部役員会 4回 3) 支部委員会 職能委員会 6回 教育委員会 6回 推薦委員会 1回 選挙管理委員会 1回 4) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」へ投稿 (2) 県協会ホームページへ投稿 5) 地域会議への出席 (1) あ・うんネット周南ワーキング会議 5回 研修会 2回

防府支部事業計画

活動目標	1) 地域における看護職の連携強化と看護力の向上 2) 地域における健康増進活動の推進
支部集会	日 時：R7.7.26(土) 会 場：山口県看護協会 本館 大研修室
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 教育委員会・職能委員会 支部研修2回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 看護職への支援事業 (1) 働き続けられる職場づくり支援 ① 県協会労働環境支援委員会の研修参加への働きかけ (2) 看護職の人材確保・就業支援 ① 病院紹介や進路・就業相談 ② 看護学校と情報交換を行い市内への就業促進を行う
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」及び「看護の心」PR事業 (1) 看護の日及び看護週間行事の開催 1回 ① イオン防府店内での看護の日PR及び健康相談を実施 リーフレットやグッズ 等設置 ② 各施設で実施 2) 健康相談・啓発等の事業 (1) まちの保健室開催 6回 (2) 国際助産師の日事業 ① 国際助産師の日イベント 1回 (3) その他の事業 ① 地域行事での救護協力 3) 在宅療養支援のための看護職連携推進の強化事業 (1) 検討会 2回 (2) 研修会 1回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業)	1) 表彰候補者の推薦 2) 支部交流会 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部役員会 7回 2) 支部委員会 (1) 職能委員会 3回 (2) 教育委員会 5回 (3) 推薦委員会 2回 (4) 選挙管理委員会 1回 3) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」への投稿 (2) 県協会ホームページへの投稿

山口支部事業計画

活動目標	1)在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進と連携を図る 2)地域活動等を通して、地域住民の健康増進を図る 3)看護職の確保と定着を図る
支部集会	日 時：R7.7.12(土) 会 場：ゆ～あいプラザ
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)教育委員会 ①教育委員会企画研修会 1回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 (1)働き続けられる職場づくり支援 ①県協会主催事業への協力 (2)看護職の人材確保・就業支援 ①作成した動画活用について検討
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び看護週間行事開催 各施設で実施 2)「まちの保健室」開催 3回 3)「国際看護の日」事業「いいお産の日」イベント 1回 4)進路相談実施 各施設・まちの保健室 5)在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会 3回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業)	1)講演会(支部集会後) 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部組織の強化に関する事業 (1)支部活動の充実 ①地域会議への出席 ②看護学校関連事業参加 2)支部運営に関する事業 (1)支部役員・委員合同会議 1回 (2)支部役員会 5回 (3)支部委員会 ①職能委員会 5回 ②教育委員会 5回 ③推薦委員会 5回 ④地域連携推進委員会 5回 ⑤選挙管理委員会 1回 3)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿

宇部支部事業計画

活動目標	1)全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携 2)地域における健康危機管理体制の強化
支部集会	日 時：R7.7.19(土) 会 場：山口宇部医療センター
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 (1)支部教育研修 R7.7.19 テーマ：「そこが知りたいリアル認知症ケア」 ～患者さんも家族も私たちも笑顔で過ごせるように～ 講師：宇部リハビリテーション病院 認知症看護認定看護師
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)看護の日及び看護の心PR事業 (1)各施設で看護の日及び看護週間行事を実施 2)健康相談・啓発等の事業 (1)「まちの保健室」月1回定期開催、他健康イベントに参加 健康相談・特定健診・がん検診等の啓発、パンフレット配布 3)在宅療養支援のための看護職連携推進強化(小野田支部と合同) (1)検討会開催3回 (2)訪問看護見学実習
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業)	1)会員への福利厚生等に関する事業 (1)三職能合同研修会 R7.11月頃 テーマ「健康づくり(ストレス解消)ストレッチ」(仮) 講師：独立行政法人国立病院機構 関門医療センター 理学療法士
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部役員会 6回 2)支部委員会 (1)教育委員会 5回 (2)職能委員会 5回 (3)推薦委員会 2回 (4)選挙管理委員会 1回 3)支部集会 令和7年7月19日(土) 4)広報活動 (1)県協会会報「きらめき」への投稿 5)(1)支部活動の充実 ①地域会議への出席 ②看護学校関連事業参加

小野田支部事業計画

活動目標	地域における看護職の連携強化と看護力の向上
支部集会	日 時：R7.7.19(土)10:00～11:00 会 場：美祢市立病院
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般研修 (1)支部研修会 2回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)県看護協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」行事開催 (1)各病院で開催 2)「国際助産師の日」「いいお産の日」行事開催 3)「まちの保健室」開催 (1)美祢市内で開催予定 4)山陽小野田市主催「SOS健康フェスタ」への参加 5)看護体験実施：各施設で実施 6)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 (1)検討会開催 3回 (2)訪問看護見学実習
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業)	1)表彰候補者の推薦 2)支部交流会の開催 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部役員会 5回 2)支部委員会 (1)職能委員会 4回 (2)教育委員会 4回 (3)推薦委員会 1回 (4)選挙管理委員会 1回 3)支部活動の充実 (1)地域会議への出席 4)広報活動 (1)県協会報「きらめき」への投稿

長門支部事業計画

活動目標	1) 地域における健康・療養支援体制の強化 2) 看護協会支部活動を通じて会員相互の親睦や会員増加を推進する
支部集会	日 時：R7.7.17 予定 会 場：長門市地域医療連携支援センター 2階研修室 予定
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 看護教育に関する事業 ①一般教育研修 1回 ②WEB研修 2回 2) 学会等学術振興に関する事業 ①支部看護研究指導 ②看護研究発表会
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 働き続けられる職場づくり支援 2) 看護管理者会議 長門市内の病院・施設等の看護管理者会議 1回
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」、看護の日・看護週間で施設毎に実施 2) まちの保健室 3) 国際助産師の日事業：「助産師まつり」 4) 進路相談：一日看護体験、職場体験時に実施 5) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 検討会2回、研修会1回の実施
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業)	1) 表彰候補者の推薦 2) 地域の看護職員交流会
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部活動の充実 (1) 地域会議への出席(支部長他) (2) 看護学校入学式・卒業式臨席 2) 支部集会 3) 支部役員会：2回開催 4) 支部委員会 (1) 職能委員会 (2) 教育委員会 (3) 推薦委員会 (4) 選挙管理委員会 5) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」の投稿 (2) 支部広報誌「ふれあい」の作成 年1回発行

萩支部事業計画

活動目標	1) 地域包括ケアにおける看護職の連携強化 2) 地域活動を通して地域住民に対し看護協会の普及啓発を図り、あわせて健康向上に貢献する
支部集会	日 時：R7.7.30(水)18:00～ 会 場：萩市地域医療連携支援センター
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 一般教育研修 (1) 支部研修会 1回 (2) 三職能合同研修会 1回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 働き続けられる職場づくり支援 (1) 県協会主催事業への協力
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 看護の日及び看護週間行事の開催 (1) 各施設で日程設定し実施 2) まちの保健室開催 10回 3) 国際助産師の日事業 萩ふるさとまつりのまちの保健室と同時開催 4) 在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化事業 (1) 検討会2回 (2) 研修会3回 5) 進路相談 (1) 各施設で実施 (2) まちの保健室での実施 (3) 中学生への職業講話(依頼があれば実施) 6) その他の事業 (1) 地域行事での救護協力
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業)	1) 表彰候補者の推薦 2) その他の事業 (1) 交流・親睦会 2回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部役員会 8回 2) 支部委員会 (1) 職能委員会 4回 (2) 教育委員会 5回 (3) 推薦委員会 3回 (4) 選挙管理委員会 2回 3) 広報活動 (1) 県協会報「きらめき」への投稿

下関支部事業計画

活動目標	地域包括ケアに求められる看護力の強化と連携 1) 地域教育ネットワーク(認定マップ)を活用する 2) 臨床現場の看護実践能力の底上げを行う
支部集会	日 時：R7.7.10(木)18:30～ 会 場：済生会下関総合病院 3階講堂
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等 学術振興に関する事業 (公益事業)	1) 一般教育研修会(教育委員会主催) 会員対象 1回、会員・非会員対象 1回
2 看護職の労働環境等 の改善及び就業促進によ る人々の健康及び福祉の 増進に関する事業 (公益事業)	1) 働き続けられる職場づくり支援 県協会主催事業への協力 2) 看護職の人材確保・就業支援 (1) 看護の日記念イベント時に、学生や未就業者に対し進路・就業相談を行う (2) 各施設の職場体験等で、進路相談を実施し就業促進を行う (3) 市内への就業促進目的として、看護学校との情報交換を行う
3 地域ケアサービスの 実施及び促進並びに公衆 衛生の普及指導等による 人々の健康及び福祉の増 進に関する事業 (公益事業)	1) 「看護の日」「国際助産師の日」PR事業 (1) 各施設で看護の日及び看護週間行事の開催 (2) 「看護の日」「国際助産師の日」記念事業 合同開催 2) 健康相談・啓発等の事業 (1) まちの保健室開催：(下関地区・豊浦地区) 6回 (2) 地域行事での救護協力(海峡マラソン、全国高等学校総合体育大会) 3) 在宅療養支援のための看護職連携推進研修 検討会 3回、研修会 1回
4 会員の福祉及び相互 扶助に関する事業 (収益等事業)	1) 会員への福利厚生(職能委員会主催) (1) 研修会開催 2回 (2) 会員交流会 1回
5 その他本会の目的を 達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1) 支部活動の充実 (1) 支部役員会 7回 (2) 支部委員会 ① 職能委員会 4回 ② 教育委員会 4回 ③ まちの保健室委員会 2回 ④ 推薦 委員会 2回、⑤ 選挙管理委員会 1回 2) 支部組織強化 (1) 地域会議への出席(医療対策協議会、医療・介護ネットワーク、防災 他) (2) 広報活動 ① 県協会報「きらめき」への投稿 ② 県協会ホームページへの投稿 (3) 訪問看護ステーション協議会や看護学校、地域医療に携わる看護職、特に未加入 施設に研修会参加や看護協会入会を積極的に働きかける

令和7年度 職能委員会活動計画

1 保健師職能委員会

1 活動目標	1)保健師の連携強化及びネットワーク推進 2)保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 3)会員増加の推進 4)他職能等との連携強化
2 委員会開催	1)職能委員会8回 2)支部保健師職能委員との合同会議2回
3 活動内容	1)保健師の連携強化及びネットワーク推進 (1)保健師職能集会の開催(6月) (2)保健師職能交流会の開催(3月) (3)支部委員との連携強化(10月、3月) 合同会議を開催し、情報交換 (4)会報「きらめき」やホームページによる情報発信 会報「きらめき」ひたむきな保健師掲載 3回 ホームページ 3回 2)保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 (1)研修会の実施 ・改正保健師活動指針の活用について ・他職能との合同研修、意見交換 (2)教育研修計画への参画 3)会員増加の推進 (1)保健師職能集会や交流会の開催 (2)リーフレット・会員勧誘チラシ改訂版の活用 (3)会報やホームページによる情報発信 4)他職能等との連携強化 全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築に向けてネットワークの構築 (1)3職能4委員会意見交換会の参加 5)日本看護協会との連携 (1)全国保健師職能委員長会出席 (2)地区別保健師職能委員長会出席

2 助産師職能委員会

1 活動目標	1)周産期医療の現状と課題の把握 2)助産師の活躍推進 3)母子のための地域包括ケア病棟の推進 4)災害時の対応 5)3職能、4委員会との連携強化
2 委員会開催	1)職能委員会 7回程度 2)支部職能委員との合同会議 2回
3 活動内容	1)周産期医療の現状と課題の把握

	職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 保健師職能・看護師職能との情報交換・共有と課題を抽出 2) 助産師の活躍推進 (1) 助産実践能力向上研修の企画・運営・評価 ① 新人助産師研修 6回 ② 助産実践能力向上中堅助産師研修 5回程度 (2) CLoCMiP[®]の導入・活用の推進 (3) 助産師出向システムの推進と活用 (4) 広報活動 ① イベント等での助産師の普及活動 ア 看護の日・国際助産師の日 イ いいお産の日 ウ ホームページ等へ記事投稿 ② PRリーフレットの活用 3) 母子のための地域包括ケア病棟の推進 ガイドラインを活用した母子のための地域包括ケア病棟の運営推進 4) 災害時の対応 周産期医療や母子保健に関する災害時(感染症も含む)の情報についてのタイムリーな情報提供、情報交換 5) 3職能、4委員会との連携強化 (1) 母子のための地域包括ケアシステムの深化に向けての、ネットワークの構築 (2) 地域における看護力強化にむけた連携推進のための検討会への参加 (3) 女性の支援に必要な体制の検討に向けた現状と課題の把握
--	--

3 看護師職能委員会 I

1 活動目標	1) 看護実践能力の向上 2) 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携強化と継続看護の推進 3) 支部看護師職能 I 委員との連携強化 4) 広報活動・会員増加の推進 5) 日本看護協会との連携
2 委員会開催	1) 職能委員会9回 2) 支部看護師職能 I 委員との合同会議2回 3) 看護師職能委員会 I・II 合同会議4回
3 活動内容	1) 看護実践能力の向上 (1) 看護職の生涯学習支援の推進に向けた活動 ・ 看護職の生涯学習支援に関する研修会の開催(8月) オンデマンド、活用事例紹介、グループワーク 2) 地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携強化と継続看護の推進 (1) 在宅ケア推進委員会及び3職能4委員会の連携強化 ・ それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題抽出課題解決に向けた取り組み (2) 看護師職能委員会 II との連携強化 ・ 看護師職能委員会 II との合同会議4回開催(5月、7月、10月、3月)、情報共有、意見交換

	3) 支部看護師職能Ⅰ委員との連携強化 (1) 支部及び看護師職能Ⅰ委員との合同会議 2回開催(10月、3月) ① 支部活動の理解と把握及び情報共有 ② 地区別看護師職能Ⅰ委員長会の課題について意見集約 4) 広報活動・会員増加の推進 (1) 看護師職能集会Ⅰ・Ⅱ合同開催(6月) (2) 会報「きらめき」、ホームページによる情報発信 5) 日本看護協会との連携 (1) 全国看護師職能Ⅰ委員長会議出席 2回 (2) 地区別看護師職能Ⅰ委員長会議出席 1回
--	---

4 看護師職能委員会Ⅱ

1 活動目標	1) 介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 2) 介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 3) 3職能4委員会の連携推進及び地域を見据えた専門領域での連携強化 4) 広報活動・会員増加の推進
2 委員会開催	1) 職能委員会9回 2) 支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議 2回(10月・3月) 3) 看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同会議 (随時)
3 活動内容	1) 介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 ・ 介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)開催 県内16施設の開催予定(8月～11月) 2) 介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 (1) 看護師職能Ⅱ交流会の開催 1回 (2) 全国職能委員長会議 2回 (3) 地区別看護師職能Ⅱ委員長会議 1回 (4) 看護師職能Ⅱ領域の看護職のマネジメントに関する現状調査と課題抽出 令和6年度に介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、有料老人ホームを対象に実施したアンケート調査で抽出された課題に対しての取組みについて検討する 3) 3職能4委員会の連携推進及び地域を見据えた専門領域での連携強化 (1) 3職能4委員会および在宅ケア推進委員会との合同会議 1回 (2) 看護師職能委員会Ⅰとの合同会議(随時) (3) 支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議 2回(10月・3月) 4) 広報活動・会員増加の推進 (1) 看護師職能集会の開催 1回 (2) 会報「きらめき」、ホームページによる情報発信

令和7年度 常任委員会活動計画

1 労働環境支援委員会

1 活動目標	1)働き続けられる職場づくりを推進する 2)看護職の確保・定着等について検討する
2 委員会開催	4回
3 活動内容	1)働き続けられる職場づくり研修会の開催 ※心理的安全性の高い職場環境づくり研修会(3か年計画の2年目) (1)目 的：愉しく(たのしく)仕事する心理的安全性の高い職場環境づくりを職場の一員として考える (2)ねらい：愉しく働けるチームづくりを知り、信頼されるリーダーについて学ぶ。 心理的安全性の高い職場をつくるために、相手に関心を持ち、相手の話が聞けるリーダーについて学ぶ。 さまざまな年代のスタッフとよりよい環境で仕事に取り組める楽しいチームづくりについて学ぶ。 組織の一員としてリーダーとして楽しいチーム作りについて学ぶ。 (3)対 象：チームリーダーをしている看護職スタッフ ※実習指導者等の役割を担い、管理者と一緒に自部署の課題・振り返りのできるリーダー的スタッフ (4)内 容：講義+演習(講師との打ち合わせで決定) 講義：チームリーダー・スタッフが知っておきたいチーム作りとは 愉しく仕事をするために何をすればよいか 心理的安全性を高めるチーム作りとはなど (5)時 期：10～12月の間で調整 9:30～15:30 2)ナースセンター事業への意見・提言 (1)2025年地域の実情に応じた看護職確保推進事業(日本看護協会) ①領域別・地域別偏在是正に向けた取り組み ②看護補助者の確保・定着に向けた取り組み ③看護学生・潜在看護職を対象としたNuPSの周知

2 看護制度委員会

1 活動目標	1)准看護師が継続した学習を積み重ねキャリア形成に繋げていけるよう支援する。 2)臨床・教育・行政との連携強化により、看護基礎教育の充実を図る。 3)看護専門領域の資格取得者の地域貢献活動を支援する。
2 委員会開催	6回程度
3 活動内容	1)准看護師スキルアップ研修・情報提供・交流会の開催 准看護師がスキルアップに繋げていけるような研修会等を企画運営する。 2)看護基礎教育を考える会の開催 看護基礎教育の現状や課題について、理解を深めるための研修会等を開催する。 3)看護専門領域の資格取得者の地域貢献活動支援 「認定看護師等活躍推進事業検討会」と連携し、看護専門領域の資格取得者が活動する上での課題を共有する。

3 教育委員会

1 活動目標	1)令和7年度に実施する教育研修会により多くの会員が関心を持てるよう広報し、参加者にとって良い学びができるよう運営に参画する。 2)会員のニーズおよび令和7年度研修会の評価をふまえ、看護職の更なる実践能力の向上につながる令和8年度教育研修を企画・立案する。 3)教育研修立案に際して、常任委員会および職能委員会、支部と連携し、各委員・支部からの要望を反映した研修計画を立案する。
2 委員会開催	10回程度
3 活動内容	1)教育研修会の広報と実施 (1)看護実践能力養成講習会 30コマ(31日) ①新人研修 2回 ⑥看護実践力(JNAラダー) ②看護研究 2回 ⑦ニーズをとらえる力 4回 ③看護管理 4回 ⑧ケアする力 8回 ④自己教育関連 3回 ⑨協働する力 4回 ⑤リクエスト枠 1回 ⑩意思決定を支える力 2回 2)研修の評価と次年度研修計画立案 (1)令和7年度の教育研修の運営・評価 (2)令和8年度の教育研修計画の企画・立案 3)関係する委員会との連携 常任委員会及び職能委員会、支部へ次年度の研修内容に関する要望を、書面にて問い合わせ、結果を考慮し立案する。 4)その他 ・研修がより有意義に、受講者がより参加しやすい形で受講できる研修方法を模索、検討する。 ・他機関との連携の強化・推進を図り、看護職へのより充実した研修受講の機会を設ける。

4 学会委員会

1 活動目標	実践に根ざした看護研究活動の振興とそれに連動した看護の質向上を図る。
2 委員会開催	6回程度
3 活動内容	1)第25回山口県看護研究学会の開催 2)第25回山口県看護研究学会に関する冊子の発行 3)山口県看護研究学会の今後のあり方の継続検討

5 認定看護管理者教育運営委員会

1 活動目標	1)カリキュラム基準に沿った認定看護管理者教育課程の円滑な運営と教育評価 2)認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上のための体制整備と委員会活動の推進
2 委員会開催	4回
3 活動内容	1)令和7年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修運営と修了審査、教育評価

	開講期間：R7.4.18～R7.9.6 32日間 2) 令和7年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修受講者選考と決定 募集期間：R7.4.18～R7.5.16 募集定員：70人 3) 令和7年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修運営と修了審査、教育評価 開講期間：R7.10.23～R7.12.24 21日間(特別講義1日含む) 4) 令和6年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価 研修日：R7.7.10 5) 令和7年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価 研修日：R8.3月初旬 6) ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル各研修課程の教育運営と受講者状況の確認 7) 令和10年度より開始となる「新たな認定看護管理者教育課程の開講」に向けた準備、検討
--	---

6 広報委員会

1 活動目標	1) 会報「きらめき」を発刊し、県内各支部や委員会、施設などの取り組みを情報発信し、魅力を伝えていく。また、会員が必要とする内容を検討し紙面の充実をはかる。 2) 看護協会の認知度を高めるためホームページの充実と、協会員の増員につながる広報活動を推進する。 3) 日本看護協会や、各施設の新たな取り組み等に対し、時宜を得た広報活動を行う。
2 委員会開催	6回
3 活動内容	1) 会報「きらめき」発行を年3回行う。 (1)発行時期：6月、10月、1月(会報号162号、163号、164号) (2)実施内容 掲載内容の企画・紙面形式の検討、原稿依頼、原稿の編集・校正、紙面構成の検討、印刷会社との打ち合わせ等 2) ホームページの充実 ブログの更新、SNS活用のための協議 3) 各施設の新たな取り組み等の情報収集と発信

7 推薦委員会

1 活動目標	1) 役員(外部監事を除く。)の改選に係る候補者の推薦 2) 職能委員会委員、常任委員会委員の改選に係る候補者の推薦 3) 日本看護協会代議員及び予備代議員候補者の推薦
2 委員会開催	3回程度
3 活動内容	1) 第1回推薦委員会 (1)推薦委員会の任務について (2)委員長選出 (3)年間活動スケジュール (4)各委員会の活動内容

	2) 第2回推薦委員会 (1) 令和7年度役員選挙等日程について (2) 役員等の立候補、選挙権及び兼職について (3) 推薦委員の改選について (4) 職能委員及び常任委員の選任について 3) 第3回推薦委員会 役員等候補者名簿について
--	---

8 医療安全推進委員会

1 活動目標	1) 医療安全管理者の資質向上の推進 2) 医療安全に関わる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援 3) 医療・看護の安全性についての広報・啓発による医療事故防止対策の推進
2 委員会開催	6回程度 (うち1回は圏域代表を招集して開催する)
3 活動内容	1) 医療安全管理者スキルアップ研修の企画・運営・評価 1回 2) 山口県内の医療安全管理者交流会の企画・運営・評価 医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援 (1) 圏域代表者活動報告など地域、圏域活動を中心とした企画 圏域代表合同会議 1回 (2) 現任の医療安全管理者(医療安全対策加算の届出は不問)を対象としたネットワーク構築を目的とした企画 情報交換会 2回 3) 会報「きらめき」による医療安全情報の発信 3回 4) 「看護職あなたのためのリスクマネジメント」の普及活動 ハンドブックの配布、HPの掲載アナウンス・チラシの配布 5) 医療安全管理者養成研修の支援

9 災害支援委員会

1 活動目標	1) 災害支援活動体制の整備・充実 2) 山口県災害支援ナースの育成及び質向上のための支援 3) 一般市民への平時の防災意識の向上を目的とした広報等、地域の防災力の向上
2 委員会開催	8回
3 活動内容	1) 委員会内容 (1) 災害支援ナース養成研修の内容の検討 (2) 災害支援ステップアップ研修の内容の検討 (3) 山口県総合防災訓練におけるWeb展示・広報の内容の検討と準備 2) 研修開催内容 (1) 災害支援ナース養成研修 災害編集集合研修 1日間 (2) 災害支援ナース養成研修 感染編集集合研修 1日間 (3) 災害支援ナースステップアップ研修 2日間 (4) 意見交換会(災害派遣があった場合)

	3)その他 (1)山口県総合防災訓練 R7.5.25(日) (2)関係機関、団体との協働、協力
--	---

10 在宅ケア推進委員会

1 活動目標	1)在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み 2)在宅ケアに係る看護の実践能力の向上及び連携推進
2 委員会開催	5回
3 活動内容	1)在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み (1)情報提供のあり方に関する検討 ・これまでの活動をとおして、退院時等の「情報提供のあり方」が課題であるとし、令和5年度に、情報提供先に有効な情報が伝えられる「情報提供書の書き方ガイド」を作成することを目標に掲げ活動している。 ・令和6年度は、3職能4委員会や介護支援専門員等、いろいろな立場におかれている方々の意見をいただき、地域に発信していけるような「情報提供書の書き方ガイド」の作成を検討した。 ・令和7年度は、「情報提供書の書き方ガイド(案)」の作成後、各支部長や各職能、介護支援専門員と意見交換ののち、「情報提供書の書き方ガイド」完成を目指す。 2)在宅ケアに係る看護の実践能力の向上及び連携推進 (1)退院支援に関する看護管理者への教育について ・在宅ケアの推進には実践の積み重ねと退院支援に関わる看護管理者の意識が大きく関与していることが課題である。そのことから、看護管理者への教育のあり方について検討していきたい。

報告事項3 令和7年度 収支予算書

(別 冊)